科目名	生命倫理・動物福祉	単位数	1	科目コード	NA2201				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	-				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業								
授業の一般目標	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウェルフェア)について学ぶ。								
受講条件	動物看護科に在籍している								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4	1 巻」							
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	動物愛護や福祉について説明できる。								
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点									
授業計画(全体)	授業計画(全体)								

動物福祉の概念を理解し、動物の愛護や獣医療の現場で直面する生命倫理、動物保護施設収容動物福祉、産業動物の福祉を学ぶ。

授業計画(授業単位)

П	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	生命倫理の概念とさまざまな動物観①	生命倫理の考え方 生命倫理と獣医療の関わり	教科書P. 171~173
第2回	生命倫理の概念とさまざまな動物観②	動物に対するさまざまな考え方と影響を与える要因 動物観の歴史的変遷	教科書P. 174~184
第3回	動物福祉の概念①	動物福祉とは 近代・現代の動物愛護運動	教科書P. 187~193
第4回	動物福祉の概念②	動物の権利(animal rights)と動物福祉(animal welfare) 日本における動物愛護と世界における動物福祉	教科書P. 193~196
第5回	動物福祉の概念③	動物病院での安楽死の考え方	教科書P. 197~200
第6回	動物福祉の評価	動物福祉の評価とは 動物福祉の生理学的指標・行動学的指標	教科書P. 205~214
第7回	動物福祉と社会	動物福祉と社会、法律と動物福祉、経済活動と動物福祉 動物福祉教育・動物保護活動	教科書P. 217~228
第8回	愛玩動物の福祉①	愛玩動物の飼育の現状と福祉、家庭での適正飼養と動物福祉上の問題、 愛玩動物の繁殖・流通・利用に関する福祉上の問題	教科書P. 231~239
第9回	愛玩動物の福祉②	飼育放棄と飼い主のいない犬・猫の問題 愛玩動物福祉のための対策	教科書P. 239~249
第10回	産業動物の福祉	産業動物福祉改善の歴史と定義~動物福祉向上の方策	教科書P. 253~276
第11回	実験動物の福祉	実験動物の福祉と動物実験に関する法規制~労働安全衛生	教科書P. 281~292
第12回	展示動物および使役動物の福祉 野生動物の福祉	展示動物の福祉〜使役動物の福祉一身体障害者補助犬(補助犬)を中心に一 野生動物の福祉〜対策と課題	教科書P. 295~315
第13回	さまざまな動物の福祉	愛玩動物、産業動物、展示動物・使役動物、野生動物それぞれの福祉について	グループワーク
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良(B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	担当教員 西景子			実務経験紹介				

科目名			動物形態	態機能学 I		単位数	2	科目コード	NA2202	
授業形態			Ī	構義		対象学生	1年生	開設期	半期	
区分			ıl.	·····································		開設時期	前期	教員実務経験対	象 -	
授業概要 (目的、目標と	する資格・検定等)					動物看護師カリキュ	ュラム「動物形息	 機能学」の履修とな	:る。	
授業の一般	目標		掛けの仕組みを形 基盤を確立する。		と学の面から学び、	. 生命体としての動	物を細胞、組織	は、臓器レベルの各降	「層で理解するとともに病的	
受講条件		動物看護科に	在籍している							
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD PR	RESS出版「愛玩」	動物看護師カリキュ	ラム準拠教科書 1	巻」				
授業の到達	目標									
□ 知識・理	解の観点	細胞・組織・循	胞・組織・循環器・呼吸器、消化器、内分泌(ホルモン)について、それぞれの説明ができる。							
□ 思考·判Ⅰ	断の観点	臨床現場を想	!定した各種場面	において、最良とさ	れる判断ができる。	,				
□ 関心・意	欲の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。						
□ 態度の観	点	主体性と積極	性を持った謙虚ス	な振る舞いができる	0					
□ 技能・表	現の観点									
授業計画(全	全体)									
動物形態機	能学総論を理解し	し、生物学の復習、	、動物の体の機能	ヒ・構造、器官系に <u>・</u>	ついて学ぶ。					
授業計画(担	受業単位)									
		主 題	主 題 授 業 内 容						備考	
第1~2回	生命のすがた①							P3~P15		
第3~4回	生命のすがた②	生命のすがた②				胡縄・神経組織	、気管の成り	立ちと維持・調節シ	P16~P27	
第5~6回	血液と造血器					じと血液凝固機序	および繊維素洗	容解	P31~P42	
第7~8回	血液循環とその)調節①		循環器系の概要	~心筋の自動性と	P45~P50				
第9~10回	血液循環とその	D調節②		心臓の周期~血	管の仕組みと働き	P51~P60				
第11~12回	血液循環とその)調節③		血液循環の調節	~脾臓の仕組み	P61~P71				
第13~14回	生体の防御機構			生体を守る防御	機構~獲得免疫	P77~P85				
第15~16回	脳と神経①			脳と神経系の役	割〜興奮の伝導と	P91∼P100				
第17~18回	脳と神経②			シナプス~神経	回路	P101~P114				
第19~20回	脳と神経③			神経系~脳神経		P115~P123				
第21~22回	脳と神経④			脊髄と脊髄神経	~行動の神経調質	Ť			P123~P139	
第23~24回	感覚と情報伝達	E (1)		感覚系とは~嗅	覚				P145~P157	
	感覚と情報伝達			味覚、聴覚・平	衡感覚				P158~P170	
	感覚と情報伝達			視覚					P171~P185	
		認定試験/テスト返	区し/解説	授業振返り/授業	(内にて前期末試	験/試験の問題の	意義/復習する		※学生証が必要	
	総合成績60点、b	出席率80%以上 能度占20% 出版	ま占1∩%を拗質Ⅰ	して総合評価を行う						
/ 八根 爪 / 〇 7	、 (企山) / (V) (X) (X) (X)	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準	
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点	
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点	
宿題授業外	レポート		0					10	良 (B):79点~70点	
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点	
発表·作品				-	-			_	不可(E):59点以下	
演習								_		
出席	© 10									
-			 弘之		実務経験紹介					

科目名			動物形態	機能学Ⅱ		単位数	2	科目コード	NA2203	
授業形態			ñ	義		対象学生	1年生	開設期	半期	
区分			ų.	必修		開設時期	後期	教員実務経験対	寸象 -	
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)			「基礎動物学」に位 が態機能学Ⅱ」の履		動物看護師カリキュ	ュラム「動物形態	『機能学』の履修と	なる。	
授業の一般	目標		i持の仕組みを形 基盤を確立する。		ヒ学の面から学び、	. 生命体としての動	物を細胞、組織	哉、臓器レベルの各	階層で理解するとともに病	
受講条件		動物形態機能	ミ学 エ を履修してに	いる						
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD PI	RESS出版「愛玩重	协物看護師カリキュ	ラム準拠教科書 1	巻」				
授業の到達	目標									
□ 知識・理解	解の観点	泌尿器、脳・ネ	示器、脳・神経、運動器、血液、皮膚・感覚器について、それぞれの説明ができる。							
□ 思考·判	断の観点	臨床現場を想	定した各種場面	こおいて、最良とさ	れる判断ができる。	,				
□ 関心・意	次の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。						
□ 態度の観	!点	主体性と積極	性を持った謙虚な	な振る舞いができる	00					
□ 技能・表現	見の観点									
授業計画(全	(体)									
動物形態機	能学総論を理解し	し、生物学の復習	、動物の体の機能	・構造、器官系に	ついて学ぶ。					
授業計画(授	受業単位)									
		主 題 授 業 内 容						備考		
第1~2回	体の支持と運動① 体の位置				2置・方向を示す用語と表面解剖学的区分、骨格					
第3~4回	体の支持と運動②			骨格筋①					P203~P233	
第5~6回	体の支持と運動	の支持と運動③							P203~P233	
第7~8回	外皮系と体温調	調節		外皮~皮膚によ	外皮~皮膚による体温調節機構					
第9~10回	呼吸とその調節	Ť		呼吸器の構造、	呼吸器の構造、呼吸					
第11~12回	内分泌とホルモ	=ン ①			↑泌系とは−外分泌や傍分泌との違い~内分泌系の基本構造と機能 F下部・下垂体・田状腺・上皮小体・副堅・ランゲルハンス島					
第13~14回	内分泌とホルモ	=ン2		税床下部、下垂 消化管ホルモン	部、下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、ランゲルハンス島、 トルモンの機能					
第15~16回	消化吸収と栄養	後代謝①		歯の分類と数~	歯の分類と数~腸の仕組みと働き					
第17~18回	消化吸収と栄養	を代謝②		唾液腺~肝臓		P303~P307				
第19~20回	消化吸収と栄養	E代謝③		炭水化物の消化	と吸収~代謝総論	P308~P313				
	消化吸収と栄養				分子のしくみ~作	P314~P318				
	消化吸収と栄養)の代謝経路~	ミネラル			P319~P328	
	尿の生成と体温			腎臓~体液	T6 15 "				P335~P351	
	尿の生成と体温		- 1 /ATI=M		~酸・塩基平衡	EA /==== = 55.5T	÷ + //- == ! =		P352~P365	
,,,_, <u>,</u>		認定試験/テスト返	⊻し/解説	授業振返り/授業	美内にて前期末試	験/試験の問題の	恵義/復習する)	※学生証が必要	
	総合成績60点、と	出席率80%以上 態度点20%、出版	ま点10%を換質Ⅰ	して総合評価を行う						
		知識・理解	思考•判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合		
定期試験		©	0					50	秀 (S):100点~90点	
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点	
宿題授業外	レポート		0					10	良 (B):79点~70点	
授業態度			-	0	0			10	可 (D):69点~60点	
発表·作品								-	不可(E):59点以下	
演習								_		
出席				0				10		
		I	弘之							

科目名			動物繁殖学 単位数 1						NA2204		
授業形態			i	義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分			业	修		開設時期	前期	教員実務経験対象	? —		
授業概要 (目的、目標とす	る資格・検定等)	愛玩動物看護	師カリキュラム	「基礎動物学」に位	置する授業						
授業の一般日	目標	繁殖に関わる	形態機能学を学び	び、妊娠・分娩と新	生子管理、遺伝学	中の基礎知識を修得	する。				
受講条件		動物看護科に	在籍している								
事前学習にご		EDUWARD PF	RESS出版「愛玩重	物看護師カリキュ	ラム準拠教科書	1 巻」					
授業の到達	目標										
□ 知識・理角	昇の観点	動物繁殖学 <i>0</i>	動物繁殖学の概論、分娩・新生児、遺伝学について説明ができる。								
□思考·判断			定した各種場面に								
□ 関心・意欲 □ 態度の観			見出し、追究する	ことかできる。 :振る舞いができる							
□ 技能・表現		工件任乙預型	日本の日本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本	-DK-Ø9#40-19. C ⊆ Ø	70						
授業計画(全	体)										
動物繁殖学績	総論を理解し、生	殖器の形態と機能	能や性周期の交 配	!、妊娠と分娩、新:	生子管理、遺伝学	概論を学ぶ。					
授業計画(授	業単位)			T					1		
<u> </u>	14.1 22 = 4.0	主題		=+ :		授業内容			備考		
第1回	性と生殖①			1.生殖とその	分類~2.生殖器の	基本的なしくみ			教科書 P.373~381		
第2回	性と生殖②			2.生殖器の基	2.生殖器の基本的なしくみ(続き)						
第3回	性と生殖③			3.生殖機能調節	教科書 P.381~384						
第4回	性と生殖④			4.発情徴候と発	4.発情徴候と発情周期						
第5回	性と生殖⑤			5.受精と妊娠	5.受精と妊娠						
第6回	性と生殖⑥			6.分娩と助産、	帝王切開				教科書 P.397~402		
第7回	性と生殖⑦			7.遺伝子と器	7.遺伝子と器官発生						
第8回	性と生殖⑧			8.去勢・不妊	教科書 P.406~411						
第9回	新生子管理①			1.新生子期と	教科書 P.419~431						
第10回	新生子管理②			2.新生子のた	2.新生子のための飼養環境(続き)						
第11回	新生子管理	3		3.新生子の解	教科書 P.432~437						
第12回	新生子管理③			4.新生子の生	4.新生子の生理的機能						
第13回	半期内容振り	豆り こうしゅう		半期内容のま	ミとめ						
第14回	授業振り返	り/単位認定試験	<u> </u>	授業を振り返	り、授業内にて前	※学生証が必要					
第15回	テスト返し	/解説		前回行った討	験の問題用紙を見	見ながら、問題の意	義/復習する				
成績評価方法 単位認定 総成結合70%	合成績60点、出	出席率80%以上	宇占10%左拗管1	て総合評価を行う							
/∞194 m / U //0	、近山700以天	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		©	0				, ID	50	秀 (S):100点~90点		
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点		
宿題授業外レポート ◎							10	良 (B):79点~70点			
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点			
発表·作品	品							-	不可(E):59点以下		
演習								-			
出席				0				10			
担当教員	林 弘之				実務経験紹介						

		T						1			
科目名				· 動学		単位数	1	科目コード	NA2205		
授業形態				義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分			نگ	修		開設時期	前期	教員実務経験対	**************************************		
授業概要 (目的、目標とす	- る資格・検定等)	愛玩動物看護	「師カリキュラム	基礎動物学」に位	江置する授業						
授業の一般目	目標	犬や猫の種と	しての行動様式の)特徴を学び、問題	夏行動の原因と対 例	心、予防法を理解す	⁻ る。				
受講条件		動物看護科に	在籍している								
事前学習につ	考書等)	EDUWARD PR	RESS出版「愛玩動	物看護師カリキュ	こうム準拠教科書 6	6 巻」					
授業の到達目		1. WH - 77 1 1			# d+ M/ L=V== - L			77-m-A /-74-m - b -			
□知識・理解							レーニングの字	習理論を説明できる	ō.		
□思える☆					れる判断ができる	0					
□関心·意欲			見出し、追究する								
□態度の観点		積極性と王体	性を持った謙虚な	張る舞いかできる	0.						
□ 技能·表現 授業計画(全											
技术計画(王)	.14-)										
		こついて理解し、個	体維持行動、発達	過程と社会行動、	、問題行動、行動治	計療と予防を学ぶ。					
授業計画(授	:美里位)	主題				授業内容			備考		
第1回	動物行動学	の基礎		動物行動学の	の4つのと問い(適応・進化・メナ	コニズム・発達	:) について			
第2回	個体維持行	動		摂食、飲水行	· 行動、排泄行動、	身づくろい行動、	休憩行動につ	いて			
第3回	発達過程と	社会行動①		発達ステージ	発達ステージと各時期の行動学的特徴/生殖行動について						
第4回					撃行動と親和的行	テ動について					
第5回					ついて						
第6回	学習環境②	1		古典的条件	古典的条件づけとオペラント条件づけについて						
第7回	問題行動①	ı		問題行動の別	問題行動の定義と要因について						
第8回	問題行動②	l		攻撃行動の種	攻撃行動の種類、原因(動機づけ)と治療法について						
第9回	問題行動③	1		恐怖・不安	恐怖・不安に起因する問題行動の原因と治療法について						
第10回	問題行動④			不適切な排泡	切な排泄行動の原因(動機づけ)と治療法について						
第11回	問題行動⑤			老齢性認知権	8知機能定低下の原因と症状と対応について						
第12回	問題行動と	予防①		行動診療の流	その進め方/コンサルテーション方法について						
第13回	問題行動と	予防②		行動修正法。	と環境修正法の種	類と適応/子犬や	子猫の社会化	教室について			
第14回	授業振り返	り/単位認定試験	1	授業を振り記	返り、授業内にて	前期末試験を受け	ける		※学生証が必要		
第15回	テスト返し	/解説		前回行った	試験の問題用紙を	見ながら、問題 <i>0</i>)意義/復習する	3			
	合成績60点、	出席率80%以上	T - 1 - 0 0 / + 14 / 20 1								
戏 積点 / U%、	、掟山彻&授集	態度点20%、出席 知識・理解	ま点10%を換算し 思考・判断	て総合評価を行っ 関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		©	0					50	秀(S):100点~90点		
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点		
宿題授業外レ	 ンポート		©					10	良 (B):79点~70点		
授業態度	-			0	0			10	可 (D):69点~60点		
								-	不可(E):59点以下		
発表•作品								-			
演習											
				0	_			10			

1		1	1						
科目名	動物栄養学 I	単位数	1	科目コード	NA2206				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	有				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム 「基礎動物学」に位置する授業								
授業の一般目標	5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。								
受講条件	動物看護科に在籍している								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8 巻」								
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	大栄養素とその代謝について説明することができる。 2. ライフスラ	テージや疾患別の	療法食について説	明することができる。					
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点									
授業計画(全体)	授業計画(全体)								

5大栄養素+水(6大栄養素)を理解し、ライフステージによる栄養管理や疾患別による栄養特性を学ぶ。

授業計画(授業単位)

0	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	動物栄養学総論①	6 大栄養素(1. タンパク質、2. 脂肪(脂質))	
第2回	動物栄養学総論②	6 大栄養素(3. 炭水化物、4. ビタミン、5. ミネラル、6. 水)	
第3回	動物栄養学総論③/犬猫の必要栄養素の違い	過剰症と欠乏症/食性の違い	
第4回	ペットフードの表記	ペットフード安全法で規定されている表記	
第5回	ライフステージによる栄養管理①	犬のライフステージについて (成長期、維持期)	
第6回	ライフステージによる栄養管理②	猫のライフステージについて (成長期、維持期) 犬と猫の加齢性変化	
第7回	ライフステージによる栄養管理③	繁殖期・妊娠期・授乳期の栄養管理	
第8回	BCS評価およびカロリー計算	BCSとは/カロリー計算(食物のカロリー・犬や猫のエネルギー要求量)	
第9回	肥満と削痩/フードの給与回数、給与方法	肥満と削痩とは/フードのタイプ:目的別の分類、給与回数、給与方法	
第10回	手作り食	嗜好性とは/ペットフードの適切な取扱い/手作り食	
第11回	疾患別による栄養特性(下部尿路疾患①)	食事療法食の表記と取扱い/下部尿路疾患とは/猫の特発性膀胱炎	
第12回	疾患別による栄養特性(下部尿路疾患②)	尿路結石について①	
第13回	疾患別による栄養特性(下部尿路疾患③)	尿路結石について②	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識・理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レオ	ポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員	担当教員 丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.yic=kyoto=pet.ac.jp/voice/maruyama/			voice/maruyama/	

科目名	動物栄養学Ⅱ	単位数	1	科目コード	NA2207				
科日石	到彻末贷子Ⅱ	単位数	ı	料日コート	NAZZU/				
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期				
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	有				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業								
授業の一般目標	般目標 5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。								
受講条件	動物看護科に在籍している								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書	8 巻」							
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	疾患別の療法食について説明することができる。								
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	•							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点									
授業計画(全体)	授業計画(全体)								

5大栄養素+水(6大栄養素)を理解し、疾患別による栄養特性、強制給餌と経管・静脈栄養素を学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 集 内 容	備考
第1回	疾患別による栄養特性(皮膚疾患①)	皮膚疾患の種類/食物アレルギー①	
第2回	疾患別による栄養特性(皮膚疾患②)	食物アレルギー②/犬アトピー性皮膚炎	
第3回	疾患別による栄養特性(肥満)	肥満について	
第4回	疾患別による栄養特性(下痢・猫の便秘)	下痢について/猫の便秘について	
第5回	疾患別による栄養特性(心臓病①)	心臓のしくみ	
第6回	疾患別による栄養特性(心臓病②)	僧帽弁閉鎖不全症とは	
第7回	疾患別による栄養特性(慢性腎臓病①)	腎臓のしくみ	
第8回	疾患別による栄養特性(慢性腎臓病①)	慢性腎臓病について	
第9回	疾患別による栄養特性(肝臓病)	肝臓のしくみ/肝臓病について	
第10回	疾患別による栄養特性(糖尿病)	糖尿病について	
第11回	疾患別による栄養特性(関節疾患)	関節疾患について	
第12回	強制的な給餌方法/経路別の栄養	強制給餌方法/経管・計静脈による栄養の種類と違い	
第13回	中毒物・与えてはいけないもの	犬・猫に危険な、あるいは気をつけたい主な食材とその理由	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポ	∜− ト		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員 丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			voice/maruyama/		

科目名	比較動物学	単位数	1	科目コード	NB2011			
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験 対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム 「基礎動物学」に位置する授業							
授業の一般目標 飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理方法、実験動物の品種や飼育管理方法、動物実験との関わり 日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体群管理について学ぶ。								
受講条件	愛玩動物学の単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書(6 巻」						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	産業動物用語について簡単に説明ができる。							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	•						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	主体性と積極性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□技能・表現の観点								
	主体性と積極性を持った謙虚な振る舞いができる。							

授業計画(全体)

畜産(産業動物)について理解し、家畜の種類と特徴や主要家畜の飼養管理法を学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 集 内 容	備考
第1回	家畜(産業動物)とは	産業動物について	
第2回	家畜の種類と特徴①	馬の歴史と品種、特性について	
第3回	家畜の種類と特徴②	牛の歴史と品種、特性について	
第4回	家畜の種類と特徴③	綿羊・山羊の歴史と品種、特性について	
第5回	家畜の種類と特徴④	豚の歴史と品種、特性について	
第6回	家畜の種類と特徴⑤	鶏の歴史と品種、特性について	
第7回	主要家畜の飼養管理法①	各家畜の消化器の形態と機能について①	
第8回	主要家畜の飼養管理法②	各家畜の消化器の形態と機能について②	
第9回	主要家畜の飼養管理法③	各家畜の性周期と繁殖整理について	
第10回	主要家畜の飼養管理法④	各家畜の飼育施設の概要について	
第11回	主要家畜の飼養管理法⑤	各家畜の飼養法について	
第12回	日本の畜産業の実際①	日本の酪農産業(酪農業)の概要について	
第13回	日本の畜産業の実際②	日本の牛肥育業の概要/養豚業の概要について	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	田邊 眞語	导、林 弘之		実務経験紹介				

					22年皮 ノブ	·/		-			
科目名			動物看護	関連法規		単位数	1	科目コード	NA2209		
授業形態			講	義		対象学生	3年生	開設期	半期		
区分			必	修		開設時期	前期	教員実務経験対	象 -		
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)	愛玩動物看證	護師カリキュラム 「	基礎動物学」に位	2置する授業						
授業の一般	目標	動物看護に関	関連する基本的な活	も規について学び	、社会における愛玩	元動物看護師の役	割を理解する。				
受講条件		動物看護科は	こ在籍している								
事前学習につ		EDUWARD P	RESS出版「愛玩動	元動物看護師カリキュラム準拠教科書 5 巻」							
授業の到達	目標	II.									
□ 知識・理角	解の観点	動物関係の活	法律について説明 が	ができる。							
□ 思考•判團	断の観点	D観点 臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。									
□ 関心·意欲	次の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。									
□ 態度の観	点	積極性と主体	性を持った謙虚な	振る舞いができる	· .						
□ 技能·表现	見の観点										
授業計画(全	(体)							<u> </u>			
法学総論を理	理解し、獣医療関]連行政法規(獣图	医事行政法規)や公	*衆衛生行政法規	、薬事行政法規、理	環境行政関連法規	を学ぶ。				
授業計画(授	受業単位)										
		主 題		授業内容 備							
第1回	法学総論	法の体系/獣医療に関する法規と動物看護師の関わ					関わりについ ⁻	C			
第2回	獣医療関連	行政法規(獣医	事行政法規)①	獣医師法の	既要について						
第3回	獣医療関連	行政法規(獣医	事行政法規)②	家畜療法につ	ついて						
第4回	獣医療関連	行政法規(獣医	事行政法規)③	愛玩動物用館	愛玩動物用飼料の安全性の確保に関す法律について						
第5回	公衆衛生行	政法規①		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律について							
第6回	公衆衛生行	政法規②		狂犬病予防法	狂犬病予防法の概要について						
第7回	授業振り返	り/単位認定試験		授業を振り	 返り、授業内にて	で前期末試験を受ける					
第8回	テスト返し	/解説		前回行った記	試験の問題用紙を)意義/復習する	 გ			
成績評価方法								-			
単位認定 総	☆合成績60点、	出席率80%以上 態度点20%、出版	席点10%を換算し	て総合評価を行う) _a						
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点		
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点		
宿題授業外レポート ◎							10	良(B):79点~70点			
宿題授業外し	7/N 1	授業態度			0			10	可 (D):69点~60点		
	νην 1 			0	_						
授業態度				0	_			-	不可(E):59点以下		
				0				-	不可(E):59点以下		
授業態度 発表·作品				©					不可(E):59点以下		

科目名	動物愛護·適正飼養関連法規	単位数	1	科目コード	NA2210		
授業形態	講義	対象学生	3年生	開設期	半期		
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験 対象	_		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業						
授業の一般目標	業の一般目標 動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。						
受講条件	動物看護科に在籍している						
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9	5 巻」					
授業の到達目標							
□ 知識・理解の観点	動物関係の法律について説明ができる。						
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0					
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。						
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。						
□ 技能・表現の観点							
授業計画(全体)							

授業計画(全体)

法学総論を理解し、獣医療関連行政法規(獣医事行政法規)や公衆衛生行政法規、薬事行政法規、環境行政関連法規を学ぶ。

授業計画(授業単位)

0	主 題	授 集 内 容	備考
第1回	法学総論	法の体系/獣医療に関する法規と動物看護師の関わりについて	
第2回	獣医療関連行政法規(獣医事行政法規)①	獣医師法の概要について	
第3回	獣医療関連行政法規(獣医事行政法規)②	家畜療法について	
第4回	獣医療関連行政法規(獣医事行政法規)③	愛玩動物用飼料の安全性の確保に関す法律について	
第5回	公衆衛生行政法規①	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律について	
第6回	公衆衛生行政法規②	狂犬病予防法の概要について	
第7回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	
第8回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	藤本	嘉明		実務経験紹介				

科目名	動物看護学概論	単位数	1	科目コード	NB2201				
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	有				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業							
授業の一般目標	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。								
受講条件	動物看護科に在籍している								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4 巻」								
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	動物看護師の職業倫理について説明できる。								
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点	D観点								
授業計画(全体)									

動物看護学総論を理解し、動物看護師の倫理や動物看護の提供、動物看護技術の特徴について学ぶ。

授業計画(授業単位)

	X 木 十 位 /		
	主 題	授 葉 内 容	備考
第1回	獣医療の歴史と概念	1. 獣医療の歴史~4. 国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い	教科書 P.3~16
第2回	動物看護の役割と概念①	1. 動物看護とは~2. 動物看護における倫理	教科書 P. 47~51
第3回	愛玩動物看護者における倫理綱領①	愛玩動物看護者における倫理綱領(Ι~Ⅱについて)	教科書 P. 47∼51
第4回	愛玩動物看護者における倫理綱領②	愛玩動物看護者における倫理綱領(皿について)	教科書 P. 47~51
第5回	愛玩動物看護者における倫理綱領③	愛玩動物看護者における倫理綱領(IVについて・まとめ)	教科書 P. 47∼51
第6回	動物看護の役割と概念②	3. 動物にとっての福祉・健康・QOL	教科書 P. 51~53
第7回	動物看護の役割と概念③	4. 看護動物に影響を与える環境要因	教科書 P. 54~56
第8回	動物看護の役割と概念④	5. 動物病院における動物看護師の役割	教科書 P. 56∼61
第9回	動物看護の役割と概念⑤	6. 動物看護の探求	教科書 P. 61∼63
第10回	獣医療における動物看護学の理論と特徴①	1. 動物看護学理論の成立過程~2. 動物看護学の成立	教科書 P. 21∼25
第11回	獣医療における動物看護学の理論と特徴②	2. 動物看護学の成立(続き)~3. 動物看護学と高等教育	教科書 P. 23~27
第12回	動物看護過程概論	動物看護過程	-
第13回	国家資格 愛玩動物看護師誕生への道のり	2. 動物看護学カリキュラムの構築と愛玩動物看護師の誕生 3. 愛玩動物看護師の職能団体	教科書 P. 36~44
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト							20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習	0	0					-	
出席			0				10	
担当教員 北村 昌樹			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/				

科目名	動物病理学	単位数	1	科目コード	NB2202			
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。							
授業の一般目標 様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。								
受講条件	動物形態機能学の単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 2 巻」							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	各種病理学用語を説明できる。							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	主体性と積極性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	能・表現の観点							
授業計画(全体)								
1								

動物病理学を理解し、細胞や組織に生じる変化や循環器障害、炎症、腫瘍、先天異常を学ぶ。

授業計画(授業単位)

汉未前四(汉未平正)							
	主 題	授 業 内 容	備考				
第1回	動物病理学の基礎①	病理学とは 病理検査技術	教科書 P. 3~13				
第2回	動物病理学の基礎②	病因/内因/外因(環境要因)	教科書 P. 13~23				
第3回	傷害と細胞死①	1. 代謝障害と変性	教科書 P. 27∼38				
第4回	傷害と細胞死②	1. 代謝障害と変性(続き) ~3. 壊死とアポトーシス	教科書 P. 27~43				
第5回	細胞や組織の修復と再生①	1. 細胞増殖のメカニズム~2. 細胞傷害に対する細胞の適応	教科書 P. 47~52				
第6回	細胞や組織の修復と再生②	3. 創傷の分類と病的損傷~4. 組織、細胞の修復と再生	教科書 P. 47∼59				
第7回	循環障害①	1. 血液の循環障害	教科書 P. 65~76				
第8回	循環障害②	2. 組織液の循環障害~3. ショック	教科書 P. 77∼82				
第9回	炎症①	1. 炎症の定義~3. 炎症による形態的変化	教科書 P.85∼95				
第10回	炎症②	3. 炎症による形態的変化~5. 急性炎症と慢性炎症	教科書 P.87∼100				
第11回	腫瘍①	1. 腫瘍の定義~2. 腫瘍の形態学的特徴	教科書 P.105~108				
第12回	腫瘍②	3. 腫瘍の分類と命名~9. 腫瘍の種類	教科書 P. 108~126				
第13回	先天異常	1. 遺伝子・染色体異常~2. 発生異常と奇形	教科書 P. 129~136				
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要				
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する					

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S): 100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レ	ポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員 澤邉 幸紀			実務経験紹介						

科目名			動物薬	理学 I		単位数	1	科目コード	NB2203	
授業形態			誰	義		対象学生	2年次	開設期	半期	
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対象	象有	
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)	愛玩動物看記	雙師カリキュラム 「	基礎動物看護学	」に位置する授業。					
授業の一般	目標	代表的な薬物	の体内動態と作り	用機序、臨床応用	及び副作用につい	て学び、動物の疾	病の診断や治療	寮にどのよ う に用いら	れるかを理解する。	
受講条件		特になし								
事前学習に		EDUWARD P	RESS出版「愛玩動	物看護師カリキュ	ようム準拠教科書 2	2 巻」				
(テキスト・参 授業の到達										
□知識・理解										
□思考・判Ⅰ				こおいて、最良とされる判断ができる。						
□ 関心・意			見出し、追究する			-				
□態度の観			性を持った謙虚な							
□技能・表現					-					
授業計画(全										
動物薬理学	の基礎を理解し、	動物看護師による	る薬物の取り扱い	や神経系に作用す	る薬物について学	ి. స్.				
授業計画(授	受業単位)									
		主 題				授業内容			備考	
第1回	愛玩動物看護師による薬物の取り扱い			1. 薬理学概認	教科書 P. 141~149					
第2回	動物薬理学の基礎①			1. 薬と薬理(1. 薬と薬理作用~3. 薬の剤形と投与方法(計算)					
第3回	動物薬理学の基礎②			4. 生体内での	の薬の動態(吸収	、分布、代謝、抗	非泄)		教科書 P. 162~168	
第4回	動物薬理学の基礎③			5.薬効に影響	響を与える因子~	6. 薬の有害作用			教科書 P. 168~177	
第5回	神経系に作用する薬①			1. 神経系の	基本的事項				教科書 P. 185~200	
第6回	神経系に作	用する薬②		2. 全身麻酔药	2. 全身麻酔薬~3. 局所麻酔薬					
第7回	神経系に作	用する薬③		4. 鎮痛薬~5	5. 骨格筋弛緩薬	教科書 P. 209~215				
第8回	神経系に作	用する薬④		6. 鎮静薬、抗	九痙攣薬~7. 問題	[行動の治療薬			教科書 P. 215~219	
第9回	呼吸器系に	作用する薬①		1. 呼吸興奮	薬~2. 鎮咳薬	教科書 P. 229~232				
第10回	呼吸器系に	作用する薬②		2. 鎮咳薬(続き)~3. 抗喘息薬(気管支拡張薬)					教科書 P. 231~235	
第11回	循環器・泌	尿器に作用する	薬①	1. 血管拡張	1. 血管拡張薬(降圧薬)~2. 心不全治療薬(強心薬)					
第12回	循環器・泌	尿器に作用する	薬②	3. 抗不整脈多	薬~4. 利尿薬、5.	抗利尿薬			教科書 P. 249~257	
第13回	半期振り返	ij		半期の内容の	のまとめ					
第14回	単位認定試	験		授業内にて前	前期末試験を受け	※学生証が必要				
第15回	テスト返し	/解説		前回行った記	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する					
成績評価方	 法			<u>I</u>						
単位認定 糸	総合成績60点、	出席率80%以上 態度点20%、出	席点10%を換算し	て総合評価を行う	j.					
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準	
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点	
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点	
宿題授業外	レポート		0					10	良 (B):79点~70点	
授業態度	業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点	
発表·作品	-							-	不可(E):59点以下	
演習								-		
出席	ľ			0				10		
担当教員		澤辺	! 厚太		実務経験紹介		https://www.y	ric-kyoto-pet.ac.jp/vo	oice/sawabe/	
	i .				1	1				

科目名			動物 薬	理学Ⅱ		単位数	1	科目コード	NB2204	
授業形態				義		対象学生	3年次	開設期	半期	
区分				修		開設時期	前期	教員実務経験対象		
授業概要	する資格・検定等)	愛玩動物看證			」に位置する授業。	1715 Fr X 2010	נאָד הַים	3/2/2/ //JJ/PENX/J] 8	n	
授業の一般	目標	代表的な薬物	の体内動態と作り	用機序、臨床応用	及び副作用につい	て学び、動物の疾	病の診断や治療	唇にどのように用いら	れるかを理解する。	
受講条件		動物薬理学 I	の単位履修							
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD PI	RESS出版「愛玩動	物看護師カリキュ	Lラム準拠教科書 2	!巻」				
授業の到達	目標									
□知識・理角					きる。2. 代表的な薬		を説明できる。			
□思秀・判断					れる判断ができる。	•				
□ 関心・意名 □ 態度の観			·見出し、追究する ・ ・性を持った謙虚な		ζ.					
□ 技能・表現		1負1型圧乙工件	バエで 14 つ/ご外が、8	·NK Ø 9≠0 ·N · C ⊂ Ø	J ₀					
授業計画(全										
動物薬理学(学ぶ。 授業計画(授		循環器・泌尿器に	- 作用する薬物や	肖化器に作用する	薬物、オータコイド	、代謝・内分泌系の	D薬物、血液・免	2疫系に作用する薬物	別・化学療法薬について	
0		主題				授業内容			備考	
第1回	消化器に作	-			崔吐薬~3. 消化管	教科書 P. 261~268				
第2回	消化器に作用する薬物②			4. 止瀉(制)	4. 止瀉 (制瀉) 薬~6. 肝・膵疾患の治療薬					
第3回	オータコイド、内分泌・代謝系の薬①			1. オータコイ	イドとは				教科書 P. 279~289	
第4回	オータコイ	ド、内分泌・代詞	謝系の薬②	2. 抗炎症薬	~3. 糖尿病治療薬				教科書 P. 289~296	
第5回	オータコイ	ド、内分泌・代詞	謝系の薬③	4. 甲状腺機能	能障害の治療薬~	6. 骨代謝異常の流	台療薬		教科書 P. 297~301	
第6回	血液に作用	する薬		1. 貧血の発生	生機序と抗貧血薬	~3. 血液凝固促流	進薬(止血薬)		教科書 P. 305~317	
第7回	免疫系に作	用する薬		1. 免疫に影響	響を与える薬~2.	教科書 P. 321~327				
第8回	化学療法薬	1		1. 抗腫瘍薬		教科書 P. 331~336				
第9回	化学療法薬	2		2. 抗菌薬・拮	抗真菌薬①	教科書 P. 336~343				
第10回	化学療法薬	3		2. 抗菌薬・拮	抗真菌薬②	教科書 P. 336~343				
第11回	化学療法薬	4		3. 駆虫薬・ <u>持</u>	3. 駆虫薬・抗原虫薬~4. 殺虫薬					
第12回	化学療法薬	5		5. 消毒薬		教科書 P. 349~353				
第13回	半期振り返	IJ		半期の内容の	容のまとめ					
第14回	単位認定試	験			前期末試験を受け				※学生証が必要	
第15回	テスト返し	/解説		前回行った	試験の問題用紙を	見ながら、問題の	の意義/復習す	る		
成績評価方法	法									
		出席率80%以上 態度点20%、出版	席点10%を換算し -	て総合評価を行う	5.	,				
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準	
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点	
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点	
宿題授業外L	レルート		0					10	良(B):79点~70点 可(D):69点~60点	
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点 不可(E):59点以下		
発表•作品	ii e								: * -/ /// // /	
発表·作品 演習						l				
発表•作品 演習 出席				©				10		

科目名	動物感染症学 I	>>< /_ #F		科目コード	NB2205			
科日石	期 物 松 采 址 子 1	単位数	· ·	は日コート	INBZZUS			
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。							
授業の一般目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病メカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。 感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。							
受講条件	特になし							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	動物感染症の概論、微生物について説明ができる。							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	技能・表現の観点							
授業計画(全体)								

動物感染症学総論を理解し、感染の発症・経路や細菌について学ぶ。

授業計画(授業単位)

0	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	序論 ウイルス学総論①	1. 微生物、感染症および微生物学の歴史 1. ウイルスの分類~4. ウイルスの伝播	教科書 P.3~24
第2回	ウイルス学総論②	1. ウイルスの分類~4. ウイルスの伝播(続き)	教科書 P.9~24
第3回	細菌学総論①	1. 細菌の分類~3. 細菌の増殖・代謝	教科書 P. 29~45
第4回	細菌学総論②	4. 細菌の遺伝子~5. 細菌の感染・発症	教科書 P. 46∼58
第5回	真菌学総論	1. 真菌の分類と特徴~4. 人獣共通感染症としての真菌	教科書 P.63~71
第6回	プリオン総論 微生物検査法①	1. プリオン病 1. 微生物検査におけるバイオセーフティ	教科書 P. 75~76 教科書 P. 79~86
第7回	微生物検査法②	2. 滅菌と消毒~3. ウイルス検査法	教科書 P.87~99
第8回	微生物検査法③	4. 細菌検査法~8. PCR検査法	教科書 P. 100~113
第9回	免疫応答の異常	1. 自己免疫による疾患~3. 移植における免疫反応	教科書 P.119~129
第10回	動物感染症①	1. 病原体の感染経路と伝播様式~2. 感染症の成立と統御要因	教科書 P. 133~140
第11回	動物感染症②	3. 感染症と病原体および生体防御機構	教科書 P. 140~151
第12回	動物感染症③	4. ワクチンの原理と種類~6. 抗菌薬と薬剤耐性菌	教科書 P. 151~160
第13回	半期振り返り	半期の内容のまとめ	-
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	-

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レオ	ポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員	海辺 厚太			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/sawabe/				

科目名	動物感染症学Ⅱ	単位数	1	科目コード	NB2206			
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。							
授業の一般目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病メカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。 感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。							
受講条件	動物感染症学Iの単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	動物感染症の内部寄生虫、外部寄生虫について説明ができる。 2	犬猫の代表的な	感染症をそれぞれ	ι説明できる。				
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	□技能・表現の観点							
哲学是面(人化)								

授業計画(全体)

動物感染症学総論を理解し、ウイルス・細菌、真菌が原因となる犬猫の代表的な感染症ついて学ぶ。

授業計画(授業単位)

o	主 題	授 業 内 容	備考			
第1回	感染症の制御・制圧	1. 農林水産省行政による動物感染症対策 2. 厚生労働省行政による動物由来感染症対策	教科書 P. 165∼173			
第2回	感染症学各論 -犬と猫の感染症- ①	感染症学各論 -犬と猫の感染症- ① 【ウイルス病】 1. 狂犬病~3. 犬伝染性肝炎				
第3回	感染症学各論 -犬と猫の感染症- ②	【ウイルス病】 4. 犬伝染性気管気管支炎(ケンネルコフ)~7. 犬コロナウイルス感染症	教科書 P. 185∼189			
第4回	感染症学各論 -犬と猫の感染症- ③	【ウイルス病】 8. 猫ウイルス性鼻気管炎~10. 猫汎白血球減少症(猫バルボウイルス感染症)	教科書 P. 190∼197			
第5回	感染症学各論 -犬と猫の感染症- ④	【ウイルス病】11. 猫白血病ウイルス感染症~14. 猫のSFTS 【細菌病】1. レプトスピラ症~2. ブルセラ症	教科書 P. 197~205 教科書 P. 206~210			
第6回	感染症学各論 -犬と猫の感染症- ⑤	【細菌病】3. クラミジア症~4. 猫のヘモプラズマ症(赤血球マイコプラス゚マ症) 【真菌病】1. 皮膚糸状菌症	教科書 P. 211~217			
第7回	感染症学各論 -産業動物の感染症- ①	【ウイルス病】1. 口蹄疫~4. アカバネ病	教科書 P. 223~232			
第8回	感染症学各論 -産業動物の感染症- ②	【ウイルス病】5. 豚流行性下痢~8. 高病原性鳥インフルエンザ	教科書 P. 232~243			
第9回	感染症学各論 -産業動物の感染症- ③	【細菌病】1. 乳房炎〜4. 炭疽 【プリオン病】序論〜2. 牛海綿状脳症	教科書 P. 243~259			
第10回	感染症学各論 -実験動物の感染症- ①	序論 【ウイルス病】1. センダイウイルス感染症~5. ハンタウイルス感染症	教科書 P. 263~271			
第11回	感染症学各論 -実験動物の感染症- ② -エキゾチックペットと野生動物の感染症- ①	【細菌病】4. サルモネラ症~4. ネズミコリネ菌症 序論~【ウイルス病】3. ニホンカモシカのバラボックスウイルス感染症(伝染性膿疱性皮膚炎)	教科書 P. 271~277 教科書 P. 281~288			
第12回	感染症学各論 -エキゾチックペットと野生動物の感染症- ②	【細菌病】1. ウェットテイル(増殖性回腸炎)~5. 飼育下野生動物のエルシニア症 【真菌病】1. メガバクテリウム症~2. 鳥類のアスベルギルス症	教科書 P. 289~297			
第13回	半期振り返り	半期の内容のまとめ	-			
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要			
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する				

成績評価方法

790/190 Mil 7 O 7 O	Magam 10 / C. Dell Magameto / C. Lini M. 10 / C. D. Front City Fo								
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外L	ノポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員 澤辺 厚太			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac,jp/voice/sawabe/					

1								
科目名	動物感染症学Ⅲ	単位数	1	科目コード	NB2207			
授業形態	講義	対象学生	3年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業。							
授業の一般目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病メカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎につい て理解する。 感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。							
受講条件	動物感染症学Iの単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻」							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	ワクチンについて説明できる。 2. 感染症予防における滅菌・消毒	の重要性を説明す	ることができる。					
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□技能・表現の観点								
授業計画(全体)			•					

動物感染症学総論を理解し、寄生虫や犬猫の代表的な感染症ついて学ぶ。

授業計画(授業単位)

1文末山凹(1)	12末前回(12末年世/								
	主 題	授 業 内 容	備考						
第1回	動物寄生虫学総論	1. 歴史~9. 寄生虫症の治療と看護・ケアおよび予防対策	教科書 P. 301~309						
第2回	原虫類①	1.総論~4.トリコモナス	教科書 P. 313~319						
第3回	原虫類②	5. トリパノソーマ〜9. ピロプラズマ類	教科書 P. 320~333						
第4回	蠕虫類①	【総 論】 1. 形態 ~ 3. 分類 【線虫類】 1. 総論 ~ 2. 回虫類 (犬・猫・豚回虫)	教科書 P. 337~345						
第5回	蠕虫類②	【線虫類】 3. ギョウ虫類~5. 鉤虫類	教科書 P. 346~351						
第6回	蠕虫類③	【線虫類】 6. 糞線虫類~7. 広東住血線虫、犬糸状虫	教科書 P. 351~354、 P. 358~360						
第7回	蠕虫類④	【線虫類】 11. 東洋眼虫~14. 治療、看護、ケアおよび予防策	教科書 P. 358~366						
第8回	蠕虫類⑤	【吸虫類】 1. 総論~9. 治療、看護、ケアおよび予防策	教科書 P. 367~379						
第9回	蠕虫類⑤	【条虫類】 1. 総論~6. 治療、看護、ケアおよび予防策	教科書 P. 380∼395						
第10回	衛生動物①	1. 総論~3. シラミ・ハジラミ類	教科書 P. 403~420						
第11回	衛生動物②	4. ノミ類~5. 双翅類	教科書 P. 420~429						
第12回	寄生虫症の診断と検査	1, 総論~8. 免疫診断法・遺伝子診断法	教科書 P. 435~452						
第13回	半期振り返り	半期の内容のまとめ							
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要						
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する							

成績評価方法

		T.	T.			I	ı		
		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レ	ポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員	•	澤辺	厚太		実務経験紹介		https://www.yic-	-kyoto-pet.ac.jp	/voice/sawabe/

科目名			公衆律	i生学 I		単位数	1	科目コード	NB2208		
授業形態			i	義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分			必	修		開設時期	前期	教員実務経験対象	t –		
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)	愛玩動物看證	護師カリキュラム 「	「基礎動物看護学」	」に位置する授業						
授業の一般	目標	環境および食	€品衛生、疫学、 人	獣共通感染症につ	ついて学び、人の優	健康の維持・増進べ	o疾病予防への原	む用について理解する	5.		
受講条件		特になし									
事前学習にた (テキスト・参		EDUWARD P	ress出版「愛玩動物	勿看護師カリキュラ	5ム準拠教科書 5	巻」					
授業の到達											
□知識・理角					明することができ						
□思考・判断				とされる判断ができ	ే 6.						
□関心・意名			点を見出し、追及す		. 						
□態度の観		1. 主体性と	責極性を持った謙原	置な振る舞いがで き	きる。 						
□技能・表現											
授業計画(全	(体)										
公衆衛生総詞	論を理解し、動物	公衆衛生を学ぶ。	·								
授業計画(授	受業単位)						-		備考		
	—	主題			授 東 内 容 と						
第1回		護師と公衆衛生		衆衛生							
第2回	食品衛生①			食品衛生法	m### A . ! = .				教科書P. 127~131		
第3回	食品衛生②				田菌性食中毒)		A 1 ===:		教科書P. 132~141		
第4回	食品衛生③				ウイルス性食中毒		度中毒)		教科書P. 141~145 教科書P. 145~150		
第5回	食品衛生④				食品とアレルギー、動物性食品の衛生						
第6回	食品衛生④				食品の保存方法、食品安全行政の動向						
第7回	食品衛生⑤				品由来の健康危害防止 境衛生とは						
第8回	環境衛生①				衛生とは 規模の環境問題						
第9回	環境衛生②			水の衛生	水の衛生						
第10回	環境衛生③			生活環境問題	生活環境問題						
第11回	環境衛生④			廃棄物問題	廃棄物問題						
第12回	環境衛生⑤			衛生動物					教科書P. 204~207		
第13回	半期振り返	IJ		半期の内容	まとめ						
第14回	単位認定試	験		授業内にて前	前期末試験を受け	る			※学生証が必要		
第15回	テスト返し	/解説		前回行った記	式験の問題用紙を	見ながら、問題の	の意義/復習する	3			
	総合成績60点、と	出席率80%以上 態度点20%、出版	常点10%を換算し	て総合評価を行う	lo						
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点		
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点		
宿題授業外し	レポート		0					10	良 (B):79点~70点		
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点		
発表•作品								-	不可(E):59点以下		
演習								-			
出席				0				10			
担当教員		藤本	嘉明		実務経験紹介			<u>'</u>			

科目名	公衆衛生学Ⅱ	単位数	1	科目コード	NB2209
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	-
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物看護学」に位置する授業				
授業の一般目標	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の修	建康の維持・増進や	≎疾病予防への応	5用について理解する。	
受講条件	特になし				
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5	巻」			
授業の到達目標					
□ 知識・理解の観点	1. 公衆衛生学各種用語について簡単に説明ができる。				
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0			
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。				
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。				
□ 技能・表現の観点					
授業計画(全体)					

公衆衛生総論を理解し、人獣共通感染症や振興感染症と再興感染症、疫学を学ぶ。

授業計画(授業単位)

及未们四())	XX+127		I
	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	疫病と疾病予防	疫学とは~サーベイランスについて	教科書P. 19~32
第2回	人獸共通感染症(動物由来感染症)①	病原体等に対する安全対策 ウイルス性人獣共通感染症① 1. ラッサ熱~4. クリミア・コンゴ熱	教科書P. 37~51
第3回	人獣共通感染症(動物由来感染症)②	ウイルス性人獣共通感染症② 5. 南米出血熱~13. リフトバレー熱	教科書P. 51~58
第4回	人獸共通感染症(動物由来感染症)③	ウイルス性人獣共通感染症③ 14. ハンタウイルス感染症~22. 新型コロナウイルス感染症	教科書P. 58~69
第5回	人獸共通感染症(動物由来感染症)④	細菌性人獣共通感染症① 1. ペスト~6. 細菌性赤痢	教科書P. 69~75
第6回	人獸共通感染症(動物由来感染症)⑤	細菌性人獣共通感染症② 7. サルモネラ症~12. レプトスピラ症	教科書P. 75~80
第7回	人獸共通感染症(動物由来感染症)⑥	細菌性人獣共通感染症③ 13. カンピロバクター症~18. 紅斑熱群リケッチア症	教科書P. 76~84
第8回	人獸共通感染症(動物由来感染症)⑦	細菌性人獣共通感染症④ 19. つつが虫~20. オウム病 真菌性人獣共通感染症 1. 皮膚糸状菌症~2. クリプトコッカス症	教科書P. 84~87
第9回	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑧	寄生虫① 原虫性人獣共通感染症、線虫、吸虫、条虫類等による人獣共通感染症(線虫)	教科書P. 88~93
第10回	人獣共通感染症(動物由来感染症)⑨	寄生虫② 線虫、吸虫、条虫類等による人獣共通感染症(吸虫~外部寄生虫)口	教科書P. 93~99
第11回	人獸共通感染症(動物由来感染症)⑩	新興感染症と再興感染症	教科書P. 100∼107
第12回	人獸共通感染症(動物由来感染症)⑪	狂犬病予防の重要性	教科書P. 107~120
第13回	半期振り返り	半期の内容まとめ	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	藤本	嘉明		実務経験紹介				

科目名	動物内科看護学 I	単位数	1	科目コード	NC2201
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	_
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム 「臨床動物看護学」に位置する授業				
授業の一般目標	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、	、輸液、輸血、画像	診断に必要な検査	査、所見の記録等につ	いて理解する。
受講条件	動物看護科に在籍している				
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看記		3版」		
授業の到達目標					
□ 知識・理解の観点	1. 犬猫の健康管理について説明することができる。2. 内科診療の	補助に必要な基礎	楚知識を説明する	ことができる。	
□ 思考・判断の観点	1. 臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができ	きる。			
□ 関心・意欲の観点	1. 自ら疑問点を見出し、追究することができる。				
□ 態度の観点	1. 積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。				
□ 技能・表現の観点					
授業計画(全体)	1				

授業計画(全体)

動物の保持・増進や診察補助に必要な技術、投薬・輸液に関わる技術を学ぶ。

授業計画(授業単位)

技未計画(打	マネキロ/		
	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	動物の健康保持・増進	入院動物の日常管理~入院動物に関するその他の業務	P3~P11
第2回	衛生・安全管理と環境整備①	標準予防策の実際~感染コントロール	P15~P23
第3回	衛生・安全管理と環境整備②	安全管理対策~動物に応じた入院室整備	P24~P32
第4回	対動物関係の技術①	動物へのアプローチ~罨法①	
第5回	対動物関係の技術②	動物へのアプローチ~罨法②	P37~P66
第6回	対動物関係の技術②	動物へのアプローチ~罨法③	
第7回	動物の生活を援助するための技術①	栄養状態の評価と栄養管理、接食行動のアセスメントと援助方法 排泄行動のアセスメントと排泄物の観察~外科的な排泄障害	P71、P73~P81
第8回	動物の生活を援助するための技術②	清潔行動のアセスメントと援助方法~休息・睡眠状態のアセスメントと援助方法	P82~P91
第9回	診察補助に必要な技術	診察時における愛玩動物看護師の役割~ 診察時に必要な器具とその準備、管理方法	P95~P108
第10回	検査・処置の介助に必要な技術①	注射器の取り扱い及び管理方法~マイクロチップの挿入①	
第11回	検査・処置の介助に必要な技術②	注射器の取り扱い及び管理方法~マイクロチップの挿入②	P113~P143
第12回	検査・処置の介助に必要な技術③	注射器の取り扱い及び管理方法~マイクロチップの挿入③	
第13回	検査・処置の介助に必要な技術④	注射器の取り扱い及び管理方法~マイクロチップの挿入④	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レホ	パート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員		高橋	佳代子		実務経験紹介				

科目名	動物内科看護学Ⅱ	単位数	2	科目コード	NC2202			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験 対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業			732				
授業の一般目標	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、	輸液、輸血、画像	診断に必要な検	き査、所見の記録等に	ついて理解する。			
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護		3版」					
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	1. 犬猫の健康管理について説明することができる。2. 内科診療の	補助に必要な基礎	楚知識を説明する	ることができる。				
□ 思考・判断の観点	1. 臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができ	きる 。						
□ 関心・意欲の観点	1. 自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□ 態度の観点	1. 積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点								
12 W = 1 = 7 A 11 S	I							

授業計画(全体)

動物の保持・増進や診察補助に必要な技術、投薬・輸液に関わる技術を学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 集 内 容	備考
第1~2回	投薬に関わる技術①	投薬に際して確認すべき項目〜投与方法とその介助	P147~P164
第3~4回	輸液に関わる技術①	輸液処置時における動物看護師の役割~輸液処置中のモニタリング①	P169~P177
第5~6回	輸液に関わる技術②	輸液処置時における動物看護師の役割~輸液処置中のモニタリング②	P109~P177
第7~8回	輸血に関わる技術①	輸血とは~輸血後の血液検査①	P181~P194
第9~10回	輸血に関わる技術②	輸血とは~輸血後の血液検査②	P181~P194
第11~12回	心電図と血圧測定に関わる技術①	心電計の分類と構造~血圧評価	P199~P210
第13~14回	X線検査に関わる技術	X線検査の目的と動物看護師の役割~被曝と被曝管理	P215~P229
第15~16回	超音波検査に関わる技術	超音波診断装置の原理と構造〜超音波診断装置を用いた特殊な検査	P233~P241
第17~18回	内視鏡検査に関わる技術	内視鏡の分類と構造~その他の内視鏡検査	P245~P254
第19~20回	その他の画像検査に関わる技術	コンピュータ断層撮影法 (CT) ~核医学検査	P257~P261
第21~22回	神経学的検査に関わる技術	検査環境・必要な道具、実際の検査方法	P267~P279
第23~24回	眼科検査に関わる技術	視覚検査~その他の眼科検査	P283~P293
第25~26回	皮膚検査と耳の検査に関わる技術	皮膚科の検査、耳介の検査、耳道の検査	P297~P310
第27~28回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第29~30回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外に	レポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員		高橋	佳代子		実務経験紹介				

科目名		動物外和	斗看護学	単位数	2	科目コード	NC2203			
授業形態		講	義	対象学生	2年生	開設期	通期			
区分		必	修	開設時期	通期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標と ⁵	する資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「	臨床動物看護学」に位置する	受業						
授業の一般	目標	外科診療の補助に必要な基礎 を習得する。	知識を学び、術前準備から術中	補助、術後管理までのり	周術期の流れ を	·系統的に理解し、安全な手	術の実施に必要な			
受講条件		動物看護科に在籍している								
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD Press出版「愛玩動物 EDUWARD Press出版「愛玩動物			3版」					
授業の到達	目標									
□知識・理解	解の観点	外科診療補助に必要な基礎知言	診療補助に必要な基礎知識を説明することができる。							
□ 思考・判	断の観点	臨床現場を想定した各種場面に	床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
□ 関心・意	欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究する	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観	点	積極性と主体性を持った謙虚な	振る舞いができる。							
□ 技能•表	現の観点									
動物に対して 授業計画(技		状況・目的を理解し、術前準備や麻	酔、術中補助、術後管理、救急	教命、理学療法を学ぶ。						
1文本 山 凹 (1)	X 未 中 位 /									
<u> </u>		主 題		授業内容			備考			
91回	動物に対し	主 題 て外科処置を行う状況・目的	外科診療時の補助に必要				備考			
	動物に対し	て外科処置を行う状況・目的	外科診療時の補助に必要 術前手続きや術前検査/!	を技術	ついて		備考			
第1回	_	て外科処置を行う状況・目的		を な技術 無菌的処置の重要性に	ついて		備考			
第1回	術前準備①	て外科処置を行う状況・目的	術前手続きや術前検査/	な技術 無菌的処置の重要性に	ついて		備考			
第1回 第2~3回 第4回	術前準備①	て外科処置を行う状況・目的	術前手続きや術前検査/ 手術器具の準備、減菌法	な技術 無菌的処置の重要性に について とについて	ついて		備考			
第1回 第2~3回 第4回 第5回	術前準備① 術前準備② 術前準備③	て外科処置を行う状況・目的	術前手続きや術前検査/ 手術器具の準備、滅菌法 手術室の衛生的清掃と機	な技術 無菌的処置の重要性に について と器類、準備について 要な準備について			(備考			
第1回 第2~3回 第4回 第5回 第6~8回 第9回	術前準備① 術前準備② 術前準備③ 術前準備④	て外科処置を行う状況・目的	術前手続きや術前検査/ 手術器具の準備、減菌法 手術室の衛生的清掃と機 機器台の準備/術者に必	な技術 無菌的処置の重要性に について 機器類、準備について 要な準備について 可看護師の役割について		ついて	備考			
第1回 第2~3回 第4回 第5回 第6~8回	術前準備① 術前準備② 術前準備③ 術前準備④ 麻酔①	て外科処置を行う状況・目的	術前手続きや術前検査/ 手術器具の準備、減菌注 手術室の衛生的清掃と機 機器台の準備/術者に必 麻酔処置時における動物	な技術 無菌的処置の重要性に について と器類、準備について 要な準備について 即看護師の役割について		ついて	備考			

成績評価方法

第20~21回 第22~24回

第25~26回

第27回

第28回

第29~30回

術後管理①

術後管理②

救急救命処置 I ①

救急救命処置 I ②

理学療法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。

授業振返り/単位認定試験/テスト返し/解説

	1							
	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良(B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	奥井	裕子		実務経験紹介				

麻酔覚醒後の動物のモニタニングについて

授業振返り/授業内にて前期末試験/試験の問題の意義/復習する

理学療法の目的と意義について

救命方法の知識の実践①

救命方法の知識の実践②

痛みと創傷管理

※2021年8月実施 ペットファーストエイド講座にて

※学生証が必要

科目名	動物臨床看護学総論	単位数	1	科目コード	NC2204
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	-
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業				
授業の一般目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを	一置いた動物看護の	の基本的な考え方	を修得する。	
受講条件	動物看護科に在籍している				
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9	巻」			
授業の到達目標					
□ 知識・理解の観点	動物看護の基本的な考えについて説明することができる。				
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0			
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。				
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。				
□ 技能・表現の観点					
授業計画(全体)					

授業計画(全体)

動物看護学概論で学習した動物看護過程の展開の復習とさらなる展開を事例を通して学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	動物臨床看護学を学ぶうえで必要な基礎知識①	1. チーム獣医療における動物看護師の役割 2. ケアの標準化(クリティカルパス)	教科書 P.3~15
第2回	動物臨床看護学を学ぶうえで必要な基礎知 識②	3. 臨床における動物のQOL維持の重要性 4. 動物看護管理	教科書 P.16~29
第3回	動物看護過程①	1. 動物看護過程とは 2. アセスメント ~情報収集・解釈・判断~	教科書 P. 33~41
第4回	動物看護過程②	3. 動物看護診断 〜動物看護上の問題点を抽出〜 〜6. 動物看護評価	教科書 P. 42~50
第5回	診療記録	1. 診療記録(カルテ)の記入・保存・管理・運用 2. 動物看護記録の目的や書式、作成方法	教科書 P. 53~67
第6回	動物看護業務①	【健康期(若齢・老齢)の動物看護】 1. 若齢期の動物看護	教科書 P.73~77
第7回	動物看護業務②	【健康期(若齢・老齢)の動物看護】 2. 老齢期の動物看護	教科書 P. 78~93
第8回	動物看護業務③	【健康期(若齢・老齢)の動物看護】 2. 老齢期の動物看護(続き)	教科書 P.78~93
第9回	動物看護業務④	【急性期の動物看護】 1. 急性期とは ~3. 右後肢断脚手術を実施した犬における術後急性期の動物看護	教科書 P. 94~104
第10回	動物看護業務⑤	【回復期の動物看護】 1.回復期とは ~3.前十字靭帯断裂の手術を実施した犬における術後回復期の動物看護	教科書 P. 105~125
第11回	動物看護業務⑥	【慢性期の動物看護】 1. 慢性期とは ~3. 糖尿病に罹患した犬における慢性期の動物看護	教科書 P. 127~141
第12回	動物看護業務⑦	【終末期の動物看護(ターミナルクア)】 1. 終末期(ターミナル期)とは ~4. 死亡した動物への対応とエンゼルケア	教科書 P. 142~149
第13回	動物看護業務⑧	第6回~第12回 まとめ	-
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考•判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	阿部	3 令子		実務経験紹介				

到口夕			私恤吃产手	誰⇔々 № т		X IT #F	•	된다. 1	NOCCO
科目名			動物臨床看			単位数 対象学生	2 2年次	科目コード	
授業形態			講	開設期	半期				
区分			必	195		開設時期	後期	教員実務経験対	**************************************
	する資格・検定等)		護師カリキュラム「 		各々の機能障害を持つ動物に				
授業の一般	目標	してどのような	は看護を提供すべる				(に対する条件		다 (이) (《라마우 다 한 기술) 기상이 (》
受講条件		動物臨床看護	護学総論の履修						
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD Pr	ress出版「愛玩動物	あ看護師カリキュラ	ラム準拠教科書 9	巻」			
授業の到達									
□ 知識・理解			必要な処置、治療、						
□ 思考・判[臨床現場を想	限した各種場面に	おいて、最良とさ					
□ 関心・意	次の観点 	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。					
□態度の観	!点	積極性と主体	性を持った謙虚な	振る舞いができる	0.				
□技能・表現									
授業計画(全	(体)								
		的な微候(症状)を	学ぶ						
授業計画(招	受業単位)	主題				授業内容			備考
第1~2回	代表的な徴	(株の理解と対処(D D	1. 徴候とは 2. 代表的な徴候と対処法					教科書 P. 163∼195
第3~4回	代表的な徴	候の理解と対処の	2	2. 代表的な徴候と対処法 (続き)					教科書 P. 164~195
第5~6回	呼吸器疾患	1		1. 呼吸器疾患	患とは~4. 呼吸器	疾患の動物看護			教科書 P. 205~228
第7~8回	呼吸器疾患	2		1. 呼吸器疾患	患とは~4. 呼吸器	疾患の動物看護			教科書 P. 205~228
第9~10回	呼吸器疾患 循環器疾患				患とは~4. 呼吸器 患とは~4. 循環器				教科書 P. 205~228 教科書 P. 233~258
第11~12回	循環器疾患	2		1. 循環器疾息	患とは~4. 循環器	疾患の動物看護			教科書 P. 233~258
第13~14回	循環器疾患	3		1. 循環器疾患	患とは~4. 循環器	疾患の動物看護			教科書 P. 233~258
第15~16回	消化器疾患	1		1. 消化器疾息	患とは~4. 消化器	疾患の動物看護			教科書 P. 263∼288
第17~18回	消化器疾患消化器疾患				患とは~4. 消化器 患とは~4. 消化器				教科書 P. 263~288 教科書 P. 263~288
第19~20回	内分泌疾患	<u>1</u>		1. 内分泌疾息	患とは~4. 内分泌	疾患の動物看護			教科書 P. 293~319
第21~22回	内分泌疾患				患とは~4. 内分泌				教科書 P. 293~319
第23~24回	内分泌疾患				患とは~4. 内分泌 ・免疫介在性疾患				教科書 P. 293~319
第25~26回		免疫介在性疾患		4. 血液疾患	・免疫介在性疾患	の動物看護			教科書 P. 323~353
第27~28回		免疫介在性疾患の		4. 血液疾患	・免疫介在性疾患 ・免疫介在性疾患	の動物看護			教科書 P. 323~353
第29~30回		/単位認定試験/ -	テスト返し/解説	授業振返り/	授業内にて前期	末試験/試験の問題	の意義/復習	する 	※学生証が必要
	総合成績60点、と	出席率80%以上 態度点20%、出席	 第点10%を換算し	て総合評価を行う	<u> </u>				
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト		0	0	20					優 (A):89点~80点
宿題授業外	レポート		0	10					良 (B):79点~70点
授業態度				O O 10					可 (D):69点~60点
発表•作品				- 不可					不可(E):59点以下
演習									
出席				©				10	
					中秋/0 EA/m ^			1	
担当教員		阿哥	令子		実務経験紹介				

W = -			z: 4L======	=#		334 11 16.		7.1 E		10000		
科目名			動物臨床看			単位数	2	科目コード		NC2206		
授業形態			講			対象学生	3年次	開設期		半期		
区分			必	修 ——————		開設時期 前期 教員実務経験対象 -						
授業概要 (目的、目標とす	「る資格・検定等)		護師カリキュラム 「			15 V 再 4 加 里 - V 5	= 1 = BB - 1 - 7 + 1 - 1	<u> </u>		2+++ -= = 1.461=+1		
授業の一般	目標)病態生理を理解し は看護を提供すべる			や必要な処置、治療解する。	RI-関9 る基本	的な知識を子ふ。1	うべの (機能障害	で持つ劉初に刈		
受講条件		動物臨床看護	動物臨床看護学各論Iの履修									
事前学習についている。		EDUWARD Pr	DUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9 巻」									
授業の到達												
□ 知識・理角			必要な処置、治療、									
□ 思考·判閣			塩床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。									
□ 関心・意欲		自ら疑問点を	自ら疑問点を見出し、追究することができる。									
□態度の観	点	積極性と主体	性を持った謙虚な	振る舞いができる	0.							
□技能・表現												
授業計画(全	(体)											
		的な微候(症状)を	:学ぶ									
授業計画(授	美単位)											
		主題				授業内容				備考		
第1~2回	皮膚疾患①		1. 皮膚疾患とは~4. 皮膚疾患の動物看護					教科書	P. 357~383			
第3~4回	皮膚疾患②		1. 皮膚疾患とは~4. 皮膚疾患の動物看護					教科書	P. 357~383			
第5~6回	感覚器疾患	1	1. 感覚器疾患とは~4. 感覚器疾患の動物看護					教科書	P. 389~404			
第7~8回	感覚器疾患	2		1. 感覚器疾息	患とは~4. 感覚器	疾患の動物看護			教科書	P. 389~404		
第9~10回	神経疾患・	整形外科疾患①		1. 神経疾患	とは~7.神経疾患	·整形外科疾患0	D動物看護		教科書	P. 407~435		
第11~12回	神経疾患・	整形外科疾患②		1. 神経疾患	とは~7. 神経疾患	·整形外科疾患0	D動物看護		教科書	P. 407~435		
第13~14回	排泄機能障	害を伴う疾患①		1. 排泄機能區	章害を伴う疾患と	は~6. 排泄機能障	章害を伴う疾患	の動物看護	教科書	P. 441~478		
第15~16回	排泄機能障	害を伴う疾患②		1. 排泄機能降	章害を伴う疾患と	は~6. 排泄機能障	章害を伴う疾患	の動物看護	教科書	P. 441~478		
第17~18回	生殖器疾患	1		1. 生殖器疾息	患とは~4. 生殖器	疾患の動物看護			教科書	P. 483~497		
第19~20回	生殖器疾患	2		1. 生殖器疾息	患とは~4. 生殖器	疾患の動物看護			教科書	P. 483~497		
第21~22回	救急疾患①				とは~4. 緊急時の					P. 503~524		
第23~24回	救急疾患② 担がん動物				とは~4. 緊急時の とは~8. 担がん動					P. 503~524 P. 529~566		
第25~26回	担がん動物	の看護②		1. 腫瘍疾患	とは~8. 担がん動	物への動物看護			教科書	P. 529~566		
第27~28回	担がん動物	の看護③		1. 腫瘍疾患	とは~8. 担がん動	物への動物看護			教科書	P. 529~566		
第29~30回	授業振返り	/単位認定試験/-	テスト返し/解説	授業振返り/	授業内にて前期	末試験/試験の問題	題の意義/復習る	する	※学生	証が必要		
成績評価方法	去											
		出席率80%以上 態度点20%、出席	席点10%を換算し	て総合評価を行う	j.							
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績	評価基準		
定期試験		0	0					50	秀 (S):10	0点~90点		
小テスト		0 0						20	優 (A):89	点~80点		
宿題授業外し	ノポート	• •						10	良 (B):79	点~70点		
授業態度		0 0 10					10	可 (D):69	点~60点			
発表•作品							-	不可(E):59	点以下			
演習		-						-				
出席				0				10				
担当教員	阿部 令子 実務経験紹介											

科目名			動物臨原	床検査学		単位数	1	科目コード	NC2207			
受業形態			講	義	対象学生 2年次 開設期							
区分			必	修		開設時期	前期	教員実務経験対象	東 -			
受業概要 目的、目標とす	「る資格・検定等)	愛玩動物看護	師カリキュラム「	臨床動物看護学	」に位置する授業							
受業の一般に	目標	様々な臨床検	査の原理や方法	、意義について学	び、検体や測定機	器の正しい扱い方	こついて理解す	る。				
受講条件		動物看護科に	在籍している									
事前学習につ (テキスト・参		EDUWARD Pr EDUWARD Pr	ess出版「愛玩動特 ess出版「愛玩動特	勿看護師カリキュラ 勿看護師カリキュラ	ラム準拠教科書 7 ラム準拠 動物看記	巻」 隻実習テキスト 第3	3版」					
授業の到達	目標											
□ 知識・理角	解の観点	各種検査の種	類や方法、意義を	理解した上で、正	常値や異常値を	判断できる。						
□ 思考·判断	新の観点	臨床現場を想	定した各種場面に	おいて、最良とさ	おいて、最良とされる判断ができる。							
□ 関心・意欲	次の観点	自ら疑問点を	見出し、追及する	ことができる。								
□ 態度の観	点	主体性と積極	性を持った謙虚な	振る舞いができる) _o							
□ 技能·表现	見の観点											
授業計画(全	:体)											
昨年 は本の 1	は磁太神紀! か	海埃本の民埃木	番価焓本 细贴	◇▶ 雇研织⇔☆木	心霊図栓本にか	圧焓本た学ご						
		液検査や尿検査、 	共议快宜、	ッこ羽 垤祖穥快貨	、心电凶快宜と皿	工快旦を子 ふ。						
授業計画(授	(美里位)	主題				授業内容			備考			
第1回	臨床検査の	基礎		臨床検査~=	 主な検査機器							
第2回	血液検査①					L漿、血清の分離 ※	<u> </u>					
第3回	血液検査②				(CBC) ~血液塗抹							
第4回	血液検査③			ヘマトクリ	ット管を用いた検	查、凝固検査						
第5回	血液検査④			生化学検査	<総論、各論>							
第6回	血液検査⑤			血液ガス分析	 折、免疫学的検査	<u> </u>						
第7回	尿検査①			尿検体の採用	取方法~検査手順	į						
第8回	尿検査②			検査手順~原	尿沈渣標本に出現	まままま ままま ままま ままま ままま はっぱい はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ しゅうしゅう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしょう はんしょう しゅうしゅう しゅう						
第9回	糞便検査			糞便検査の目	目的と動物看護師	iの役割~その他の	の微生物検査					
第10回	細胞診と病	理組織検査①		細胞診検査								
第11回	細胞診と病	理組織検査②		病理組織検査	查							
第12回	遺伝子検査			遺伝子検査と	とは~遺伝子検査	の対象疾患						
第13回	心電図検査	と血圧検査		心電計の分類	頭と構造~血圧の)評価						
第14回	授業振り返	り/単位認定試験		授業を振り込	医り、授業内にて	前期末試験を受け	ける		※学生証が必要			
第15回	テスト返し	/解説		前回行った記	式験の問題用紙を	見ながら、問題の	の意義/復習す	 る				
成績評価方法	 法			<u> </u>								
		出席率80%以上 態度点20%、出席	5点10%を換算し	て総合評価を行う								
		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点			
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点			
宿題授業外L	ノポート		0					10	良 (B):79点~70点			
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点 不可(E):59点以下			
発表・作品												
演習 出席								- 10				
				0	1	1		10				

				20)22年度 シフ/	\ <u>\</u>					
科目名			動物医療コミ	ュニケーション		単位数	1	科目コード	NC2208		
授業形態			請	義	対象学生 3年次 開設期						
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対	象 有		
授業概要 (目的、目標とす	- る資格・検定等)	愛玩動物看證	護師カリキュラム 「	臨床動物看護学	」に位置する授業						
授業の一般目	目標	事前問診、入	院動物の容態説明	月、院内における作	完内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。						
受講条件		動物看護科は	こ在籍している								
事前学習にて	考書等)	EDUWARD P	ress出版「愛玩動特	勿看護師カリキュラ	ラム準拠教科書 8	巻」					
授業の到達目		1 動物の(A)	ま年四にのいて細	こついて飼い主向けに説明できる。 2. 院内におけるコミュニケーションの重要性を説明することが							
□ 知識·理解 □ 思考·判断					れる判断ができる。		ソーションの主	女はで試めりること			
□ 関心・意欲			見出し、追究する		100111111111111111111111111111111111111	•					
□態度の観			・ 性を持った謙虚な		, ,						
□ 技能・表現	見の観点										
授業計画(全	体)	I									
		を理解し、クライア	フライアント(飼い主)が求める8つの条件や院内コミュニケーション、グリーフケアを学ぶ。								
授業計画(授	業単位)								***		
	4 = 7 = 5	主題		h = 1 = 1	. 	授業内容	-		備考		
第1回		ヽエデュケーショ 			トエデュケーショ						
第2回	クライアント	、エデュケーショ	ン②	クライアン	クライアントサービスについて						
第3回	クライアント	ヽエデュケーショ	ン③	適正飼育、個	建康管理の必要な	情報提供/動物と	:飼い主の良好7	な関係構築について			
第4回	クライアント	ヽエデュケーショ	ン④	病気の適切が	な予防法について	1					
第5回	クライアント	ヽエデュケーショ	ン⑤	病気の適切が	な予防法について	2					
第6回	クライアント	・エデュケーショ	ン⑥	病気の適切な	な予防法について	3					
第7回	クライアント	ヘエデュケーショ	ン⑦	接遇とホスし	ピタリティーにつ	いて					
第8回	クライアント	・エデュケーショ	ン⑧	在宅治療(行	住診)におけるコ	ミュニケーショ	ン技能について	<u> </u>			
第9回	院内コミュニ	ニケーション①		飼い主教育る	 を主体としたイン	フォームドコン	セントについて	•			
第10回	院内コミュニ	ニケーション②		医療面接のこ	プロセス/チーム[医療に関するコミ	ニュニケーション	 ン技能について			
第11回	院内マネーシ			受付業務(記	診療受付、電話対	応、清算、トラ	ブル対応など)	について			
第12回	院内マネーシ	ジメント②		物品購入や領	管理/動物保健医療	春について					
第13回	グリーフケフ				別れ、お見送り、		<u> </u>				
第14回		り/単位認定試験	<u> </u>		返り、授業内にて				※学生証が必要		
第15回	テスト返し				試験の問題用紙を			z	太子工証が必要		
成績評価方法		/ 丹年 前兀		前回打りた	10年の日本日本で	元なかり、问起	の忠我/後日り^				
	-	出席率80%以上									
成績点70%	、提出物&授業	態度点20%、出版	常点10%を換算し	て総合評価を行う	5.		T				
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点		
小テスト		0	0	20					優 (A):89点~80点		
宿題授業外レ	ノポート		0	10					良 (B):79点~70点		
授業態度				O O 10					可 (D):69点~60点		
発表・作品				-					不可(E):59点以下		
演習				© 10							
出席				丸山 圭太 実務経験紹介 https://www.vic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruy							

科目名	愛護動物学 I	単位数	1	科目コード	ND2201			
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	_			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業 「愛護動物学 I 」と「愛護動物学 II 」で構成されており、これらの履修		n看護師カリキュラ	5ム「愛護動物学」の履	修となる。			
授業の一般目標	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理 「愛護動物学 I 」では犬猫の歴史や代表的な品種、使役動物として 方法について、実際の動物を見ながら学ぶ。			や習性を学んだ上で、	適切とされている飼育管理			
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6	巻」						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	エキゾチックアニマルとは何かを説明することができる。 2. 各動物	の特徴や飼育方法	去について説明す	ることができる。				
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								

伴侶動物の歴史と代表的な品種について理解し、本校で飼育している小動物の飼育管理について学ぶ。

授業計画(授業単位)

IXXII II (IX	XX+ L7		
	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	ウサギの品種と特徴①	ウサギの生態について	
第2回	ウサギの品種と特徴②	ウサギの飼養管理・飼養施設/ウサギの主な疾病	
第3回	ウサギの品種と特徴③	ウサギの飼養管理・飼養施設/ウサギの主な疾病	
第4回	モルモットの特徴①	モルモットの生態について/モルモットの飼養管理・飼養施設/モルモットの主な	
第5回	モルモットの特徴②	モルモットの飼養管理・飼養施設/モルモットの主な疾病	
第6回	ハムスターの品種と特徴①	ハムスターの生態について	
第7回	ハムスターの品種と特徴②	ハムスターの飼養管理・飼養施設/ハムスターの疾病	
第8回	フェレットの特徴	フェレットの生態について/フェレットの飼養管理・飼養管理	
第9回	チンチラの特徴/モモンガの特徴①	チンチラの生態について/モモンガの生態について①	
第10回	モモンガの特徴②/ハリネズミの特徴	モモンガの生態について②/ハリネズミの生態について	
第11回	飼鳥の品種と特徴①	飼鳥の飼養管理・飼養施設	
第12回	飼鳥の品種と特徴②	繁殖・発情行動について	
第13回	飼鳥の品種と特徴③	飼鳥の主な疾病	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0					10	優 (A):89点~80点
宿題授業外し	ノポート		0					20	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員		西田	沙季		実務経験紹介				

				20	22年度 シラ/	\ <u>\</u>					
科目名			愛護動	物学Ⅱ		単位数	1	科目コード	ND2202		
授業形態			請	義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分			业	修		開設時期	後期	教員実務経験対	象 — —		
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)				^全 」に位置する授業 おり、これらの履修		看護師カリキュ [:]	ラム「愛護動物学」 <i>₫</i>)履修となる。		
授業の一般	目標	「愛護動物学		史や代表的な品種	」、適切な飼育管理 重、使役動物として			や習性を学んだ上で	で、適切とされている飼育管理		
受講条件		愛護動物学]	の履修								
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD P	ress出版「愛玩動物	勿看護師カリキュラ	「護師カリキュラム準拠教科書 6 巻」						
授業の到達	目標		大の品種の特徴や飼養管理について説明することができる。 2. 猫の品種の特徴や飼養管理について説明することができ								
□ 知識・理解							词養管理につい	て説明することができ	きる。 		
□思考・判				こおいて、最良とさ							
□関心・意			見出し、追究する								
□態度の観		積極性と王体	任を持つた課虚な	張る舞いができる	0.						
□ 技能·表3 授業計画(全											
技术計画(主	=14-7										
伴侶動物の	歴史と代表的な	品種について理解	し、犬の品種尾と	持徴、猫の品種と	持徴を学ぶ。						
授業計画(授	受業単位)										
		主 題				授業内容			備考		
第1回	犬の品種と	特徴①		犬の歴史					2020年5月実施		
第2回	犬の品種と	特徴②		犬の犬種①	(JKC第1G~)	第3G)					
第3回	犬の品種と	特徴③		犬の品種②	(JKC第4G~9	第6G)					
第4回	犬の品種と	特徴②		犬の品種③	(JKC第7G~)	第10G)					
第5回	犬の品種と	特徴①		犬の飼育管理	里① (すまい、食	事)について					
第6回	犬の品種と	特徴②		犬の飼育管理	里②(健康管理)	/日々の関わりに	ついて				
第7回	猫の品種と	特徴①		猫の歴史につ	ついて						
第8回	猫の品種と	特徴②		猫の品種につ	ついて						
第9回	猫の品種と	特徴③		猫の飼育管理	里①(すまい、食	事) について					
第10回	猫の品種と	特徴④		猫の飼育管理	里②(健康管理)	、日々の関わり	こついて				
第11回	使役動物①)		使役動物(ス	犬、その他の動物)について					
第12回	使役動物②)		盲導犬/介助	犬について						
第13回	使役動物③)		聴導犬/その	他の使役犬につし	ハて					
第14回	授業振り返	り/単位認定試験	ŧ	授業を振り込	返り、授業内にて	前期末試験を受り	ける		※学生証が必要		
第15回	テスト返し	/解説		前回行った記	式験の問題用紙を	見ながら、問題の	の意義/復習する	5			
成績評価方	法										
		出席率80%以上 態度点20%、出版	第点10%を換算し	て総合評価を行う	0						
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点		
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点		
宿題授業外	レポート						10	良 (B):79点~70点			
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点		
発表•作品								-	不可(E):59点以下		
演習								-			
出席				0				10			
担当教員		西田	沙季		実務経験紹介						

4155				~ PP / T ''		*****		***			
科目名				の関係学 		単位数	1 0年生	科目コード	ND2203		
授業形態 区分				義 ————— 修		対象学生	2年生	開設期 教員実務経験対	半期 条 有		
授業概要						開設時期	前期	教員美務栓映 对	家		
1又未似安 (目的、目標とす	「る資格・検定等)				と」に位置する授業						
授業の一般	目標	動物が人間を解する。	t会で果たしている	役割やその背景・	・歴史について学び	が、人と動物の関係	を心理学的及び	社会学的側面から	、その実態、課題等を含めて理		
受講条件		愛玩動物学の)単位認定								
事前学習に (テキスト・参		EDUWARD Pr	ress出版「愛玩動物	物看護師カリキュラ	ラム準拠教科書 4	巻」					
授業の到達											
□知識・理角			AAEについて説明								
□ 思考·判勘 □ 関心·意俗			見出し、追究する		おいて、最良とされる判断ができる。						
□ 関心 窓間											
□ 態度の観点 積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。 □ 技能・表現の観点											
授業計画(全											
人と動物の関	関係と歴史につい	・て理解し、人と動	物の関係や使役重	動物から介在動物	について学ぶ。						
授業計画(授	業単位)										
回 主題					授業内容			備考			
第1回	人と動物の	人と動物の関係と歴史 人と動物				て					
第2回	学問への道	/経緯		基盤になった	基盤になった研究について						
第3回	人と動物の	関係①		家畜化につい							
第4回	人と動物の	関係②		人と犬の関係	系について						
第5回	人と動物の	関係③		人と猫の関係	系について						
第6回	人と動物の	関係④		人と馬の関係について							
第7回	人と動物の	関係⑤		人と伴侶動物の新たな関係について							
第8回	人と動物の	関係⑥		人と野生動物の関係について							
第9回	使役動物か	ら介在動物へ①		使役動物について							
第10回	使役動物か	ら介在動物へ②		介助犬について							
第11回	使役動物か	ら介在動物へ③		介在動物/動	介在動物/動物介在療法について						
第12回	使役動物か	ら介在動物へ④		動物介在教育	物介在教育/動物介在活動について						
第13回	様々な人と	動物の関係		子供と動物、	高齢者と動物、	罪を犯した人と動	動物の関係につ	いて			
第14回	授業振り返	り/単位認定試験	ŧ	授業を振り込	返り、授業内にて	前期末試験を受け	ける		※学生証が必要		
第15回	テスト返し	/解説		前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する							
成績評価方法	去							-			
		出席率80%以上 態度点20%、出原	常点10%を換算し	て総合評価を行う	o,						
		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点		
小テスト		0	0					20	優 (A):89点~80点		
宿題授業外し	ノポート		0					10	良 (B):79点~70点		
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点			
発表・作品							-	不可(E):59点以下			
演習							-				
出席				0				10			
担当教員 丸山 圭太 実務経験紹介 https://					/ /www.vio-k	voto-not oo in /	voice/maruyama/				

			l	1	-			
科目名	適正飼養指導論I	単位数	1	科目コード	ND2204			
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験 対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業							
授業の一般目標 愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。								
受講条件	愛玩動物学Ⅱの単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10	巻」						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	適正飼養の重要性を説明できる。							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	技能・表現の観点							
17 W - 1 - 1 A 11 S	•							

授業計画(全体)

伴侶動物の歴史と代表的な品種について理解し、本校で飼育している小動物の飼育管理について学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	愛玩動物の飼養①	1. 適正飼養とは	教科書 P.3∼10
第2回	愛玩動物の飼養②	動物との正しい関わり合い方	-
第3回	愛玩動物の飼養③	2. 愛玩動物飼養の現状~3. 愛玩動物によって人間が受ける影響と問題点	教科書 P.11~19
第4回	動物終末期(飼い主)ケア①	1. 動物終末期 (飼い主) ケアの総論と動物看護師の役割	教科書 P. 23~29
第5回	動物終末期(飼い主)ケア②	QOLと終末期医療	-
第6回	動物終末期(飼い主)ケア③	2. 動物医療グリーフケア	教科書 P. 29~36
第7回	動物終末期(飼い主)ケア④	3. ペットロス	教科書 P. 36∼39
第8回	動物終末期(飼い主)ケア⑤	看取りとグリーフケア	-
第9回	適正飼養の推進①	1. 適正飼養に関する支援の目的と活動~2. 動物取扱業者における適正飼養	教科書 P.47~54
第10回	適正飼養の推進②	1. 適正飼養に関する支援の目的と活動~2. 動物取扱業者における適正飼養 (続き)	教科書 P. 47~54
第11回	適正飼養の推進③	3. 愛玩動物の過剰繁殖とその対策	
第12回	半期まとめ	各グループに分かれて半期の内容をまとめる	-
第13回	まとめ内容発表	12回目の内容の発表 (半期振り返り)	-
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト								1	優 (A):89点~80点
宿題授業外し	ポート		0					10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習		0	0					20	
出席				0				10	
担当教員	当教員 北村 昌樹			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/				

				1				
科目名	適正飼養指導論Ⅱ	単位数	1	科目コード	ND2205			
授業形態	講義	対象学生	3年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験 対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業							
授業の一般目標 愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。								
受講条件	適正飼養指導論 I の単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10) 巻」						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	エキゾチックアニマルとは何かを説明することができる。 2. 各動物	の特徴や飼育方法	去について説明す	ることができる。				
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点								
15#17/A/L\	ı							

授業計画(全体)

伴侶動物の歴史と代表的な品種について理解し、本校で飼育している小動物の飼育管理について学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	適正飼養の推進④	4. 問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項 や方法	教科書 P. 58~73
第2回	適正飼養の推進⑤	4. 問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項 や方法 (続き)	教科書 P. 58~73
第3回	災害危機管理と支援①	1. 災害時におけるペットの救護対策ガイドライン~2. 同行避難	教科書 P.77~81
第4回	災害危機管理と支援②	3. 災害対応における基本的な視点~4. 平常時および災害時の飼い主の備え	教科書 P.82~91
第5回	災害危機管理と支援③	5. 動物看護師の平常時における役割~6. 動物看護師の災害時における役割	教科書 P.92~98
第6回	災害危機管理と支援④	グル ー プワーク①	-
第7回	災害危機管理と支援⑤	グループワーク②	-
第8回	動物愛護管理行政①	1. 動物愛護管理行政とは	教科書 P. 103~109
第9回	動物愛護管理行政②	「動物愛護管理法」における適正な飼養管理	-
第10回	動物愛護管理行政③	2. 適正飼養の普及啓発	教科書 P.110~114
第11回	動物愛護管理行政④	3. 犬と猫の引き取りと負傷動物の収容~4. 動物取扱業者の規制	教科書 P.115~121
第12回	半期まとめ	各グループに分かれて半期の内容をまとめる	-
第13回	まとめ内容発表	12回目の内容の発表(半期振り返り)	-
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト		0	0					10	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポ			0					20	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員 北村 昌樹			実務経験紹介	<u>h</u>	ttps://www.yic-ky	oto-pet.ac.	jp/voice/kitamura/		

되므스	4.4.4.7 = 4.4.4	M 11 M		#4 m _ 12	LID COCC			
科目名	動物生活環境学	単位数	1	科目コード	ND2206			
授業形態	講義	対象学生	3年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験 対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム 「愛護・適正飼養学」に位置する授業							
動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼育環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの 授業の一般目標 教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学 び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。								
受講条件	適正飼養指導論Ⅰの単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10	巻」						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点								
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	技能・表現の観点							
15 Mr = 1 (A / I)	•							

授業計画(全体)

伴侶動物の歴史と代表的な品種について理解し、本校で飼育している小動物の飼育管理について学ぶ。

授業計画(授業単位)

<u> </u>	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	飼養環境整備①	1. 犬と猫の飼養環境整備に関わる法律・基準 4. ペット共生の現状	教科書 P. 127~128 教科書 P. 143~145
第2回	飼養環境整備②	2. 犬の飼養環境整備 5. 犬たちとの暮らし方 -環境整備・管理の方法-	教科書 P. 129~136 教科書 P. 145~153
第3回	飼養環境整備③	3. 猫の飼養環境整備 6. 猫たちとの暮らし方 -環境整備・管理の方法-	教科書 P. 136~143 教科書 P. 154~158
第4回	飼養環境整備④	7. シニアペットとの暮らし方 -環境整備・管理の方法-	教科書 P. 158~159
第5回	ペットツーリズム関連施設、 ドッグラン①	1. ペットツーリズムの現状と実施方法 2. ペット同伴宿泊施設の環境整備と管理	教科書 P. 165~173
第6回	ペットツーリズム関連施設、 ドッグラン②	3. ドッグランの環境整備と管理 4. ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興	教科書 P.174~184
第7回	保護収容施設①	1. 動物愛護管理センター等の役割 2. 動物収容保護施設での飼養管理	教科書 P.191~199
第8回	保護収容施設②	3. 災害時のシェルターの役割 4. シェルターメディスン	教科書 P. 200~205
第9回	ペットへの教育・訓練施設①	1. ペット飼育に関する課題~4. 社会科トレーニングの基礎	教科書 P. 211~216
第10回	ペットへの教育・訓練施設②	5. パピークラスにおける教育内容~6. 教育施設の種類	教科書 P. 217~224
第11回	動物介在教育施設	1. 法的背景~2. 学校飼育動物等の施設の環境整備・管理	教科書 P. 227~235
第12回	ペット飼育のマナー・事故やケガ等の リスクへの対応①	1. 飼育マナーの必要性や目的~ 3. 地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種条例	教科書 P. 239~246
第13回	ペット飼育のマナー・事故やケガ等の リスクへの対応②	4. 愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナー	教科書 P. 247~257
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト		0	0					10	優 (A):89点~80点
宿題授業外レ	ポート		0					20	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品								-	不可(E):59点以下
演習								1	
出席				0				10	
担当教員 北村 昌樹		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/						

		1	1					
科目名	ペット関連産業概論	単位数	1	科目コード	ND2207			
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験 対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業							
授業の一般目標 ペット関連産業に従事する者として職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物 取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。								
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10)巻」						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	ペット関連産業についてや動物取扱責任者としての職業倫理や業績		5.					
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	能・表現の観点							
I= W-1 - (A / ()	l.							

授業計画(全体)

伴侶動物の歴史と代表的な品種について理解し、本校で飼育している小動物の飼育管理について学ぶ。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 集 内 容	備考
第1回	ペット関連産業概論	ペット関連産業と動物看護師	-
第2回	ペット業界の歴史	ペット業界の歴史について	-
第3回	ペット関連産業における職業倫理①	1. ペット関連産業における責任と社会的役割	教科書 P. 265~267
第4回	ペット関連産業における職業倫理②	2. 商取引における関連法規の概要 3. 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法	教科書 P. 268~274
第5回	ペットの飼育実態と市場規模	1. ペットの飼育実態~3. ペット産業全体の市場規模	教科書 P. 279~287
第6回	各ペット関連産業の現状と課題①	1. ペット産業の分類(グループワーク)	教科書 P. 291~292
第7回	各ペット関連産業の現状と課題②	2. 動物病院の現状	教科書 P. 292~295
第8回	各ペット関連産業の現状と課題③	3. 動物病院以外のサービス業の現状~6. その他ペット産業の現状	教科書 P. 295~301
第9回	各ペット関連産業の現状と課題④	グループワーク:ペット産業のそれぞれについて	-
第10回	動物取扱業①	1. 動物取扱業制度の概要	教科書 P. 305~312
第11回	動物取扱業②	2. 動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取扱方法および衛生管理	教科書 P. 313~319
第12回	半期まとめ	各グループに分かれて半期の内容をまとめる	-
第13回	まとめ内容発表	12回目の内容の発表 (半期振り返り)	-
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考•判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト	0	0					10	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0					20	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員	北村 昌樹				https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/			jp/voice/kitamura/

科目名				幾能学実習		単位数	1	科目コード	NE2201			
授業形態				'習		対象学生	1年生	開設期	半期			
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対				
授業概要 (目的、目標とす	「る資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業										
授業の一般目	目標	動物の身体 <i>の</i>)形態と機能を、骨	や格標本や臓器模	型、主要臓器の組織	織像などを通じて学	^보 ぶ。					
受講条件		動物看護科は	在籍している。									
事前学習につ (テキスト・参				の看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻」 の看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版」								
授業の到達日												
□知識・理角				学的なイメージができる								
□ 思考・判断				こおいて、最良とされる判断ができる。								
□ 関心・意欲 			見出し、追究する	ことかできる。 ・ :振る舞いができる								
□ 悲度の観 □ 技能・表現		1只1型1工C土1件	いエとすりに球座は	小水のタキレいがじざる	,,							
授業計画(全												
	模型を用いながら	5の実習授業およ	び各種専門分野の)企業連携授業。								
※実習中は!	必ず実習服を着	用していること。										
授業計画(授	業単位)											
		主題			授 業 内 容							
第1回	動物形態機	能学実習概論		動物形態機能	動物形態機能学実習で学ぶべきことは何か、何のために学ぶのかを知る							
第2回				骨格:形態								
第3回				骨格:位置の								
第4回				筋肉:形態								
第5回	骨格、筋肉および内臓の形態と機能の理解			筋肉:位置の								
第6回				筋肉:主要な筋の働き及び停止部・起始部								
第7回				神経:形態と機能								
第8回				神経:その筋を支配するか神経損傷時の症状								
第9回				各部位・臓器の位置や関係性								
第10回				筋								
第11回	主要臓器の組織像観察			内臓								
第12回					部位と鏡検倍率、	鏡検条件の仕組み	<i></i>					
第13回	顕微鏡操作	法		正しい操作と								
第14回	授業振り返	り/単位認定試験	 険	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける ※学生証が必要								
第15回	テスト返し				前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義・答えを復習する							
成績評価方法				,				-				
単位認定 総	総合成績60点、と	出席率80%以上 態度点20%、出版	常点10%を換算し	て総合評価を行う	j _o							
		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀 (S):100点~90点			
小テスト								-	優 (A):89点~80点			
宿題授業外L	ノポート	0		0				10	良 (B):79点~70点			
受業態度		0	0			10	可 (D):69点~60点					
,,,,,,,,,								-	不可(E):59点以下			
発表•作品				1 -	1 -	-			_			
				0	0			20				
発表•作品				0	0			10				

科目名		動物形	態機能学実習Ⅱ	単位数	1	科目コード	ND2002				
授業形態			実習	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分			-								
授業概要 (目的、目標とす	る資格・検定等)	必修 開設時期 後期 教員実務経験対象 動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。									
授業の一般目	目標	修得した知識の実践力を身に付ける									
受講条件 動物形態機能学実習Iの単位認定											
事前学習にて		インターズー出版「動物看記	隻実習テキスト第2版」、学窓社出り	版「犬の解剖カラーリング)	アトラス」						
授業の到達	目標										
□ 知識・理解	昇の観点										
□ 思考·判断	fの観点	1. 臨床現場を想定した各種	重場面において、最良とされる判断	面において、最良とされる判断ができる。							
□ 関心·意欲	で観点	D観点 1. 自ら疑問点を見出し、追究することができる。									
□ 態度の観	点	1. 積極性と主体性を持った	= 謙虚な振る舞いができる。	虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現	の観点										
授業計画(全	体)										
骨格標本や 授業計画(授		の実習授業および各種専門分	野の企業連携授業。								
		主題		授業内容			備考				
第1回			形態機能学:鳥類				野生動物学専門講師によ 特別授業				
第2回			形態機能学:爬虫類				野生動物学専門講師によ 特別授業				
第3回			形態機能学:両生類				野生動物学専門講師によ 特別授業				
第4回	各種	[専門分野の連携授業	形態機能学:魚類				野生動物学専門講師によ 特別授業				

成績評価方法

第6回

第7回

第8回

テスト返し/解説

授業振り返り/単位認定試験

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良(B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員				実務経験紹介				

形態機能学:デンタルケア、皮膚系

授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける。

前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義・答えを復習する

製薬企業による特別授業

※学生証が必要

科目名	動物内科看護学実習 I	単位数	1	科目コード	NE2202				
授業形態	実習	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分	必修	必修 開設時期 前期 教員実務経験対象 一							
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業								
授業の一般目標	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。								
受講条件	動物看護科に在籍している								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 巻 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実		Ž.						
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法や手順を説明できる	0.							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。								
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法を適宜実施できる。								
授業計画(全体)									

動物の基本的な扱い方が出来るように、保定法やバイタルチェックと体重測定法を学ぶ。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。

授業計画(授業単位)

1文本印画(1文	- X + E7		
	主 題	授 業 内 容	備考
第1~2回	実習に参加する動物の健康状態の観察と把握 運動の管理と実践・排泄の管理と実践	散歩、個体に適した運動量の算出、安全な歩かせ方、歩行異常の見極めなど 衛生的な排泄、排泄による健康管理(異常の早期発見,におい,便の状態観察)	
第3~4回	実習に参加する動物の健康状態の観察と把握 運動の管理と実践・排泄の管理と実践	散歩、個体に適した運動量の算出、安全な歩かせ方、歩行異常の見極めなど 衛生的な排泄、排泄による健康管理(異常の早期発見,におい,便の状態観察)	
第5~6回	病気の早期発見のための管理・定期的な健康 診断の実践①	健常時と異常時のしぐさ・容態の違いを知る。 体重測定、検尿、検便、血液検査、必要に応じて継続的な検査	
第7~8回	病気の早期発見のための管理・定期的な健康 診断の実践②	健常時と異常時のしぐさ・容態の違いを知る。 体重測定、検尿、検便、血液検査、必要に応じて継続的な検査	
第9~10回	保定法≪実践≫①	保定とは、保定の目的、注意点	
第11~12回	保定法≪実践≫②	獣医学的な処置に適した保定、保定の種類	
第13~14回	保定法≪実践≫③	獣医学的な処置に適した保定、保定の種類	
第15~16回	バイタルチェックと体重測定方法の確認と実 践①	体重測定、パイタルチェック	
第17~18回	バイタルチェックと体重測定方法の確認と実 践②	体重測定、バイタルチェック	
第19~20回	バイタルチェックと体重測定方法の確認と実 践③	体重測定、パイタルチェック	
第21~22回	注射針、シリンジ等の取り扱い	注射器の取り扱い□	
第23~24回	注射針、シリンジ等の取り扱い	注射器の取り扱い、カテーテルの挿入・留置	
第25~26回	注射針、シリンジ等の取り扱い	マイクロチップの挿入	
第27~28回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第29~30回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポー		0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品				0	0			10	不可(E):59点以下
演習				0	0			10	
出席				0				10	
担当教員 高橋 佳代子					実務経験紹介				

科目名 授業形態 区分 授業概要 (目的、目標とする資) 授業の一般目標 受講条件	(格·検定等)		動物内科看			単位数 対象学生	1年生	科目コード開設期	NE2203 半期			
区分 授業概要 (目的、目標とする資	「格・検定等)		**************************************									
授業概要 (目的、目標とする資・授業の一般目標	· · · · 徐定等)		必	悠		開設時期	後期	教員実務経験対象				
		愛玩動物看護	師カリキュラム「		授業	用設吋期	仮 規	教員 美術莊崇刈》	K			
受講条件	!	内科診療に必	要な手技など、動	物内科看護学で等	学んだ知識の実践	力を修得する。						
		動物内科看護	学実習 I の履修									
事前学習について (テキスト・参考書	書等)				5ム準拠教科書 7 5ム準拠 動物看護	巻」 隻実習テキスト 第3	3版」					
授業の到達目標		_ 1/ // / /	******************************	A-146 - 6-7711.1		-						
□知識・理解の智				補助等の各種技法や手順を説明できる。								
□思考・判断の勧					れる判断ができる。	0						
□関心・意欲の勧	観点		見出し、追究する									
□態度の観点			性を持った謙虚な									
□ 技能・表現の額		日常的な健康	官埋や内科診療	浦助等の各種技法	を適宜実施できる	0.						
授業計画(全体) 動物の基本的な ※実習中は必ず	扱い方が出来		応じたハンドリング	ブや基本的なグル	一ミングを行う。							
授業計画(授業単	— <u>—</u> 単位)											
0		主 題				授業内容			備考			
第1~2回	薬の取り扱い	, \ (1)		調剤のための	の道具の使用方法	(計量、分包、錄	党剤(分割と粉	砕))①				
第3~4回	薬の取り扱い	,12		調剤のための	の道具の使用方法							
第5~6回	輸液管理①			輸液準備(輔	俞液ラインに必要							
第7~8回	輸液管理②	輸液準備(輸液ラインの接続)										
第9~10回	輸液管理③		輸液準備(輸液ラインの管理)									
第11~12回	輸血に関わる	る技術①		血液型検査/	輸血時のクロスマ	マッチ試験①						
第13~14回	輸血に関わる	る技術②		血液型検査/	輸血時のクロスで	マッチ試験②						
第15~16回	生体検査			心電図検査・	・ 血圧検査を実施							
第17~18回	生体検査			X線撮影の基	最影の基本的な保定/放射線防護の装置の扱えと機器い関わる準備、設定							
第19~20回	生体検査			超音波検査の	りための基本的な	保定						
第21~22回	生体検査			神経学的検査	をの所見を記録							
第23~24回	生体検査			眼科検査/皮	膚検査の補助							
第25~26回	生体検査			外耳道検査の	D補助							
第27~28回	授業振り返り	リ/単位認定試験		授業を振り返	返り、授業内にて	前期末試験を受け	ける		※学生証が必要			
第29~30回	テスト返し/	解説		前回行った詞	試験の問題用紙を	見ながら、問題 <i>0</i>)意義/復習する	3				
成績評価方法												
単位認定 総合成成績点70%、提高			5点10%を換算し	て総合評価を行う	•	· ·						
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点			
小テスト								-	優 (A):89点~80点			
宿題授業外レポー		0		0				10	良 (B):79点~70点			
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点			
発表•作品								-	不可(E):59点以下			
演習				0	0			20				
出席				0				10				
担当教員	高橋 佳代子 実務経験紹介											

科目名	動物臨床検査学実習	単位数	1	科目コード	NE2004				
授業形態	実習	対象学生	2年生	開設期	半期				
区分	必修 開設時期 前期 教員実務経験対象 -								
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業								
授業の一般目標	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。								
受講条件	特になし								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看記	巻」 隻実習テキスト 第	3版」						
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	.各種検査の種類や方法、意義を理解した上で、正常値や異常値を	判断できる							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点	□技能・表現の観点								
埒業計画(今休)	1								

授業計画(全体)

動物臨床検査学 I で学んだことを踏まえた実習授業。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。

授業計画(授業単位)

0	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	動物臨床検査学総論	臨床検査の種類と目的	
第2回	検体検査	マイクロピペットや遠心分離機を正しく操作	
第3回	検体検査	CBC検査の手技の確認	
第4回	検体検査	血漿、血清を分離/血液塗抹標本を作製、染色	
第5回	検体検査	血液塗抹標本を観察/血液生化学検査を実施	
第6回	検体検査	簡易血清学的検査/輸血時のクロスマッチ試験	
第7回	検体検査	尿検査/物理化学性状を記録/尿沈渣を観察	
第8回	検体検査	糞便検査/虫卵・原虫を検査/細胞診の準備、補助	
第9回	生体検査	心電図検査を実施	
第10回	生体検査	X線撮影の基本的な保定/放射線防護の装置の扱えと機器い関わる準備、設定	
第11回	生体検査	超音波検査のための基本的な保定	
第12回	生体検査	神経学的検査の所見を記録	
第13回	生体検査	眼科検査/皮膚検査の補助	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀 (S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員	実務経験紹介							

科目名			動物臨床検	査学実習Ⅱ		単位数	2	科目コード	ND2007	
授業形態			実			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対	象 -	
授業概要 (目的、目標とす	る資格・検定等)	検体検査およ	び生体検査に必要	要な手技や機器の	扱い方など、動物	臨床検査学で学ん	だ知識の実践力]を修得する。		
授業の一般	目標	修得した知識	の実践力を身に付	ける						
受講条件		動物臨床検査	・学実習Ⅰの単位 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	認定						
事前学習にた (テキスト・参		緑書房出版「	動物看護の教科書	(新訂版) 第6巻	」、インターズ一出	版「動物看護実習·	テキスト第2版」			
授業の到達										
□ 知識・理角			Ĺ類や方法、意義を							
□ 思考・判断			に		れる判断ができる	0				
□ 関心・意名			見出し、追究するこ							
□ 態度の観 		慢慢性と王体	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能·表均 一 授業計画(全										
		ことを踏まえた実習	習授業。							
授業計画(授	業単位)									
0		主題				授業内容			備考	
第1回	動物臨床検	物臨床検査学総論 臨床検査の種類と目的								
第2回	検体検査			マイクロピク	ペットや遠心分離					
第3回	検体検査			CBC検査の	の手技の確認					
第4回	検体検査			血漿、血清を						
第5回	検体検査		血液塗抹標本を観察/血液生化学検査を実施							
第6回	検体検査			簡易血清学的	勺検査/輸血時の	フロスマッチ試験				
第7回	検体検査			尿検査/物理	建化学性状を記録/尿沈渣を観察					
第8回	検体検査			糞便検査/虫	卵・原虫を検査/	・原虫を検査/細胞診の準備、補助				
第9回	生体検査			心電図検査を	図検査を実施					
第10回	生体検査			X線撮影の基	基本的な保定/放射	対線防護の装置の	扱えと機器い間	引わる準備、設定		
第11回	生体検査			超音波検査の	りための基本的な	保定				
第12回	生体検査			神経学的検査	を の所見を記録					
第13回	生体検査			眼科検査/皮	膚検査の補助					
第14回	生体検査			外耳道検査0	D補助					
第15回	授業振返り	/単位認定試験/-	テスト返し/解説	後期末試験多	€施/試験の問題月	用紙を見ながら、	問題の意義/復	習する	※学生証が必要	
成績評価方法	.									
		出席率80%以上 態度点20%、出席	常点10%を換算し	て総合評価を行う						
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準	
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点	
小テスト								-	優 (A):89点~80点	
宿題授業外し	ノポート	0		0				10	良 (B):79点~70点	
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点	
発表•作品								-	不可(E):59点以下	
演習	0				0			20		
出席				0				10		
担当教員					実務経験紹介					

				20	22年度 シフ/	\^					
科目名			動物外科看	護学実習 I		単位数	1	科目コード	NE2205		
授業形態			実	習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対	象 有		
授業概要 (目的、目標と	する資格・検定等)	愛玩動物看護	「師カリキュラム 「	実習」に位置する	授業						
授業の一般	目標	手術準備や術	∱中•術後管理、麻	酔準備や麻酔監視	現、手術の補助、救	対急救命など、動物	別外科看護学で学	んだ知識の実践力	を修得する。		
受講条件		動物外科看護	美学を履修している	00							
事前学習に (テキスト・参					ラム準拠教科書 8 ラム準拠 動物看護		3版」				
授業の到達	目標	T									
□知識・理					- 順を説明できる。		の各種技法や手	・順を説明できる。			
□思考・判			場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。 								
□関心・意			見出し、追究する。 性を持った謙虚な								
□態度の観						おらかぐのをほ	まけた海京史佐ィ	3± Z			
□ 技能·表 授業計画(全		ナ州华偏や祈	リヤ・州佐官埋寺()	/ 台俚技法を週刊	実施できる。 2.	水心秋叩り合種	メムを適且美施で	:⊂ ত ঃ			
動物外科看		に手術における実 用していること。	践及び術後管理や	や救命救急を学ぶ	•						
授業計画(拍	受業単位)										
0		主題				授業内容	!		備考		
第1回	リネン類の				レープ類を準備し 構を行うことがで		ができる				
第2回		- 気管内挿管			気管内挿管の準備・補助ができる						
第3回		ガウン装着① ガウン装着②		手指消毒・手							
第4回 第5回	手袋装着	カワン表産(2)									
第6回		袋装着 closed cuff methodで3分以内に手術手袋を装着できる 種器械使用方法 各種手術器械が正しく使うことができる									
第7回		備・器具滅菌			準備・滅菌ができ						
第8回	救急救命処	置Ⅰ①		救命方法の知	田識の実践①						
第9回	救急救命処	置 [②		救命方法の知	田識の実践②						
第10回	救急救命処	置Ⅰ③		救命方法の知	田識の実践③				※2020年12月実施		
第11回	救急救命処	置Ⅰ④		救命方法の知	知識の実践④				ペットファーストエイド講座にて		
第12回	救急救命処	置 I ⑤		救命方法の知	知識の実践⑤						
第13回	救急救命処	置 I ⑥		救命方法の知	知識の実践⑥						
第14回	授業振り返	り/単位認定試験	険	授業を振り込	区り、授業内にて	前期末試験を受	ける		※学生証が必要		
第15回	テスト返し	/解説		前回行った詞	式験の問題用紙を	見ながら、問題の	の意義・答えを行	復習する			
成績評価方	法										
		出席率80%以上 態度点20%、出原	常点10%を換算し	て総合評価を行う		Г	Г				
		知識•理解	思考•判断	関心·意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀 (S):100点~90点		
小テスト				- 優 (A):89点~80点							
宿題授業外	レボート	0		O 良(B):79点~70点							
授業態度				O ◎ 10 可 (D):69点~60 - 不可(E):59点以T							
発表・作品											
演習 出席				0	O O 20						
担当教員		 	圭太		実務経験紹介		https://www.vic-	10 kyoto-pet.ac.jp/vo	ice/maruyama/		
担当教員		νи	-M		大7万中主教和 月		necpa.//www.yIC	nyoto pet.ac.jp/ VO	100/ maruyama/		

科目名	動物外科看護学実習Ⅱ	単位数	2	科目コード	NE2206				
授業形態	実習	対象学生	3年生	開設期	半期				
区分	必修 開設時期 前期 教員実務経験対象 有								
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業								
授業の一般目標	標手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。								
受講条件	動物外科看護学実習 I の単位認定								
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看割		3版」						
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	1. 手術準備や術中・術後管理等の各種技法や手順を説明できる。	2. 救急救命	市の各種技法や手	・順を説明できる。					
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□技能・表現の観点	表現の観点 手術準備や術中・術後管理等の各種技法を適宜実施できる。 2. 救急救命の各種技法を適宜実施できる。								
授業計画(全体)	I .								

動物外科看護学の理論を基に手術における実践及び術後管理や救命救急を学ぶ。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。

授業計画(授業単位)

0	主 題	授 業 内 容	備考						
第1~2回	救急救命処置Ⅱ①	救命方法の知識の実践①	2年次に行われる						
第3~4回	救急救命処置Ⅱ②	教命方法の知識の実践②	救急救命セミナーにて						
第5~6回	手術準備	手術台への動物の固定や器械台のい準備、術野の消毒ができる							
第7~8回	麻酔器・各種モニター装着	麻酔器の接続やモニター機器を動物に接続することができる							
第9~10回	術中補助	直接補助(手術助手・器械の受け渡しなど)ができる 関節補助(無影灯や手術台の操作など)ができる							
第11~12回	歯科処置準備・補助	歯科器具の取り扱い方を理解し、歯科処置(歯石除去など)の 補助ができる							
第13~14回	衛生管理	術後の創傷管理(ネット・カラー装着なども含む)ができる							
第15~16回	手術見学:事前学習≪グループワーク≫	手術見学において、必要なことを考え準備ができる							
第17~18回	手術見学:事後学習	前回行った手術について振り返りを行う							
第19~20回	人と動物の関係および行動学	アニマルマッサージを始めるにあたっての基礎知識							
第21~22回	犬の解剖学および生理学	骨格、筋肉/筋肉の停止部と起始部について							
第23~24回	リラクゼーションマッサージテクニック	マッサージテクニックの種類、実践							
第25~26回	メンテナンスマッサージテクニック	マッサージテクニックの種類、実践							
第27~28回	実習/フィールドワーク								
第29~30回	授業振返り/単位認定試験/テスト返し/解説	授業振返り/授業内にて前期末試験/試験の問題の意義/復習する	※学生証が必要						

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀 (S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良(B): 79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員	実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/						

科目名			動物臨床看			単位数	2	科目コード	NE2207			
授業形態			実			対象学生	3年生	開設期	半期			
区分 授業概要			必	№		開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
	:する資格・検定	愛玩動物看護	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業									
授業の一般	目標	動物看護過程	とや疾患別の看護な	など、動物臨床看	護学で学んだ知識	の実践力を修得す	·る。					
受講条件		動物臨床看護	護学総論の単位認定	È								
事前学習にで (テキスト・参 授業の到達)	考書等)	EDUWARD Pr	ress出版「愛玩動物	看護師カリキュラ	ラム準拠教科書 9	巻」						
日 知識・理解		1 各事例に	おいて必要な情報を	FID 生できる	2 各事例に合	わせた動物看護計	·画を計画でき <i>2</i>	<u> </u>				
□思考・判制			定した各種場面に					,,,				
□関心・意名			見出し、追究するこ		100111111111111111111111111111111111111							
□態度の観			性を持った謙虚な									
□技能・表現			し合った動物看護									
授業計画(全												
動物看護過	程の実践(事例)	寅習)から実践力を	身に付けるように持	受業を進める								
授業計画(授	· 業単位)	主題				授業内容			備考			
第1回		- ~		≪ グループ「					ma *d			
第2回		程の展開①≪肛門	門周囲腺腫の看	≪グループ「	護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する グループワーク 発表≫							
第3回	護≫			≪ グループ「	話し合った動物看 フーク≫ こ、動物看護記録		5					
第4回				≪グループ「			江案する					
第5回	動物看護過	程の展開①≪骨打	沂の看護≫		フーク 発表≫ 話し合った動物看	護計画を発表する	3					
第6回					こ、動物看護記録	を作成する						
第7回				《グループワーク》 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する								
第8回	動物看護過	程の展開①≪感シ	染症の看護≫	≪グループワーク 発表≫ グループで話し合った動物看護計画を発表する ≪グループワーク≫								
第9回				事例をもとに、動物看護記録を作成する ≪グループワーク≫								
第10回			-	看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する ≪グループワーク 発表≫								
第11回	動物看護過 	程の展開①≪褥ೂ	膏の看護≫	グループで記	話し合った動物看	護計画を発表する	5					
第12回					こ、動物看護記録	を作成する						
第13回					アセスメントから	動物看護計画をご	江案する		第12~15回 * 逐しての			
第14回	期末試験 動物看護過	程の展開⑤≪がん	んの看護≫		フーク 発表≫ 話し合った動物看 ローク≫	護計画を発表する	5		第13~15回を通しての 動物看護計画の立案・発表 を期末試験とする。			
第15回	<u> </u>				フーク≫ こ、動物看護記録	を作成する						
成績評価方法	法											
		出席率80%以上 態度点20%、出原	常点10%を換算し⁻	て総合評価を行う	5.							
		知識•理解	思考•判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験		0	0	0	0	0			秀 (S):100点~90点			
小テスト 宿題授業外I	しポート	0							優 (A):89点~80点 良 (B):79点~70点			
イロログ イロログ イロログ イロログ イロログ イロログ イロの イロの イロの イロの イロの イロの イロの イロの イロの イロの	<u> </u>	0		0	0				及 (B):/9点~/0点 可 (D):69点~60点			
発表・作品									不可(E):59点以下			
演習			O O 20					20				
出席			. –	0				10				
担当教員		阿部	令子		実務経験紹介							

N D D			私物吃广美	### 中羽 T		24 / L WL		51 D - 1°	NDOOLO				
4目名				護学実習 I		単位数	1 0年生	科目コード	ND2010				
受業形態				習		対象学生開設時期	2年生 	開設期 教員実務経験対	半期				
⊠分 受業概要		2147-4	必	象 -									
目的、目標と	する資格・検定等)	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を取得する。 修得した知識の実践力を身に付ける											
受業の一般	目標	修得した知識											
受講条件	-1	動物臨床看護	学総論の単位認	定 									
事前学習に テキスト・参 受業の到達	考書等)	緑書房出版「	動物看護の教科書	計(新訂版) 第5巻	」、インターズ一出	¦版「動物看護実習 「	テキスト第2版」						
コ知識・理		1 7 原空動物の	D 答理について説	明できる 2 陰	由にむける海井色	5理の重亜州太説明	マキス 2 学	* * ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	できる。 4. 褥瘡について				
□思考・判								入院動物の痛みの科					
□ 応考・刊 			見出し、追究する		こうかの子は関いい。	C U	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ノトルルコリフグマノ7用ットリノ作	E/文で日下間 くて′⊘ 0				
□態度の観				振る舞いができる		0 22 = -	iの 記 歴 選 選 :-	ケニー し.ジーナフ					
□ 技能・表		1. ケージの清	「掃、官埋ができる	o。 2. 体位変換を 	と付っことができる	。 3. 栄養チューブ 	の設置準備を	行うことができる。					
受業計画(슄	E14)												
動物看護過	程の実践(事例)	寅習)から実践力を	身に付けるように	授業を進める									
授業計画(持	受業単位)												
		主題				授業内容			備考				
第1回	ケージの清	掃・管理		衛生管理につ	ついて								
第2回	入院動物へ	のアセスメント	スメント 入院動物看護の流れ、退院手続き										
97 C III	ノハトルにヨリオツ・ヽ	W) EXXXX		ハル・ション・ファー	ヌマノかい10、 歴代で	496 C							
第3回	褥瘡を持つ	動物への看護 褥瘡を持つ動物への看護を考える。(体位変換や褥瘡保護など)											
第4回	給餌につい	· T		ペットフー	ドについて								
対す四	中山 日本 に ンし・				1 12 20, 6								
第5回	給餌につい	て		栄養チュース	ブ設置の準備や流	流動食の調整につい	ハて						
第6回	ペインフケ	ールを用いた痛み	4の判定	ペインフケー	- ルを田いて 「	、 、院動物(動画) <i>0</i>	71痛みの起産 *	御定する					
多く日	1177	ルで用いた痈の	/-V/T!	・・インスケー	ルと用いて、ノ	NU 1701 (ショ用ックリイ王 浸る	こがたりつ					
第7回	授業振り返	り/単位認定試験	ĝ	授業を振り込	返り、授業内に7	(学期末試験を受け	ける						
第8回	テスト返し	/解説		前回行った	式験の問題田糾っ	を見ながら、問題 <i>0</i>	の音義・答える	- 復習する					
No 스턴	, A 1 16 C	· 13T EV6		10 E I 1 7 / C ii	- 小3人・ハ 日 佐玉 (日 小人 (_ プ゚゚゚の ス゚゚・ワ 、 円 № 0	round DIV. C	. K. D. 7. W					
成績評価方	 法			I					1				
単位認定 紅	総合成績60点、	出席率80%以上											
		態度点20%、出席	5点10%を換算し	て総合評価を行う	i.	<u> </u>							
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準				
定期試験		0	0	0				50	秀 (S):100点~90点				
小テスト 宿題授業外	レポート	0				0		10	優 (A):89点~80点 良 (B):79占~70占				
ロ超技業外 授業態度	レルート	0	0	0	良(B):79点~70点 可(D):69点~60点								
皮未忠及 —————— 発表•作品				0	0			20	不可(E):59点以下				
п нн								-	,				
寅習		i .		O 10									
演習 出席				0				10					

科目名	動物愛護·適正飼養実習	単位数	2	科目コード	NE2208					
授業形態	実習	3年生	開設期	通期						
区分	必修	開設時期	通期	教員実務経験 対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定 等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業									
授業の一般目標	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケー る。	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。								
受講条件	動物看護科に在籍している。									
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看記	護実習テキスト 第	3版」							
授業の到達目標										
□ 知識・理解の観点	1. 各事例において必要な情報を収集できる。 2. 各事例に合	わせた動物看護部	十画を計画できる	0.						
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	•								
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。									
□ 技能・表現の観点	グループで話し合った動物看護計画を、論理的に説明できる。									
授業計画(全体)										

授業計画(全体)

動物看護過程の実践(事例演習)から実践力を身に付けるように授業を進める。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。

授業計画(授業単位)

按耒計画()	T	M	
	主 題	授 業 内 容	備考
第1回		≪グループワーク≫ 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する	
第2回	動物看護過程の展開①≪肛門周囲腺腫の看 護≫	≪グループワーク 発表≫ グループで話し合った動物看護計画を発表する	
第3回		≪グループワーク≫ 事例をもとに、動物看護記録を作成する	
第4回		≪グループワーク≫ 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する	
第5回	動物看護過程の展開①≪骨折の看護≫	≪グループワーク 発表≫ グループで話し合った動物看護計画を発表する	
第6回		≪グループワーク≫ 事例をもとに、動物看護記録を作成する	
第7回		≪グループワーク≫ 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する	
第8回	動物看護過程の展開①≪感染症の看護≫	≪グループワーク 発表≫ グループで話し合った動物看護計画を発表する	
第9回		≪グループワーク≫ 事例をもとに、動物看護記録を作成する	
第10回		≪グループワーク≫ 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する	
第11回	動物看護過程の展開①≪褥瘡の看護≫	≪グループワーク 発表≫ グループで話し合った動物看護計画を発表する	
第12回		≪グループワーク≫ 事例をもとに、動物看護記録を作成する	
第13回		≪グループワーク≫ 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する	
第14回	期末試験 動物看護過程の展開⑤≪がんの看護≫	≪グループワーク 発表≫ グループで話し合った動物看護計画を発表する	第13~15回を通しての 動物看護計画の立案・発表 を期末試験とする。
第15回		≪グループワーク≫ 事例をもとに、動物看護記録を作成する	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀 (S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
宿題授業外L	ノポート	0		0				10	良(B): 79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
演習				0	0			20	
出席				0				10	
担当教員		北村	昌樹		実務経験紹介	https:/	/www.yic-kyo	to-pet.ac	.jp/voice/kitamura/

科目名			動物看誰	総合実習 I		単位数	1	科目コード	NE2209			
授業形態				型実習		対象学生	 1年生	開設期	通期			
区分						開設時期	通期	教員実務経験:				
授業概要	する資格・検定等)	要玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業 実際の動物診療施設での診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。 診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。										
授業の一般	目標	・オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する。 ・獣医師・看護師の業務内容を把握する。 ・動物病院の施設見学をし、施設の概況や機能を理解する。 ・動物病院の衛史見学をし、施設の概況や機能を理解する。 ・学習者として適切に行動できるように社会常識やマナーを実践する。 ・学内でのカリキュラムや各教科と実際の業務との関連を知り、必要性を理解する。										
受講条件		動物看護科に	在籍している。									
事前学習に (テキスト・参		特になし										
授業の到達	目標											
□知識・理解					E常値や異常値を判	判断できる						
□ 思考・判[Lる判断ができる。 							
□関心・意			見出し、追究する									
□態度の観		横極性と主体	性を持った謙虚な	な振る舞いができる	0.							
□ 技能·表3 												
学内での事	前・事後学習おる	よび動物病院内での 用していること。	D実習授業。									
授業計画(哲		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
		主 題				授業内容			備考			
第1回	事前学習			オリエンテ-	ーション:実習の	目的・目標を知る	。各種書類配	売および記入				
第2回												
第3回												
第4回	動物病院実	(智(1)		各目で選ん	だ動物病院へ実習							
第5回												
第6回												
第7回												
第8回	動物病院実	経習②		各自で選んだ	だ動物病院へ実習							
第9回												
第10回												
第11回												
第12回	動物病院実	2習3		各自で選んだ	だ動物病院へ実習							
第13回												
第14回												
第14回	事後学習			自己評価、	ポートフォリオ(実習記録、課題)	の記入および	発表				
第15回 或績評価方	<u></u>			1								
単位認定 絹	総合成績60点、	出席率80%以上 態度点20%、出席	テ占100% た場 質し	ア 総合証価を行る								
>>-19KM / 0 70	- 、	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験								-	秀(S):100点~90点			
小テスト								-	優 (A):89点~80点			
官題授業外	レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点			
授業態度				0	0			50	可 (D):69点~60点			
発表•作品								-	不可(E):59点以下			
演習								-				
出席				0				40				
担当教員		丸山 圭太	、西田 沙季		実務経験紹介	https:/	//www.yic-k	yoto-pet.ac.jp	/voice/maruyama/			
	丸山 圭太、西田 沙季 実務経験紹介 https://www.yic=kyoto=pet.ac.jp/voice/maruyama/											

					22年度 ング	<u> </u>						
科目名			動物看護網	総合実習Ⅱ		単位数	3	科目コード	NE2210			
授業形態			補助	型実習		対象学生	2年生	開設期	通期			
区分		교무 취 사 로 ~		修	拉来	開設時期	通期	教員実務経験対	象 -			
	「る資格・検定等)	実際の動物診 診療施設の概	療施設での診療 【要や機能、獣医的	「実習」に位置する授業 実業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。 節との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する お実習項目において、動物看護師としての業務、役割を果たす。 り物看護師、スタッフ全員が協力して行うチーム医療であることを理解し、良好なコミュニケーションをとる。								
授業の一般目	目標				ク全員が協力して行 重など基本的な事項			. 良好なコミュニケー	ションをとる。			
受講条件		動物看護総合実習Iの単位認定										
事前学習に1 (テキスト・参		特になし										
授業の到達												
□知識・理角					常値や異常値を半	川断できる						
□思考·判断				らいて、最良とされ 	る判断ができる。							
□関心・意欲			見出し、追究する									
□ 態度の観 □ 技能・表現		(負化)性と主体	注を持つた課虚な	振る舞いができる	0.0							
□ 技能·表均 授業計画(全												
学内での事前	前・事後学習およ	び動物病院内での	D実習授業。									
※実習中は 一 授業計画(授	必ず実習服を着 ・業単位)	用していること。										
回		主題				授業内容			備考			
第1回	事前学習			オリエンテー	 −ション:実習の			 記布および記入				
第2回												
第3回												
第4回												
第5回	動物病院実	習①		京都市獣医的	市会会員病院での	実習						
第6回												
第7回												
第8回	前半の事後	学習と後半へ向け	+ての事前学羽	タウで見出	点を見出し、後半	実習へ向けて仕れ	エ リかむす					
第9回	削十の争後	子目と後十八四日	7、この争削子目	行日で及るだ	ポセ児山 し、後十	大日へ同じ (江)	000000					
第10回												
第11回												
第12回	動物病院実	習②		京都市獣医的	币会会員病院での	実習						
第13回												
第14回	事後学習			自己評価 🛪	ポートフォリオ(実習記録 課題)	の記入および	· 発表				
成績評価方法												
単位認定 総	合成績60点、と	出席率80%以上 態度点20%、出席	ま点10%を換算し	て総合評価を行う	0							
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験								-	秀 (S):100点~90点			
小テスト	-10 1	-		-				-	優 (A):89点~80点			
宿題授業外L 授業態度	ンホート	0		0	©			10	良(B):79点~70点 可(D):69点~60点			
授耒忠度 発表·作品				U	⊎			50	可 (D):69点~60点 不可(E):59点以下			
A ILHH												
演習								-				
演習 出席				©				40				

科目名			動物看護統	総合実習Ⅲ		単位数	2	科目コード	NE2211
授業形態				型実習		対象学生	3年生	開設期	通期
区分				*************************************		開設時期	通期	教員実務経験対	
授業概要	する資格・検定等)	実際の動物診	師カリキュラム 療施設での診療	「実習」に位置する 業務に参加し、これ	1までに学んだ学?	習内容を統合する。			
授業の一般	目標	・指導者の助 ・可能な限り	言を受けながら動 ろくの項目について	物病院における獣 て技術を体験学習	医師との連携を通する。		を修得し、動物	看護を遂行できる前	
受講条件		動物看護総合	ì実習Ⅱの単位認	定					
事前学習に (テキスト・参		特になし							
授業の到達	目標	I							
□知識・理解	解の観点	各種検査の種	類や方法、意義を	を理解した上で、正	常値や異常値を	判断できる			
□ 思考・判[断の観点	臨床現場にお	ける各種場面に	おいて、最良とされ	る判断ができる。				
□関心・意	欲の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。					
□態度の観	点	積極性と主体	性を持った謙虚な	に振る舞いができる	0				
□技能・表	現の観点								
授業計画(全	全体)								
	前・事後学習およ 必ず実習服を着	び動物病院内での 用していること。	D実習授業。						
受業計画(哲	受業単位)	主題				授業内容			備考
第1回	事前学習					目的・目標を知る)		
第2回	事刑于日			各種書類配名	および記入				
第3回									
第4回									
第5回									
第6回	動物病院実習	3		(就職先を見	据えた)動物病院	完実習			動物病院へ就職しない学 本実習は必須
第7回									
第8回									
第9回									
第10回									
第11回	事後学習			自己評価、相	ポートフォリオ (実習記録、課題)	の記入および	、 発表	
第12回									
第13回 第14回	高度動物医療	寮研修		山口大学動物	医療センター研	爹			2021年8月実施予定
第15回									
成績評価方	<u> </u> 注			1					
単位認定 絹	総合成績60点、	出席率80%以上 態度点20%、出席	ま点10%を換算し	て総合評価を行う					
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
官題授業外	レポート		0	0				10	良 (B):79点~70点
受業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品								-	不可(E):59点以下
		0		0	I .	ı		20	
寅習 出席				0				10	

科目名			キャリアテ	・ザイン I		単位数	1	科目コード	NF2201			
授業形態			講	 義		対象学生	1年生	開設期	半期			
区分			必	修 		開設時期	前期	教員実務経験対	象有			
授業概要 (目的、目標とす	- る資格・検定等)	個人ワーク・ク	ブループワークを行	い、就職活動に	舌動において、実践で活用できる内容を身につけることができる。							
授業の一般目	目標	一人ひとりが	自分のキャリアのス	方向性を主体的に	的に定めることができる。							
受講条件		動物看護科に	在籍している。									
事前学習につ (テキスト・参		就職NAVIノー	ト・未来ノート									
授業の到達	目標											
□ 知識・理解	解の観点 アンスティン アンファイン アンファ アンファ アンファ アンファ アンファ アンファ アンファ アンフ											
□ 思考・判断	听の観点	授業で取り上	げた内容において	、自分の意見を認	扁理的に述べること	ができる。						
□ 関心・意欲	次の観点	自ら疑問点を	見出し、追究するこ	ことができる。								
□態度の観			を考えて、誠実な									
□技能・表現		グループワー	クや発表において	、自身の考えを相	目手に伝えることが [・]	できる。						
授業計画(全												
また、人との	関わり方や就職				になるための準備! な意見を受け入れ			ついて考えることが ⁻	できるように授業を進めていく			
授業計画(授	業単位)	<u> </u>							M-4-			
0		主題				授業内容			備考			
第1回	社会人にな	るために						人として行動でき	ক 			
第2回	主体性とは	<u>.</u>		主体性とは何かを知り、課外活動の目的を考える 社会人としてのあいさつ・返事を学ぶ								
第3回	あいさつと	_エ ・相談の重要性			てのあいさつ・返 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――							
第5回		・相談の重要性・相談の仕方			・相談の使い分け							
第6回	ポジティブ				な考え方とは							
第7回		ーション能力とに 解型実習に向ける			ションには自己理解解型実習の実習先		であることを知っ	<u> </u>				
第8回	自己理解と				自身と他人は違うということ再認識する							
第9回	企業研究I	(見学先調査)/面	談	夏休みに行	夏休みに行う「動物病院理解型実習」の実習先をリストアップする							
第10回	思いやりと	は(動物看護師と	と思いやりの関係	"思いやり"	"思いやり"とは何かを考える							
第11回		電話のかけ方	5/尊敬語と謙譲	電話でのア	ポイントメントの	取り方を学ぶ。/	/敬語を再確認	する				
第12回	2020年9月 動物病院 理解型実	履歴書・おネ	L状の書き方①	履歴書・お	礼状の書き方を学	び、実際に書いて	こみる					
第13回	習に向けて		L状の書き方②	履歴書・お	礼状の書き方を学	び、実際に書いて	こみる					
第14回		動物病院体影 て(諸注意・	^{食型実習につい} 所作)	動物病院体質	験型実習に向けて	の諸注意や所作を	き学ぶ					
第15回	動物病院理	解型実習 振り込	区り	動物病院体質	験型実習を終え、	感想等発表						
成績評価方法												
単位認定 総	合成績60点、出	出席率80%以上				1		,				
ㅁ#====		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験 小テスト								_	秀(S):100点~90点 優(A):89点~80点			
宿題授業外し	ノポート		0	0				20	良 (B):79点~70点			
授業態度				0	0			30	可 (D):69点~60点			
発表·作品					0	0		20	不可(E):59点以下			
演習					0	0		20				
				0				10				
出席												

科目名			キャリアデ	ザインI		単位数	1	科目コード	NF2202				
授業形態			講			対象学生	2年生	開設期	半期				
区分			必任	多		開設時期	前期	教員実務経験対	村象 有				
授業概要 (目的、目標とす	「る資格・検定等)	個人ワーク・ク	ブループワークを行	い、就職活動に	践活動において、実践で活用できる内容を身につけることができる。								
授業の一般	目標	一人ひとりがり	自分のキャリアの方	5向性を主体的に	定めることができる	ა .							
受講条件		キャリアデザイ	イン I の単位認定										
事前学習にて	考書等)	就職NAVIノー	ト・未来ノート										
授業の到達													
□知識・理角		153 444 75-11 1	. 18 t 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1	± // 6 = = ± = 1	N-m441_NA 07 = 1	18-1-7							
□思考・判勘					・理的に述べること	かできる。							
□関心・意名			見出し、追究するこ		D/-1/3-17								
□態度の観			を考えて、誠実な質			-+ 7							
□ 技能·表理 		クル ー フワー	ソヤ発表において、	日身の考えを相	手に伝えることが ⁻	ぐざる。							
専門学校は	社会に出る前の				になるための準備			ついて来ニフェレル	できるように授業を進めていく。				
		についてなどを値。	スラーテャクルー .	/ ノーク Cいろん	は忌兄を文け入れ	、ロオのヤヤリア処	らいては人生に	ンい C 行ん のこと刀	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
授業計画(授	(業単位)	. -	T			100 AP			Mile who				
	乱先广心中	主題 解型実習 振り辿	E LI	新 <i>版</i> , 产吃 / - **	競型実習を終え、	授業内容			備考				
第1回	計画立案(解望美音 振りり 目標を達成する/ 『チーム学習を♪	こめに)	PDCAサイコミュニケー	イクルを知り、自 -ション能力を高	身の目標と目標達 めるには			\				
第2回	自己理解Ⅱ	ナームチョで	三のうの ためいこと	「チームワーク」の大切さとうまく「コミュニケーション」を取る秘訣について 学ぶ 職務適正テスト									
第4回		『過去を振り返る	ろう』	過去のライブ	フイベントを通し 分らしさについて		こ対する態度の	根っこにあるも(מוכ				
第5回	自己理解Ⅳ			第3回にて行	行った職務適正テ に伝えることを意	ストのフィード/		明確化する					
第6回	自己理解V	『ジョハリの窓』		「自分から」	見た自分」と「他 い人間関係につい	人から見た自分」			3理				
第7回	自己理解VI 『私 まっぷ』	の大切なもの探し	し・ネガポジ		観、また自分自身 比・明確化できる		る」ことを意識	して、「自己イ	×-				
第8回		『なぜ働くの?』		自分にとって	ての「働く理由」	や思いについて派	同察を深める						
第9回	求人票の見 企業研究 I	方 (理想の職場とに	‡)		手当・保険など求 た職場を考える	人票に書かれてし	いる基本的な 部	分を学ぶ					
第10回	企業研究 I	(説明会希望調査)/面談	学内合同企	業説明会希望調査	希望する動物	物病院のリスト	アップをする					
第11回	電話のかけた 履歴書・おネ	5/尊敬語と謙譲 L状の書き方	語	電話でのアポイントメントの取り方を学ぶ。/敬語を再確認する 履歴書・お礼状の書き方を学び、実際に書いてみる									
第12回	動物病院訪問 (諸注意・別	引、学内合同企業 f作)	説明会について	動物病院訪問	問、学内合同企業	説明会に向けての	D諸注意や所作	を学ぶ					
第13回	動物病院訪問	引、学内合同業説	明会										
第14回	動物病院訪	問、学内合同企業	業説明会 振り返	動物病院訪問	問、学内合同企業	説明会を終え、原							
成績評価方法													
		出席率80%以上											
		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準				
定期試験								-	秀 (S):100点~90点				
小テスト 一番題授業外I	/#_k							- 20	優 (A):89点~80点 自 (B):79点~70点				
イロリング イロリング イロリング イロリング イロリング インダー イロック イロック イロック イロック イロック イロック イロック イロック	ンハート		0	0	0			20 30	良 (B):79点~70点 可 (D):69点~60点				
発表•作品					0	0		20	不可(E):59点以下				
演習					0	0		20					
出席				0		-		10					
担当教員		丸山 圭太	、西田 沙季		実務経験紹介	https:/	//www.yic-k	yoto-pet.ac.jp	/voice/maruyama/				
					1								

4目名	キャリアデザインⅢ	単位数	1	科目コード	NF2203					
授業形態	講義	3年生	開設期	半期						
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	有					
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)										
授業の一般目標	個人ワーク・チームワークを通して自分への洞察を深め、允	±事全般についての理解を	高めて、仕事選	択ができるようになる。						
受講条件	条件 キャリアデザインⅢの単位認定									
事前学習について (テキスト・参考書等)	就職NAVIノート・未来ノート									
授業の到達目標										
□ 知識・理解の観点										
□ 思考・判断の観点	授業で取り上げた内容において、自分の意見を論理的に返	<u>t</u> べることができる。								
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。									
□態度の観点	相手の気持ちを考えて、誠実な態度で人の話を聞くことが	できる。								
□ 技能・表現の観点	グループワークや発表において、自身の考えを相手に伝え	.ることができる。								
授業計画(全体)										

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 內 容	備考
第1回	働くとは/就職活動の流れ	学生と社会人の違いを再認識する 「未来ノート」での学習の振り返り	
第2回	仕事理解I『チラシ作り』①	「チラシ作り」を通して、仕事はどのようにすると時間内で成果を出すことができるのか、その能力や姿勢について理解させる	
第3回	仕事理解Ⅱ『チラシ作り』②	「チラシ作り」を通して仕事の進め方、自分自身のコミュニケーション特性を学 び、コミュニケーションの取り方を体得する	
第4回	仕事理解Ⅲ『ケーススタディで学ぶ実際の仕	の役割について考えられる	
第5回	仕事理解Ⅳ『未来ページ』	「目己理解」と「仕事理解」の気づきから目分のキャリア目標を設定させる。それを実現するためのキャリア・プランニングができ、具体的な「学習目標」を明確にさせる	
第6回	就活メイクを学ぶ	ビューティ専門学校の先生や学生から、メイクのポイントを学ぶ	
第7回	生活設計・家計管理	「SMBCコンシューマーファイナンス」特別授業 計画的な貯蓄・給与明細書の見方・お金のトラブル・資産運用などについて学ぶ	
第8回	動物看護総合実習に向けて(企業研究①)	動物看護総合実習の事前学習(企業研究①)	
第9回	動物病院体験型実習について(所作・諸注意	動物病院体験型実習に向けての所作や諸注意を学ぶ	
第10回	動物病院体験型実習 振り返り	動物病院体験型実習を終え、感想等発表	
第11回	企業研究②	自身に合った職場を見つける②	
第12回	企業研究③	自身に合った職場を見つける③	
第13回	動物病院実務型実習について(動物病院研究)	動物病院実務型実習に向けての実習先の動物病院を調べる	
第14回	動物病院実務型実習について(所作・諸注意	動物病院実務型実習に向けての所作・諸注意を学ぶ	
第15回	動物病院体験型実習 振り返り	動物病院体験型実習を終え、感想等発表	

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上

	知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							-	秀(S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0	0				20	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			30	可 (D):69点~60点
発表・作品				0	0		20	不可(E):59点以下
演習				0	0		20	
出席			0				10	
担当教員	実務経験紹介	https:/	//www.yic-ky	oto-pet.ac.jp	/voice/maruyama/			

科目名			ボランティ	ア活動Ⅰ		単位数	1	科目コード	NF2204		
受業形態			講	義	対象学生 1年生 開設期						
区分			必	修		開設時期	前期	教員実務経験対	村象 有		
授業概要 (目的、目標とす	る資格・検定等)				時預りボランティア ことで社会貢献に		iし、今まで学ん	できた動物看護の	知識を用いて、		
授業の一般目	目標				時預りボランティア ことで社会貢献に			できた動物看護の	知識を用いて、		
受講条件		動物看護科に	在籍している。								
事前学習につ (テキスト・参		適宜資料配布	ī								
授業の到達目	目標										
□ 知識・理解	の観点										
□ 思考・判断	fの観点	1. 今まで勉強	耸してきた動物看言	護技術を用いてボ [・]	ランティア活動に参	加できる。					
□ 関心·意欲	の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。							
□ 態度の観	点	1. 積極性と3	上体性を持った謙 原	虚な振る舞いがで	きる。						
□ 技能·表现	の観点										
授業計画(全	体)										
京都動物愛詞	隻センターの子猫	苗の一時預りボラン	ノティアに参画し動	物看護の知識か	社会貢献を出来る	ことを考えるように	受業を進める				
授業計画(授	業単位)	. =				- · ·					
0		主題				授業内容			備考		
第1回	授業概論 主体性とは	?			意義・流れを理解 と「自主性」の違			きるようになる。			
第2回	動物関係の	社会貢献		動物看護の領	知識を使ってでき	る社会貢献にどん	しなものがある	かを知る			
第3回	自分たちで	できること		自分たちで、	、動物看護の知識	を使ってできるネ	土会貢献を考え				
第4回	京都動物愛	護センター見学		京都動物愛調	護センター見学を	1.てボランティフ	ア活動とは何か	を知る			
第5回	水即 刬彻交	ig CD / No		水阳坳70 交	RED P SETE	0 (11) 2 7 4 7	7D 30 C 16 17 10	2,41-0			
第6回	グループワ	一 ク:マニュア)	レ作成①								
第7回	グループワ	一 ク:マニュア)	レ作成②								
第8回	グループワ	一 ク:マニュア)	レ作成③	子猫の一時預	iりボランティアに	:参画する際に必	要なマニュアル	レを考える			
第9回	グループワ	ーク:マニュア <i>)</i>	レ作成④								
第10回		ーク:マニュア <i>)</i>									
第11回		一ク:活動前最終			預りボランティア						
第12回		一ク:活動中間報			預りボランティア						
第13回		ーク:活動中間 ーク:活動中間			預りボランティア 						
第14回	この授業を		-1x □ ⊌		子猫の一時預りボランティア開始3週間目の情報共有・今後の問題点を話し合う クラス全体で授業で学んだことを共有						
成績評価方法				ノノハ王仲							
		出席率80%以上									
		知識・理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験								-	秀 (S):100点~90点		
小テスト 定野坪業以上	,±°⊦		<u> </u>					-	優 (A):89点~80点 良 (B):79点~70点		
宿題授業外L 授業態度	_\∟		© ©	0							
皮耒忠度 ―――― 発表・作品		© O ©					70	可 (D):69点~60点 不可(E):59点以下			
演習								-			
出席				0				10			
	UST NAME NAME NAME NAME NAME NAME NAME NAME										

科目名			ボランティ	/ア活動 Π		単位数	1	科目コード	NF2205		
授業形態			ボランティア活動 I 単位数 1 科目コード 講義 対象学生 2年生 開設期								
区分				修		開設時期	前期	教員実務経験対	半期 対象 有		
授業概要		京都動物愛護			時預りボランティア	」に授業として参画					
	「る資格・検定等) 	その子猫のた	めに何ができるか 【センターが実施し	、を考え、実践する ている子猫の「一	ことで社会貢献に 時預りボランティア	寄与する。 					
受講条件			:め)に何かできるか :動 I の単位認定		ことで社会貢献に	허구 9 බ. 					
事前学習につ		適宜資料配布									
授業の到達目											
□ 知識・理解	犀の観点										
□ 思考·判断	折の観点	今まで勉強し	てきた動物看護技	術を用いてボラン	ティア活動に参加	できる。					
□ 関心·意欲	次の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。							
□態度の観	点	積極性と主体	性を持った謙虚な	:振る舞いができる	0.						
□ 技能·表现	見の観点										
京都動物愛記		苗の一時預りボラン	ッティアに参画し、:	縦割りの取組みを	通じてボランティア	意義を伝えられる。	ような事を学ぶ				
		主 題				授業内容			備考		
第1回	授業概論 主体性とは	?				し、今後の授業に いを自分の言葉で		きるようになる。	,		
第2回	動物関係の	社会貢献		動物看護の知	印識を使ってでき	る社会貢献にどん	しなものがある	かを知る			
第3回	自分たちで	できること		自分たちで、	動物看護の知識	を使ってできるネ	土会貢献を考え	. 3			
第4回	京都動物愛	護センター見学	センター見学 京都動物愛護センター見学をしてボランティア活動とは何かを知る								
第5回											
第6回	グループワ	ー ク:マニュア)	レ作成①								
第7回	グループワ	一ク:マニュア)	レ作成②								
第8回	グループワ	ーク:マニュアル	レ作成③	子猫の一時預	りボランティアに	に参画する際に必	要なマニュアル	レを考える			
第9回	グループワ	ーク:マニュア)	レ作成④								
第10回	グループワ	ーク:マニュア <i>)</i>	レ作成⑤								
第11回	グループワ	一ク:活動前最終	冬確認	子猫の一時預	頂りボランティア	開始前に決まった	ことの最終確	認・全体共有			
第12回	グループワ	一ク:活動中間報	报告①	子猫の一時予	 頂りボランティア	開始 1 週間目の情	青報共有・今後	の問題点を話し	合う		
第13回	グループワ	一ク:活動中間報	服告②	子猫の一時予	頂りボランティア	開始2週間目の情	青報共有・今後	の問題点を話し	合う		
第14回	グループワ	一ク:活動中間	报告③	子猫の一時剤	頂りボランティア	開始3週間目の情	青報共有・今後	の問題点を話し	合う		
第15回	この授業を	受けて		クラス全体で							
成績評価方法	去								·		
単位認定 総	合成績60点、出	出席率80%以上									
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準		
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点		
小テスト	-10° I	0	0	0				20	優 (A):89点~80点 良 (B):79点~70点		
宿題授業外L	ノホート		0								
授業態度				O © 10 可(
発表·作品								-	不可(E):59点以下		
:⇔ যয								-			
演習出席				0				10			

る資格・検定等) 目標 の考書等 目標 の観点 次の観点 点の観点 はないしまする。 のでは、 はないしまする。 はないともないともないともないともないともないともないともないともないともないとも	アニコム損害化 アニコム損害化 アニコム損害化 動物看護科に 適宜テキストを 動物の医療保 臨床現場 自ら疑問点を 積極性と主体 人資格を集中講婚	講必 が損害保険募集人 保険の合格レベル 保険に合格する。 ・在籍している。 ・在籍している。 ・を配布 と配布 と配布 と配布 とした各種場面に 見出し、追究する 性を持った謙虚な	ができる。 こおいて、最良とさ	れる判断ができる	単位数 対象学生 開設時期	1 1年生 前期	料目コード開設期教員実務経験文	半期			
目標 のいて 考書等) 目標 の観点	アニコム損害化 アニコム損害化 アニコム損害化 動物看護科に 適宜テキストを 動物の医療保 臨床現場 自ら疑問点を 積極性と主体 人資格を集中講婚	必 が損害保険募集人 保険の合格レベル 保険に合格する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ができる。 ことができる。	れる判断ができる	開設時期	-		対象 一			
目標 のいて 考書等) 目標 の観点	アニコム損害化 アニコム損害化 アニコム損害化 動物看護科に 適宜テキストを 動物の医療保 臨床現場 自ら疑問点を 積極性と主体 人資格を集中講婚	び損害保険募集人保険の合格レベル保険に合格する。 保険に合格する。 在籍している。 を配布 について説明が に定した各種場面に 見出し、追究する 性を持った謙虚な	いに関連する内容を し、知識を覚える。 ができる。 こおいて、最良とさ ことができる。	れる判断ができる	0	削拗	双具天仿在缺X				
DINで 考書等) 目標 翠の観点 赤の観点 点 見の観点 は 見の観点 がい が が が が が が が が が が が が が	動物看護科に 適宜テキストを 動物の医療保 臨床現場を想 自ら疑問点をを 積極性と主体 人資格を集中講座	在籍している。 を配布 除について説明; 定した各種場面に 見出し、追究する 性を持った謙虚な	ができる。 こおいて、最良とさ ことができる。					備考			
考書等) 目標 解の観点 所の観点 次の観点 点 見の観点 びが損害保険募集.	適宜テキストを 動物の医療保 臨床現場を想 自ら疑問点を! 積極性と主体 人資格を集中講座	を配布 場険について説明。 定した各種場面に 見出し、追究する 性を持った謙虚な	こおいて、最良とさ					備考			
考書等) 目標 解の観点 所の観点 次の観点 点 見の観点 びが損害保険募集.	動物の医療保 臨床現場を想 自ら疑問点を! 積極性と主体 人資格を集中講座	は険について説明は 定した各種場面に 見出し、追究する 性を持った謙虚な	こおいて、最良とさ					備考			
マの観点 所の観点 次の観点 点 見の観点 び損害保険募集	臨床現場を想 自ら疑問点を! 積極性と主体 人資格を集中講座 主 題	定した各種場面! 見出し、追究する 性を持った謙虚な	こおいて、最良とさ					備考			
所の観点 次の観点 点 見の観点 (体) び損害保険募集	臨床現場を想 自ら疑問点を! 積極性と主体 人資格を集中講座 主 題	定した各種場面! 見出し、追究する 性を持った謙虚な	こおいて、最良とさ					備考			
次の観点 点 見の観点 :体) び損害保険募集。 業単位)	自ら疑問点を! 積極性と主体 人資格を集中講座 主 題	見出し、追究する性を持った謙虚な	ことができる。					備考			
点 見の観点 (体) び損害保険募集。 業単位)	積極性と主体 人資格を集中講座 主 題	性を持った謙虚な		o e	授業内容			備考			
現の観点 体) び損害保険募集 業単位)	人資格を集中講座 主 題				授集内容			備考			
(体) び損害保険募集。 (素単位)	主 種	をで学ぶ。			授業内容			備考			
び損害保険募集	主 種	至で学ぶ。			授業内容			備考			
					授業内容			備考			
ペット保険訓					~ ~ · · · ·			Ma 13			
ペット保険記						27.01					
	弄座			物病院で働く際に	/ョップで働く際、 役立つ「ペット仮						
			損害保険会者 ※なで、「†	性のペット保険を 81章保険草集 1 寸	・扱うペットショッ ・ 扱うペットショッ	, プ、動物病院	等への就職に有利	刊な			
一般試験对象	 枝講 <i>隆</i>		貨格で、「預	貝吉保陝募集人試	「騻」の合格を目指	i 9					
去								-			
合成績60点、出	席率80%以上	0%、出席点10%	を換算して総合評	価を行う。							
	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
	0	0					80	秀(S):100点~90点			
							-	優 (A):89点~80点			
ノポート							-	良 (B):79点~70点			
							-	可 (D):69点~60点			
							-	不可(E):59点以下			
							_				
			0	0			20				
10000000000000000000000000000000000000	一般試験対9 : 理解カテストを行合成績60点、出 は70%、提出物	理解力テストを行う。 合成績60点、出席率80%以上 点70%、提出物&授業態度点20 知識・理解	- 般試験対策講座 - 一般試験対策講座 - 理解カテストを行う。 合成績60点、出席率80%以上 与70%、提出物&授業態度点20%、出席点10% 知識・理解 思考・判断 ③ ○	- 般試験対策講座 資格で、「計算を表現では、「計算を表現では、「計算を表現では、」	- 般試験対策講座 資格で、「損害保険募集人記 理解カテストを行う。 合成績60点、出席率80%以上 5,70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 ○ ○ ○	- 般試験対策講座	- 般試験対策講座 資格で、「損害保険募集人試験」の合格を目指す 理解カテストを行う。 合成績60点、出席率80%以上 気70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 その他 ③ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	- 般試験対策講座			

				20	22年度 シラ/	1/2				
科目名			基本IT	技術 I		単位数	1	科目コード	NG2202	
授業形態			実	習		対象学生	2年生	開設期	半期	
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対	村象 -	
授業概要 (目的、目標とう	する資格・検定等)	パワーポイン	トを使用したスライ	ド作成						
授業の一般	目標	パワーポイン	トを使用して発表ス	スライドを制作でき	るようになる。					
受講条件		動物看護科に	在籍している。							
事前学習に (テキスト・参		「Microsoft Wo	ord2013 クイックマ	スター 基本編」「	「Microsoft Excel20)13 クイックマスタ-	- 基本編」			
授業の到達										
□知識・理解			る資料をWord、Ex							
□思考・判閣					注理的に述べること	:ができる。 				
□関心・意名			見出し、追究する							
□態度の観		積極性と王体	性を持った謙虚な	振る舞いかできる	0.					
□ 技能·表现 一 授業計画(全										
		うにし、文書の作り	朮・表の作成編集	関数を理解し出来	るように授業を進む	める				
授業計画(授	受業単位)									
		主 題				授業内容			備考	
第1回	コンピュー	タの基本操作		ログイン、フ	メールアドレス登	録、課題提出の作	上方			
第2回	文書の作成			ワードの基本	ワードの基本操作、文章作成、編集、文字修飾					
第3回	文書の作成 インデントやタブ、ビジネス文書について									
第4回	表の作成	表の作成 表を挿入し、編集する								
第5回	表の編集		表の体裁を整える							
第6回	表現力アッ	プ		図などの挿え						
第7回	表現カアッ	プ		SmartArtグラ	ラフィックなどの	挿入・編集				
第8回	エクセルの	基礎		エクセルの基	基本操作と簡単な	表の作成				
第9回	エクセルの	基本		表の作成、濱	寅算子や数式につ	いて				
第10回	数式の利用			関数の理解、	オートSUMボタン	ンを利用した関数	の利用			
第11回	関数の利用					挿入ボタンを利月	用した関数につ	いて		
第12回	グラフ	45-77		グラフの作品						
第13回	試験範囲の				ポイント、復習		. 7			
第14回		り/期末テスト				前期末試験を受け	-	- 作羽ナマ		
第15回	テスト返し	/ 月牛 記尤		削凹打つた記	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義・答えを復習する					
	総合成績60点、と	出席率80%以上 態度点20%、出界	ま点10%を換算し	て総合評価を行う	j.,					
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準	
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点	
小テスト		0	0	0				20	優 (A):89点~80点	
宿題授業外	レポート		0	0				10	良 (B):79点~70点	
授業態度 一 発表·作品				0	0			10	可 (D):69点~60点 不可(E):59点以下	
演習								-	1.引 (上/.00 無以下	
出席				0				10		
担当教員		士邸	正日	· -	宝務級除切合					
担ヨ牧貝	吉野 正巳 実務経験紹介									

科目名	基本IT技術 Ⅱ	単位数	2	科目コード	NG2203						
授業形態	実習	実習 対象学生 3年生 開設期 当									
区分	必修	必修 開設時期 前期 教員実務経験対象 -									
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	コンピュータを利用した事務作業やビジネスで必要な文書の作成や表計算について学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習する。										
授業の一般目標	必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。										
受講条件	基本IT技術 I の単位認定										
事前学習について (テキスト・参考書等)	「Microsoft Power Point2013 クイックマスター」										
授業の到達目標											
□ 知識・理解の観点	1. 効果的なスライド作成が出来るようになる。 2. 自身の考えや	や企画を形にするね	為に、効果的なス	ライド作成が出来るよう	iになる。						
□ 思考・判断の観点	授業で取り上げた内容において、自分の意見を論理的に述べること	:ができる。									
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。										
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。										
□技能・表現の観点											
授業計画(全体)											

PowerPointを使いこなせるようにし、プレゼンのスライド作成ができプレゼンテーションが出来るように授業を進める

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	基本操作 1	PowerPointソフトはどのようなものか 基本操作とソフトの理解	
第2回	基本操作 2	スライドの作成・デザイン・文字入力と構成	
第3回	基本操作3	図形や絵の挿入・アニメーション効果・画面の切り替え	
第4回	基本操作 4	表・グラフの挿入	
第5回	基本操作5	音の挿入と効果的な画像挿入	
第6回	基本操作の振り返り	これまでの基本操作で簡単なスライドを作製する	
第7回	プレゼンのスライド制作 1	序論・本論・結論の構成を踏まえ、簡単なスライドを制作出来るようになる。	
第8回	プレゼンのスライド制作 2	序論・本論・結論の構成を踏まえ、簡単なスライドを制作出来るようになる。 参考・引用文献の表記方法	
第9回	発表用スライド作成 1	発表計画を立て、基本操作を取り入れたスライド作りを行う	
第10回	発表用スライド作成 2	発表計画を立て、基本操作を取り入れたスライド作りを行う	
第11回	発表用スライド作成3	発表計画を立て、基本操作を取り入れたスライド作りを行う	
第12回	発表用スライド作成 4	発表計画を立て、基本操作を取り入れたスライド作りを行う	
第13回	発表用スライド作成 5	発表計画を立て、基本操作を取り入れたスライド作りを行う	
第14回	プレゼン発表 1	模擬発表 内容が明確で分かりやすく構成されているかを自己判断出来るようになる	
第15回	プレゼン発表 2	模擬発表 内容が明確で分かりやすく構成されているかを自己判断出来るようになる	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0	0				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レ	ポート		0	0				10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員		吉野	正巳		実務経験紹介				

科目名			イベントプ	ロジュース		単位数	1	科目コード	NH2201	
授業形態			通期							
区分			有							
授業概要 (目的、目標と	する資格・検定等)	イベントを企画	する段階から時間	間軸のプロセスを約	カ・実行カ・協調性 経て、「最終的な目 具体的に学び、これ	的達成」のために	最高のパフォーマ		う、イベントのノウハウや、ブラ	
授業の一般	目標				制作ノウハウを身 たかを調査・分析し		で各自が役割に	対する責務を果たし、	チーム全体の力を発揮するこ	
受講条件		動物看護科に	在籍している。							
事前学習に (テキスト・参		適宜テキストを	を配布							
授業の到達	目標									
□ 知識・理解	解の観点									
□ 思考·判Ⅰ	断の観点									
□ 関心·意	欲の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。						
□ 態度の観	点	1. 積極性と主	E体性を持った謙原	虚な振る舞いがで	きる。					
□ 技能・表	現の観点									
授業計画(全	È体)									
動物看護に	関わるイベントの	企画運営を学ぶ。								
授業計画(招	受業単位)									
		主 題	主題 授業内容							
第1回	イベントと	は? 2020年度のイベントについて/イベントの意義について								
第2回	イベント①			しが動物フェ	スティバルの企画	画運営			2020年7月実施予定	
第3回										
第4回	イベント②			ほりかわ祭((学園祭) の企画選	重 営			2020年10月実施予定	
第5回										
第6回	イベント③			京都動物フォ	ーラムの企画運営	ž			2021年3月実施予定	
第7回										
成績評価方	法									
単位認定 6	60点以上 各イ	ベントの参加状況	•運営•実施状況(こて総合判断						
		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準	
定期試験									秀 (S):100点~90点	
小テスト									優 (A):89点~80点	
宿題授業外	レポート	O O 40						良 (B):79点~70点		
授業態度		⊚						50	可 (D):69点~60点	
発表·作品								-	不可(E):59点以下	
演習								-		
出席				0	0			10		
担当教員							//www.yic-ky	/oto-pet.ac.jp/v	oice/maruyama/	

科目名	社会常識	単位数	1	科目コード	NH2202				
授業形態	講義 対象学生 2年生 開設期 半期								
区分	必修 開設時期 前期 教員実務経験対象 -								
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	社会常識について学ぶ。日々の対人関係を円滑にするための基本的スキルの習得。文書読解・作成能力検定3級合格のために必要な知識の習得。								
授業の一般目標	・般目標 文章を正確に読み取り、自分の考えや意見を的確に文章で表現する能力 文章でのコミュニケーションカや論理的思考力、ひいては一般的な「コミュニケーションカ」を高める								
受講条件	動物看護科に在籍している。								
事前学習について (テキスト・参考書等)	文書検公式テキスト、基礎から学べる!文書カステップ								
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	.社会常識をを知る。								
□ 思考・判断の観点	日常生活における各種場面において、最良とされる文章作成ができる。								
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点	□技能・表現の観点								
授業計画(全体)									

コミュニケーションの重要性を理解し社会人としてのマナーを身に付け、文書読解・作成能力検定3級取得を目指して授業を進める

授業計画(授業単位)

0	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	コミュニケーションの重要性①	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション、表情について	
第2回	コミュニケーションの重要性②	挨拶と返事、お辞儀の基本、第一印象と第二印象について	
第3回	社会人としての話し方・聞き方①	ビジネスにふさわしい話し方、分かりやすい話し方のポイントについて	
第4回	社会人としての話し方・聞き方②	印象を左右することば遣い、選ぶ言葉で次につながるについて	
第5回	文章作成の基本	文の基本型、テーマの立て方、展開、句読点のルール、段落わけのルール等につ いて	
第6回	文章作成の応用	文の長さと読みやすさ、漢字・ひらがな・カタカナの使い分け等について学ぶ。	
第7回	文章の種類と表現①	文書読解・作成能力検定3級対策①	
第8回	文章の種類と表現②	文書読解・作成能力検定3級対策②	
第9回	文章の種類と表現③	文書読解・作成能力検定3級対策③	
第10回	文章の種類と表現④	文書読解・作成能力検定3級対策④	
第11回	文章の種類と表現⑤	文書読解・作成能力検定3級対策⑤	
第12回	文章の種類と表現⑥	文書読解・作成能力検定3級対策⑥	
第13回	文章の種類と表現⑦	文書読解・作成能力検定3級対策⑦	
第14回	前期振り返り/期末テスト	前期を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義・答えを復習する	

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 試験取得点数70% 提出物&授業態度20% 出席点10%を換算し、総合評価とする。

		知識・理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0	0				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外し	ノポート		0	0				10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員		金森	孝子		実務経験紹介				

科目名	ビジネス文章力 I	単位数	1	科目コード	NH2203				
授業形態	講義と実習	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	-				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	硬筆検定4級取得を目指した授業。文字を書くという私たちの日常生	硬筆検定4級取得を目指した授業。文字を書くという私たちの日常生活での最も基本的な教養を身につける。							
授業の一般目標	硬筆書写検定4級合格のための学び	硬筆書写検定4級合格のための学び							
受講条件	動物看護科に在籍している。								
事前学習について (テキスト・参考書等)	硬筆書写技能検定4級合格のポイント								
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明	できる							
□ 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるこ	とができる							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	日常生活の中で書写について主体的に考えることができる								
□ 技能・表現の観点									
授業計画(全体)									

硬筆書写技能検定4級取得のために必要な学びを行う

授業計画(授業単位)

按兼計画()								
	主 題	授 業 内 容	備考					
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本を学ぶ。用具、テキスト、ドリルの活用方法、学習計画が理解できる						
第2回	速書き	一定の時間内に、一定の文章を書き終える事ができる						
第3回	漢字と平仮名を大きく書く	5~6字くらいの語句を、2.5センチのますめに1字ずつ書くことができる						
第4回	縦書き(漢字と仮名交じり文)	ボールペン・サインペンで40字ほどの感じ仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいの あるところに楷書で書くことができる						
第5回	横書き(漢字仮名交じり文)	片仮名、数字、ローマ字が混ざっている55字ぐらいの文を、横書きで書くことが出来る						
第6回	簡単な掲示を書く	10字ぐらいの短い文を、わくの中に適当な位置に大きさ・太さに留意しながら書くことができる						
第7回	教育漢字と仮名の筆順	多く用いられる平易な漢字の点画、筆順を正しく字形を整えて書くことが出来る						
第8回	過去問題実施 模擬試験の実施①	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施						
第9回	過去問題実施 模擬試験の実施②	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施						
第10回	速書き	一定の時間内に、一定の文章を美しく正しく書き終える事ができる						
第11回	漢字(楷・行)を大きく書く	漢字の楷書と行書の基本を理解し書くことができる						
第12回	縦書き(漢字と仮名交じり文)	ボールペン・サインペンで45字ほどの漢字仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいの あるところに行書で書くことができる						
第13回	横書き(漢字仮名交じり文)	片仮名、数字、ローマ字が混ざっている60字ぐらいの文を、感じは楷書で、数字やローマ字は似合うもので横書きで書くことが出来る						
第14回	添え状、履歴書、お礼状の作成①	添え状、履歴書、お礼状を書く上での留意点を学び実際に作成する						
第15回	添え状、履歴書、お礼状の作成①	添え状、履歴書、お礼状を書く上での留意点を学び実際に作成する						
	1							

成績評価方法

	知識·理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	S(4):90点以上
小テスト	0	0	0				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		0	0	0			10	B(2):70点以上
授業態度			0				10	C(1):60点以上
発表•作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			0				欠格条件	
担当教員	上川	華生		実務経験紹介				

科目名	コミュニケーション学	単位数	1	科目コード	NH2204			
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	社会常識について学ぶ。日々の対人関係を円滑にするための基本	社会常識について学ぶ。日々の対人関係を円滑にするための基本的スキルの習得。サービス接遇検定合格のために必要な知識の習得。						
授業の一般目標	社会人としての基本的なマナーを身につけ、円滑にコミュニケーションを図れるようになる。 ビジネス電話検定に準じた電話応対ができるようになる。							
受講条件	動物看護科に在籍している。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	サービス接遇検定 受験ガイド3級 改訂版、サービス接遇検定 問	題集						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	.社会常識をを知る。							
□ 思考・判断の観点	日常生活における各種場面において、最良とされる判断ができる。							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	長現の観点							
授業計画(全体)								

コミュニケーションの重要性を理解し社会人としてのマナーを身に付けサービス接遇検定3級取得を目指して授業を進める

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	授業開始について サービス接遇接客とは何か	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 サービスの意味、接客とは何かを覚える、効果的な自己紹介の仕方ができる	
第2回	サービススタッフの資質(1)	必要とされる要件 明るさと誠実さ・適切な判断と表現・身だしなみについてを覚える	
第3回	サービススタッフの資質(2)	従業要件 良識をもつ、適切な判断と表現、清潔感についてを覚える	
第4回	専門知識(1)	サービス知識 サービスの意義・機能・種類を覚える	
第5回	専門知識(2)	従業知識 商業用語・経済用語を覚える	
第6回	一般知識	社会常識を覚える、時事問題を知る	
第7回	対人技能(1)	一般的な人間関係を築く	
第8回	対人技能(2)	接遇知識、対人心理が理解できる 接遇者としてマナーを心得る	
第9回	対人技能(3)	話し方、接遇用語を覚える 提示・説明の仕方を覚える	
第10回	対人技能(4)	服装 接遇者としての適切な服装を装う	
第11回	実務技能(1)	問題処理。環境整備についてを覚える	
第12回	実務技能(2)	金品管理・社交儀礼の業務ができる	
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習	試験範囲説明
第14回	振り返り授業・試験実施	サービス接遇検定合格のポイント、受験	単位認定試験
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説	試験解説

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 試験取得点数70% 提出物&授業態度20% 出席点10%を換算し、総合評価とする。

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト		0	0	0				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート			0	0				10	良(B): 79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				10	
担当教員 北村 昌樹				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/			p/voice/kitamura/	

科目名	プレゼンテーション学	単位数	1	科目コード	NH2205			
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)								
授業の一般目標	*の一般目標 ・自分の伝えたい内容を伝えられるようにプレゼンテーションが行える。 ・人前に出て、緊張せずにプレゼンテーションが行える。							
受講条件	動物看護科に在籍している。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト: 資料適宜配布 参考書: 日本経済新聞出版「プレゼンテーションの技術」(山本 御稔	(著)						
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点								
□ 思考・判断の観点	プレゼンテーションを行う相手や各種場面を分析し、その相手・場面	に合わせたプレゼ	ンテーションを行	うことができる。				
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	自分の伝えたい内容を相手に伝えることができる。 2.チームでプレゼンテーションを行うことができる。							
授業計画(全体)								

プレゼンテーションの目的・重要性を理解し実践的なテクニックを学び自らプレゼンテーションが出来るように授業を進める

授業計画(授業単位)

<u> </u>	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	プレゼンテーションとは	ブレゼンテーションの目的・重要性を知る	
第2回	プレゼンテーションの目的設定	自分の話したい内容を客観的に捉え、プレゼンテーションの目的を設定できる	
第3回	自分自身をコントロールするテクニック	人前に出て緊張しなくなるための知識を学ぶ	
第4回	眠くなるプレゼンテーションとは	聴衆が眠たくなるプレゼンテーションの共通点を見出す	
第5回	プレゼンテーションのテクニック①	わかりやすいプレゼンテーションの共通点を見出す	
第6回	プレゼンテーションのテクニック②	認知心理学のテクニックを活用できる (アンカリング、返報性、呼びかけ効果、希少性の原理、楽しさの伝達)	
第7回	プレゼンテーションの実践①	プレゼンテーションのテクニック①、②で学んだテクニックを使って実際にプレゼンテーションができる	
第8回	プレゼンテーションのテクニック③	プレゼンテーションを行う相手を知る。自身の「声の魅力」を生かす	
第9回	プレゼンテーションのテクニック④	実践で活用できるテクニックを知る	
第10回	プレゼンテーションの実践②	プレゼンテーションのテクニック③、④で学んだテクニックを使って実際にプレゼンテー ションができる	
第11回	チームプレゼンテーション①	チームプレゼンテーションにおける、 チームワーク・役割分担の重要性を知る	
第12回	発表準備①	14、15回目に行うクラス内発表に向けての準備を行う	
第13回	発表準備②	14、15回目に行うクラス内発表に向けての準備を行う	
第14回	発表①	授業内で学んだテクニックを生かし、発表ができる	
第15回	発表②、総括	授業内で学んだテクニックを生かし、発表ができる	
	1		

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								-	秀 (S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
宿題授業外	レポート		0	0				10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品			0	0	0	0		60	不可(E):59点以下
演習				0	0			10	
出席				0				10	
担当教員 北村 昌樹				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/			p/voice/kitamura/	

科目名	環境整備	単位数	1	科目コード	NH2206		
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験 対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)							
授業の一般目標							
受講条件	動物看護科に在籍している。						
事前学習について (テキスト・参考書等)							
授業の到達目標							
□ 知識・理解の観点							
□ 思考・判断の観点	プレゼンテーションを行う相手や各種場面を分析し、その相手・場面	に合わせたプレゼ	ンテーションを行	うことができる。			
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。						
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。						
□ 技能・表現の観点	自分の伝えたい内容を相手に伝えることができる。 2.チームでプレゼンテーションを行うことができる。						
授業計画(全体)							

プレゼンテーションの目的・重要性を理解し実践的なテクニックを学び自らプレゼンテーションが出来るように授業を進める

授業計画(授業単位)

	主題	授業内容	備考
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの目的・重要性を知る	
第2回	プレゼンテーションの目的設定	自分の話したい内容を客観的に捉え、プレゼンテーションの目的を設定できる	
第3回	自分自身をコントロールするテクニック	人前に出て緊張しなくなるための知識を学ぶ	
第4回	眠くなるプレゼンテーションとは	聴衆が眠たくなるプレゼンテーションの共通点を見出す	
第5回	プレゼンテーションのテクニック①	わかりやすいプレゼンテーションの共通点を見出す	
第6回	プレゼンテーションのテクニック②	認知心理学のテクニックを活用できる (アンカリング、返報性、呼びかけ効果、希少性の原理、楽しさの伝達)	
第7回	プレゼンテーションの実践①	プレゼンテーションのテクニック①、②で学んだテクニックを使って実際にプレゼン テーションができる	
第8回	プレゼンテーションのテクニック③	プレゼンテーションを行う相手を知る。自身の「声の魅力」を生かす	
第9回	プレゼンテーションのテクニック④	実践で活用できるテクニックを知る	
第10回	プレゼンテーションの実践②	プレゼンテーションのテクニック③、④で学んだテクニックを使って実際にプレゼン テーションができる	
第11回	チームプレゼンテーション①	チームプレゼンテーションにおける、 チームワーク・役割分担の重要性を知る	
第12回	発表準備①	14、15回目に行うクラス内発表に向けての準備を行う	
第13回	発表準備②	14、15回目に行うクラス内発表に向けての準備を行う	
第14回	発表①	授業内で学んだテクニックを生かし、発表ができる	
第15回	発表②、総括	授業内で学んだテクニックを生かし、発表ができる	

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								-	秀 (S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
宿題授業外し	レポート		0	0				10	良(B): 79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表・作品			0	0	0	0		60	不可(E):59点以下
演習				0	0			10	
出席				0				10	
担当教員	表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表					c.jp/voice/kitamura/			

科目名			動物飼育	育実習 I		単位数	1	科目コード	NI2201			
授業形態			講	義		対象学生	1年生	開設期	半期			
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とす 授業の一般E	る資格・検定等)					こつけ、正常と異常:		、小動物の飼育が行え	るようになる。			
	1 休			、(正催住、迅速	任を身にプリ、脚門	目を117ことかできる)					
受講条件		伴侶動物学 I	の単位認定									
事前学習にて		緑書房出版「	動物看護の教科書	書(新訂版)第4巻」、インターズ一出版「動物看護実習テキスト第2版」								
授業の到達目		1 11 45-4-7141		る飼育について説明できる。								
□知識・理解												
□思考・判断					れる判断ができる	0						
□関心・意欲			見出し、追究する									
□態度の観			性を持った謙虚な		5.							
□技能・表現		事故なく飼育	動物の飼育が行う	ことができる。								
授業計画(全	体)											
		スキルアップから	観察力のアップ、	そして質の高い館	同育が出来るように	授業を進める						
授業計画(授	業単位)	主題				授業内容			備考			
第1回	 事前準備 1			飼育を取り	 かかる前の確認				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
第2回	飼育時の留意	意点 1		飼育時の留意					講義			
第3回		高い飼育を目指す	<u> </u>			」 いて、正確性、i	1速性を身につ	ける				
第4回		意識し質の高い館										
第5回	正確性と迅速 指す1	速性を意識し質 の	の高い飼育を目									
第6回	****	速性を意識し質 の	の高い飼育を目									
第7回		戦した高い飼育る	を目指す1									
第8回	チームを意記	戦した高い飼育る	を目指す2	伴侶動物学で学んだ知識を用いて、正確性、迅速性を身につける また、ただ世話をするだけでなく、動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を 身につける								
第9回	コミュニケ- 育を目指す	−ションカを活 <i>≴</i> 1	いし質の高い飼									
第10回	コミュニケー 育を目指す2	−ションカを活 <i>た</i> 2	いし質の高い飼									
第11回	情報の共有な	いら質の高い飼育	音を目指す 1									
第12回	情報の共有が	いら質の高い飼育	育を目指す2									
第13回	試験の説明	・準備		会まで舶み	したことを外まっ	.、その動物の飼育	ミニついての+	·····································	※飼育は当番学生のる 行う。 試験はグループで			
第14回	試験準備			っよ 5 地独	したこと で聞みん	. 、 C Vノ3/J1/JVノR川 F	, ic 20. COM	CIFO	行うため、グループ 行うため、グループ 分かれ、準備をする。			
第15回	期末試験 (発表)			まとめたポン	スターを用いて、	その動物の飼育に	ついての発表	きを行う	※飼育は当番学生の。 行う。			
成績評価方法				l								
単位認定 総	合成績60点、出	席率80%以上										
		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準			
定期試験									秀(S):100点~90点			
小テスト	19								優 (A):89点~80点			
官題授業外L	ノボート				-				良 (B):79点~70点			
受業態度 発表・作品			0	0	0				可 (D):69点~60点 不可(E):59点以下			
完表•作品 画習		0	0	0	0	0		30	11·円 (E/:08点以下			
男自 ————— 出席				0				10				
			- H									
担当教員		北村	昌樹		実務経験紹介		rictps://www.yi	c-kyoto-pet.ac.jp/voic	se/ Kitamura/			

科目名			動物飼育	育実習Ⅱ		単位数	2	科目コード	NI2202		
受業形態		講義 対象学生 2年生 必修 開設時期 前期/名						開設期	通期		
≅分			必	修		開設時期	前期/後期	教員実務経験対	才象 有		
授業概要 (目的、目標と	する資格・検定等)	適正飼育法及	とび動物看護に必 望	要な観察力と動物	福祉の精神を身	こつけ、正常と異常	を鑑別しながら、	小動物の飼育が行	すえるようになる。		
授業の一般	目標	動物飼育実習	習 I での実践能力	に応用力を用いて	て正確性、迅速	性を身につける。					
受講条件		動物飼育実習	習Iの単位認定								
事前学習に (テキスト・参		緑書房出版「	動物看護の教科書	序(新訂版) 第4巻」	、インターズ一出	岀版「動物看護実習	テキスト第2版」				
授業の到達	目標										
□ 知識・理						ノープとして適切な角	経答ができる。				
□ 思考・判				おいて、最良とされ	れる判断ができる	5 .					
□関心・意			見出し、追究する								
□態度の観				振る舞いができる。		5 _1,2,					
□ 技能・表:授業計画(金		グループでコ	グループでコミュニケーションをとり、事故なく飼育動物の飼育が行うことができる。								
小動物の飼 授業計画(抗)スキルアップから	も観察力のアップ、	そして質の高い飼育	育が出来るように	- 授業を進める					
<u> </u>		主題				授業内容			備考		
第1回											
第2回											
	個人のスキ 指す	ルアップから質(の高い飼育を目								
第3回	_										
第4回											
第6回	-										
第7回	観察カアッ	プから質の高い値	飼育を目指す			カに応用力を用い。					
第8回				身につける	ははなりるだけ	でなく、動物看護に	- 必安は既奈刀	と動物値位の積や	# Z		
第9回											
第10回	-										
第11回		こ所の言い句子:	<i>+</i> = +-+								
第12回	日己評価か	ら質の高い飼育	を日指り								
第13回											
第14回	飼育実技試					育を正しく行う事:		+ Z			
第14回		X				育を正しく行う事; こついてを口頭で!		きる			
第14回 第15回 成績評価方								きる			
第13回第14回第15回成績評価方単位認定 4	法		思考・判断					きる	成績評価基準		

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員	北村	計 昌樹		実務経験紹介		https://www.yic	-kyoto-pet.ac.jp	/voice/kitamura/

科目名		動物飼育実習皿 単位数 1						科目コード	NI2203		
授業形態			講	義		対象学生	3年次	開設期	半期		
区分			必	修		開設時期	前期	教員実務経験対	象有		
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)	適正飼育法及	及び動物看護に必要	要な観察力と動物	物福祉の精神を身に	つけ、正常と異常	を鑑別しながら	、小動物の飼育が行	fえるようになる。		
授業の一般	目標	動物飼育実習	習Ⅱでの実践能力	に応用力を用い	いて正確性、迅速性	きを身につける。					
受講条件		動物飼育実習	習Ⅱの単位認定								
事前学習に (テキスト・参		緑書房出版「	動物看護の教科書	(新訂版)第4巻	巻」、インターズ一出	版「動物看護実習 	テキスト第2版」				
授業の到達	目標										
コ知識・理解	解の観点	エキゾチックス	アニマルの飼育につ	ついての飼い主からの質問に、個人で適切な解答ができる。							
コ思考・判題	断の観点	臨床現場を想	限定した各種場面に	こおいて、最良とされる判断ができる。							
コ 関心・意名	次の観点	自ら疑問点を	見出し、追究するこ	とができる。							
〕態度の観	!点	積極性と主体	ば性を持った謙虚な	振る舞いができ	ა						
□技能・表現	現の観点	チーム医療を	意識し、事故なく餌]育動物の飼育な	が行うことができる。						
受業計画(全	全体)										
小動物の飼	育を通して質の福	高い飼育を目指し、	、動物看護師として	倫理観を備えた	飼育が出来るように	授業を進める					
受業計画(授	受業単位)										
		主題				授業内容			備考		
第1回											
第2回											
第3回	危機管理を 指す	実践に活かし質の	の高い飼育を目								
第4回											
第5回											
第6回	入院管理を	想定し質の高い	飼育を目指す	動物飼育実習Ⅱでの実践能力に応用力を用いて、正確性、迅速性を身につける。 また、ただ世話をするだけでなく、動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を 身につける							
第7回											
第8回											
第9回											
第10回	動物看護師 い飼育を目	としての倫理観:	を備えた質の高								
第11回 第12回	• 2777 6 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
第12回	学年末試験	①			かれ、前半組が実	習試験			※飼育動物の頭数・ス		
第14回	学年末試験			前回のチー	記試験を行う ムで、後半組が実習	'試験			スを考え、学年末試験 回に分けて行う ※学生証が必要		
第15回	飼育実習の			動物飼育実				を身につける。また			
或 成績評価方法		WO 10		だ世話をする	るだけでなく、動物看	i護に必要な観察 2	りと動物福祉の	精神を身につける			
		出席率80%以上									
		知識・理解	思考•判断		態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準		
E期試験		O	0	0	0	0	Ç ID	50	秀 (S):100点~90点		
トテスト								-	優 (A):89点~80点		
宮題授業外	レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点		
受業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点		
≹表∙作品								-	不可(E):59点以下		
習				0	0			20			
出席				0	+			10			
		-11.4-4	昌樹		実務経験紹介		https://www.vi	c-kyoto-pet.ac.jp/v	oico /kitamura /		

科目名		ドッグトレー	ニング実習 I	単位数	3	科目コード	NI2204
授業形態			2習	対象学生	2年次	開設期	半期
区分			· —	開設時期	後期	教員実務経験 対象	-
授業概要 (目的、目標と	とする資格・検定等)					1 232	
授業の一般	投目標	犬の基本的扱いを習得し、適正	E飼養ができるようにしつけI	に関する事項を飼い主に説明	月・指導ができる	るようになる。	
受講条件							
事前学習に							
授業の到達	達目標						
□ 知識・理	1解の観点	日常的な健康管理や内科診療	補助等の各種技法や手順を	を説明できる。			
□ 思考•判	断の観点	臨床現場を想定した各種場面に	こおいて、最良とされる判断	ができる。			
□ 関心·意	微の観点	自ら疑問点を見出し、追究する	ことができる。				
□態度の	観点	積極性と主体性を持った謙虚な	よ振る舞いができる。				
□ 技能・表	現の観点	日常的な健康管理や内科診療	補助等の各種技法を適宜す	実施できる。			
	全体)						
授業計画(動物の基本 授業計画(全体)	来るように、動物に応じたハンドリン		を行う。			No. de
授業計画(動物の基本	全体) 体的な扱い方が出: 授業単位)	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題	グや基本的なグルーミング	を行う。 授業内容			備考
授業計画(動物の基本 授業計画(全体) 体的な扱い方が出: 授業単位)	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について	グや基本的なグルーミング:	を行う。 授業内容	カラー、おも	うちゃ等)の種類	備考
授業計画(動物の基本 授業計画(回	全体) 本的な扱い方が出 授業単位) 授業説明、 犬具につい	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について	グや基本的なグルーミング:	を行う。	カラー、おも	うちゃ等)の種類	備考
授業計画(動物の基本 授業計画(回 第1回	全体) 本的な扱い方が出 接業単位) 授業説明、 大具につい しつけとト	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について て	グや基本的なグルーミング: 授業の必要性と内容 しつけ・トレーニン トレーニングとしつ	を行う。	カラー、おも	,ちゃ等) の種類	備考
授業計画(動物の基本 授業計画(回 第1回 第2回	全体) k的な扱い方が出: 授業単位) 授業説明、 犬具につい しつけとト	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について て レーニングについて①	グや基本的なグルーミング 授業の必要性と内容 しつけ・トレーニン トレーニングとしつ トレーニングとしつ	を行う。 授業内容 説明、進め方 グに必要な大具(リード、 けの違いについて けの必要性	カラー、おも	5ちゃ等)の種類	備考
授業計画(: 動物の基本 授業計画(: 回 第1回 第2回 第3回	全体) k的な扱い方が出: 授業単位) 授業説明、 犬具につい しつけとト	来るように、動物に応じたハンドリン 主題 進め方について て レーニングについて① レーニングについて② レーニングについて③	グや基本的なグルーミング: 授業の必要性と内容しつけ・トレーニン トレーニングとしつ トレーニングとしつ 大を喜ばせる5つの	を行う。 授業内容 説明、進め方 グに必要な大具(リード、 けの違いについて けの必要性	カラー、おも	5 ちゃ等)の種類	備考
授業計画(: 動物の基本 授業計画(: 回 第1回 第2回 第3回 第4回	全体) k的な扱い方が出: 授業単位) 授業説明、 大具につい しつけとト しつけとト	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について て レーニングについて① レーニングについて② レーニングについて③	グや基本的なグルーミングを 授業の必要性と内容 しつけ・トレーニン トレーニングとしつ トレーニングとしつ 犬を喜ばせる5つの イヌとイヌ、イヌと	を行う。	カラー、おも	,ちゃ等) の種類	備考
授業計画(: 動物の基本 授業計画(: 回 第1回 第2回 第3回 第4回	全体) k的な扱い方が出: 授業単位) 授業説明、 犬具につい しつけとト しつけとト しつけとト パピー期の	来るように、動物に応じたハンドリン 主題 進め方について て レーニングについて① レーニングについて② レーニングについて③ 重要性① 重要性①	グや基本的なグルーミング: 授業の必要性と内容 しつけ・トレーニン トレーニングとしつ トレーニングとしつ 犬を喜ばせる5つの イヌとイヌ、イヌと 社会化期 人慣れ	を行う。	カラー、おも	5ちゃ等)の種類	備考
授業計画(: 動物の基本 授業計画(: 回 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	全体) k的な扱い方が出: 授業単位) 授業説明、 大具につい しつけとト しつけとト しつけとト パピー期の パピー期の	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について て レーニングについて① レーニングについて② レーニングについて③ 重要性① 重要性②	グや基本的なグルーミング: 授業の必要性と内容しつけ・トレーニングとしつ 大を喜ばせる5つの イヌとイヌ、イヌと 社会化期 場所慣れ 社会化期 音慣れ(を行う。			備考
授業計画(: 動物の基本 授業計画(: の 第1回 第2回 第3回 第4回 第6回 第7回	全体) 本的な扱い方が出 授業単位) 授業説明、 大具につい しつけとト しつけとト いピー期の パピー期の	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について て レーニングについて① レーニングについて② レーニングについて③ 重要性① 重要性② 重要性② 重要性④	グや基本的なグルーミング: 授業の必要性と内容しつけ・トレーニングとしつ 大を喜ばせる5つの イヌとイヌ、イヌと 社会化期 場所慣れ 社会化期 音慣れ(を行う。 授業内容 説明、進め方 グに必要な犬具(リード、 けの違いについて けの必要性 P ヒトの接し方 系統的根抜官さ) (手入れ習慣を覚えさせる			備考
授業計画(: 動物の基本 授業計画(: 回 第1回 第2回 第4回 第5回 第6回 第7回	全体) k的な扱い方が出: 授業単位) 授業期位) ・	来るように、動物に応じたハンドリン 主 題 進め方について て レーニングについて① レーニングについて② レーニングについて③ 重要性① 重要性② 重要性② 重要性④	グや基本的なグルーミングを 授業の必要性と内容 しつけ・トレーニン トレーニングとしつ トレーニングとしつ 犬を喜ばせる5つの イヌとイヌ、イヌと 社会化期 場所慣れ 社会化期 音慣れ(社会化期 手入れ時	を行う。 授業内容 説明、進め方 グに必要な大具(リード、 けの違いについて けの必要性 P ヒトの接し方 系統的根抜官さ) (手入れ習慣を覚えさせる			備考

成績評価方法

第12回

第13回

第14回

第15回

その他の条件付け

授業の振り返り、学期末試験

試験の答え合わせ、まとめ

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。

古典的条件づけ、オペラント条件付け③

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員	小笠厂	京 季輝		実務経験紹介				

行動の強化・弱化

様々なしつけの種類について

試験の答え合わせ、授業のまとめ

授業を振り返り、授業内にて前期末試験の実施

科目名	ドッグトレーニング実習 Ⅱ	単位数	3	科目コード	NI2205
授業形態	実習	対象学生	2年次	開設期	半期
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験 対象	-
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)					
授業の一般目標	犬の基本的扱いを習得した上で活用し、適正飼養ができるようにして	つけに関する事項	を飼い主に説明	・指導ができるように	なる。
受講条件					
事前学習について (テキスト・参考書等)					
授業の到達目標					
□ 知識・理解の観点	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法や手順を説明で	きる。			
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0			
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。				
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。				
□ 技能・表現の観点	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法を適宜実施できる	5.			
授業計画(全体)	1				

動物の基本的な扱い方が出来るように、動物に応じたハンドリングや基本的なグルーミングを行う。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	授業説明、進め方について 基本的なしつけとトレーニングについての 復習	授業の必要性と内容説明、進め方 基本的しつけ・トレーニング方法の復習	
第2回	生理的行動と習慣的行動①	誉め言葉、ターゲットハンドの応用	
第3回	生理的行動と習慣的行動②	お座り、伏せ、ヒール、待て、来い	
第4回	トイレトレーニング	トイレ習慣のしつけ・タイミングについて	
第5回	散歩、ストレスについて	散歩の実施方法、ストレスの見方	
第6回	飼養ルールについて	自宅飼養においてのルール付け、ハウストレーニング	
第7回	犬の反抗期	犬の反抗期について	
第8回	振り返り授業、小テスト	習得した内容の復習、小テストの実施	
第9回	問題行動①	問題行動について 問題行動における対処法 (咬み癖)	
第10回	問題行動②	問題行動における対処法(無駄吠え)	
第11回	問題行動③	問題行動における対処法(その他の行動について)	
第12回	肥満犬や老犬のためのしつけ・トレーニン グ方法	肥満犬の対応について、老犬に向けた道具使用とトレーニング方法	
第13回	飼い主への対応	様々な対応についての対処方法	
第14回	授業の振り返り、学年末試験	授業を振り返り、授業内にて学年末試験の実施	
第15回	試験の答え合わせ、まとめ	試験の答え合わせ、授業のまとめ	

成績評価方法

	知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀 (S):100点~90点
小テスト							1	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員	小笠原	京 季輝		実務経験紹介				

		T				1						
科目名				ア実習Ⅰ		単位数	3	科目コード	NI2206			
授業形態				習		対象学生	2年次	開設期	半期			
区分			必	修		開設時期	後期	教員実務経験対	象 有			
授業概要 (目的、目標とす	する資格・検定等)	犬や猫の日常	的な健康管理や	内科診療の補助に	診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。							
授業の一般	目標	修得した知識	の実践力を身に作	けける	გ							
受講条件		動物内科看護	養学実習 Ⅱ の単位	認定								
事前学習につ		緑書房出版「	動物看護の教科書	『(新訂版)第5巻」、インターズー出版「動物看護実習テキスト第2版」								
授業の到達	目標											
□ 知識・理角	解の観点	日常的な健康	管理や内科診療	補助等の各種技法	去や手順を説明でき	きる。						
□ 思考·判断	断の観点	臨床現場を想	定した各種場面	こおいて、最良とさ	れる判断ができる	•						
□ 関心·意欲	欲の観点	自ら疑問点を	見出し、追究する	ことができる。								
□ 態度の観	点	積極性と主体	性を持った謙虚な	振る舞いができる	5 .							
□ 技能·表现	-	日常的な健康	管理や内科診療	補助等の各種技法	去を適宜実施できる	٥.						
授業計画(全	全体)											
		来るように、動物に	に応じたハンドリン	グや基本的なグル	ノーミングを行う。							
授業計画(授	受業単位)	主題				授業内容			備者			
第1回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ①		其木的ただ	ルーミンガ(mtr		月春机器) / ゴニ	ラッシング	调 行			
		·グ実習 II ②		墨平町なり		19、井浦原、肛1	表だ巨//ノ					
第2回				シャンプー	シャンプー実習							
第3回		·グ実習 II ③		基本的たゲルーミング(爪切り 耳境除 町町壺加栗)/ブラッミング								
第4回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ④		基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング								
第5回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ⑤		シャンブー実習								
第6回	グルーミン	グ実習Ⅱ ⑥										
第7回	グルーミン	グ実習Ⅱ ⑦		基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング								
第8回	グルーミン	グ実習Ⅱ ⑧		シャンプー実習								
第9回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ⑨		7 1 2 2 X E								
第10回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ⑩		基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング								
第11回	グルーミン	グ実習Ⅱ ⑪										
第12回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ⑫		シャンプー	シャンプー実習							
第13回	グルーミン	・グ実習Ⅱ 1③		基本的なグル	ルーミング(爪切	り、耳掃除、肛門	月嚢処置) (試	は験)/ブラッシング	ブ			
第14回	グルーミン	・グ実習Ⅱ ⑭		\ D.科·司犬 /								
第15回	グルーミン	·グ実習 II (15)		シャンプー	実習(試験)							
成績評価方法												
単位認定 総	総合成績60点、	出席率80%以上 態度点20%、出原	第点10%を換管Ⅰ	て総合評価を行う	5.							
	·	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準			
		7 DW - T- D+		A 心·思·默	O	0	C 47 IE	50	秀 (S):100点~90点			
		0	Ω		, –							
定期試験		0	0					-	優 (A):89点~80点			
	レポート	0	0	0				- 10	優 (A):89点~80点 良 (B):79点~70点			
小テスト	レポート		0		©			10				
小テスト	レポート		0	0	0				良 (B):79点~70点			
小テスト 宿題授業外L 授業態度	レポート		0	0	© O			10	良 (B):79点~70点 可 (D):69点~60点			
小テスト 宿題授業外し 授業態度 発表・作品	レポート		0	0				10	良 (B):79点~70点 可 (D):69点~60点			

科目名	トータルケア実習Ⅱ	単位数	3	科目コード	NI2207				
授業形態	実習	対象学生	3年次	開設期	半期				
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験 対象	有				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。							
授業の一般目標	修得した知識の実践力を身に付ける								
受講条件	動物内科看護学実習Ⅱの単位認定								
事前学習について (テキスト・参考書等)	緑書房出版「動物看護の教科書(新訂版) 第5巻」、インターズー出	版「動物看護実習	テキスト第2版」						
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法や手順を説明で	きる。							
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	•							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□ 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。								
□ 技能・表現の観点	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法を適宜実施できる	日常的な健康管理や内科診療補助等の各種技法を適宜実施できる。							
哲業計画(合体)	1								

授業計画(全体)

動物の基本的な扱い方が出来るように、動物に応じたハンドリングや基本的なグルーミングを行う。

授業計画(授業単位)

	主 題	授 集 内 容	備考
第1回	グルーミング実習Ⅱ ①	基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング	
第2回	グルーミング実習Ⅱ ②	シャンプー実習	
第3回	グルーミング実習Ⅱ ③		
第4回	グルーミング実習Ⅱ ④	基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング	
第5回	グルーミング実習Ⅱ ⑤	シャンプー実習	
第6回	グルーミング実習Ⅱ ⑥		
第7回	グルーミング実習Ⅱ ⑦	基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング	
第8回	グルーミング実習Ⅱ ⑧	シャンプー実習	
第9回	グルーミング実習Ⅱ ⑨		
第10回	グルーミング実習Ⅱ ⑩	基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) /ブラッシング	
第11回	グルーミング実習Ⅱ ⑪	シャンプー実習	
第12回	グルーミング実習Ⅱ ⑰	ンヤンノー美官	
第13回	グルーミング実習Ⅱ ⑬	基本的なグルーミング (爪切り、耳掃除、肛門嚢処置) (試験) /ブラッシング (試験)	
第14回	グルーミング実習Ⅱ ⑭	シャンプー実習(試験)	
第15回	グルーミング実習Ⅱ ⑮	ンヤンノー夫首(試釈)	

成績評価方法

		知識•理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
宿題授業外し	ポート	0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習				0	0			20	
出席				0				10	
担当教員 丸山 圭太、西田 沙季		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/						

科目名	愛玩動物看護師試験対策 I	単位数	1	科目コード	NI2208			
授業形態	講義	対象学生	3年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師国家資格試験に合格するための勉強ができるようになる。							
授業の一般目標	今まで学んできた内容をもとに、動物看護師統一認定試験の過去問題を解き、本試験に向けて弱点の克服や対策を練る。							
受講条件	2025年度 動物看護師統一認定試験受験学生							
事前学習について (テキスト・参考書等)	適宜資料配布							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	動物看護師統一認定試験の過去問や予想問題の各問題について	説明できる。						
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	□技能・表現の観点							
授業計画(全体)								

動物看護師統一認定機構の過去問題から検定合格を目指してアクティブラーニングで授業を進める

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	過去問実施①	2023年度に実施された国家資格試験(過去問)を解き、自身の弱点分野・わからない部分を分析できる	
第2回	勉強の仕方について 2023年度過去問解説	この授業の進み方を知り、試験勉強を効率よくすることができる 前回の問題の正答率が低い問題を解くことができる	
第3回	2023年度過去問グループワーク①	正答率の低い問題を他者に説明する	
第4回	2023年度過去問グループワーク②	正答率の低い問題を他者に説明する	
第5回	2023年度過去問グループワーク③	正答率の低い問題を他者に説明する	4人1組のグループで問題 を解説できるよう話し合 い、全員の前で発表
第6回	2023年度過去問グループワーク④	正答率の低い問題を他者に説明する	
第7回	2023年度過去問グループワーク⑤	正答率の低い問題を他者に説明する	
第8回	過去問実施②	2024年度に実施された国家資格試験(過去問)を解き、自身の弱点分野・わからない部分を分析できる	
第9回	2024年度過去問グループワーク①	正答率の低い問題を他者に説明する	
第10回	2024年度過去問グループワーク②	正答率の低い問題を他者に説明する	
第11回	2024年度過去問グループワーク③	正答率の低い問題を他者に説明する	4人1組のグループで問題を解説できるよう話してい、全員の前で発表
第12回	2024年度過去問グループワーク④	正答率の低い問題を他者に説明する	
第13回	2024年度過去問グループワーク⑤	正答率の低い問題を他者に説明する	
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける	※学生証が必要
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義・答えを復習する	

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上

	知識・理解	思考·判断	関心・意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀 (S):100点~90点
小テスト	0	0	0				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0	0				10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表•作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員 丸山 圭太、西田 沙季			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			/voice/maruyama/	

科目名	愛玩動物看護師試験対策Ⅱ	単位数	1	科目コード	NI2209			
授業形態	講義	対象学生	3年次	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	 有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師国家資格試験に合格するための勉強ができるようになる。							
授業の一般目標	今まで学んできた内容をもとに、動物看護師統一認定試験の過去問題を解き、本試験に向けて弱点の克服や対策を練る。							
受講条件	愛玩動物看護師試験対策 I の履修							
事前学習について (テキスト・参考書等)	適宜資料配布 テキスト: 2025年度資格試験対策問題集							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	動物看護師統一認定試験の過去問や予想問題の各問題について	説明できる。						
□ 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる	0						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	現の観点							
授業計画(全体)	授業計画(全体)							
私收手进行社 司力提供の	₹14. ₹2. 20 - 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14.							

動物看護師統一認定機構の過去問題から検定合格を目指してアクティブラーニングで授業を進める

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考			
第1回	過去問実施④	2022年度に実施された国家資格試験 (過去問) を解き、 自身の弱点分野・わからない部分を分析できる				
第2回	2022年度過去問ペアワーク①	2022年度過去問ペアワーク① 2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第3回	2022年度過去問ペアワーク②	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第4回	2022年度過去問ペアワーク③	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第5回	2022年度過去問ペアワーク④ (解説発表)	人前で各問題の解説ができる				
第6回	過去問実施⑤	2021年度に実施された統一試験(過去問)を解き、 自身の弱点分野・わからない部分を分析できる				
第7回	2021年度過去問ペアワーク①	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第8回	2021年度過去問ペアワーク②	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第9回	2021年度過去問ペアワーク③	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第10回	2021年度過去問ペアワーク④ (解説発表)	人前で各問題の解説ができる				
第11回	過去問実施⑥	2025年度予想問題を解き、 自身の弱点分野・わからない部分を分析できる				
第12回	2025年度予想問題ペアワーク①	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第13回	2025年度予想問題ペアワーク②	2人1組のペアを作り、実施した過去問をグループで話し合い、 各問題を人に解説できる				
第14回	2025年度予想問題度過去問ペアワーク③ (解説発表)	人前で各問題の解説ができる				
第15回	単位認定試験	授業内にて単位認定試験を受ける	※学生証が必要			

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上

	知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト	0	0	0				20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		0	0				10	良(B): 79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			0				10	
担当教員 丸山 圭太、西田 沙季			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			o/voice/maruyama/	

科目名	アニマルヘルパー	単位数	1	科目コード	NI2001				
授業形態	講義/実習	対象学生	1年生	開設期	半期				
区分	選択 開設時期 前期 教員実務経験対象								
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	独立開業を目指す場合やトリマー、、ドッグトレーナー、ペットショップ、ペットホテル等どの職業に就いても必要となる訪問サービスを学び身につける。								
授業の一般目標	アニマルヘルパーが行うペット訪問サポートについて実践的に身につける。								
受講条件	動物看護科に在籍している。								
事前学習について (テキスト・参考書等)	適宜テキストを配布								
授業の到達目標									
□ 知識・理解の観点	生涯学習とは何かについて説明できる。2. 教育の各領域の概要と	課題を説明できる	,						
□ 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるこ	とができる。							
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。								
□態度の観点	日常生活の中で教育問題について主体的に考えることができる。	日常生活の中で教育問題について主体的に考えることができる。							
□技能・表現の観点									
授業計画(全体)									

犬・猫の行動特性を理解しヘルパー業務を身に付ける。また要介護が必要な動物のケアも学ぶ

授業計画(授業単位)

0	主 題	授業内容	備考
第1回	導入・インフォメーション	講座の目標、講座終了までの流れ、配布資料の確認	
第2回	犬の行動 ①	犬の発達過程、犬種特性、ボディランゲージ	
第3回	猫の行動 ①	猫の発達過程、ボディランゲージ、排泄や爪とぎなど猫特有の行動	
第4回	ヘルパー業務 (犬 ①)	犬のお世話をする際の注意事項や散歩や食事など依頼される可能性が高い内容に	
第5回	ヘルパー業務 (犬 ②)	ついて、手順や注意事項	
第6回	ヘルパー業務 (猫 ①)	猫のお世話をする際の注意事項やトイレ掃除や遊びなど依頼される可能性が高い	
第7回	ヘルパー業務 (猫 ②)	内容について、手順や注意事項	
第8回	エキゾチックアニマル	一般的な小動物の具体的なお世話や注意事項	
第9回	要介護動物のケア ①	食事介護や排泄介護、運動介護など、特別に看護ケが必要な動物の対応	
第10回	要介護動物のケア(②	及争川設で排泄川設、迷判川設なる、付別に倡議ゲル必安は期初の対応	
第11回	訪問時の心肺蘇生術	訪問サービス時の心肺蘇生法のタイミングや具体的な方法	
第12回	修了試験	確認テスト	

成績評価方法

単位認定 修了試験で総合成績60点、出席率80%以上

		知識•理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能•表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		0	0					50	秀(S):100点~90点
小テスト								-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レオ	ペート							-	良 (B):79点~70点
授業態度				0	0			25	可 (D):69点~60点
発表·作品								-	不可(E):59点以下
演習								-	
出席				0				25	
担当教員		阿部	令子		実務経験紹介				

科目名	ビジネス文章カⅡ	単位数	1	科目コード	NI2002			
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	後期	教員実務経験対象	-			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	硬筆検定3級取得を目指した授業。文字を書くという私たちの日常生活での最も基本的な教養を身につける。							
授業の一般目標	文字を書くにあたって心を整える。文字を書いて相手に伝えることはコミュニケーションの1つであることを知る。書写の基礎基本を自分のものとして定着する。							
受講条件	ビジネス文章力Iの単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	硬筆書写技能検定3級合格のポイント							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	楷書、行書、草書それぞれの違いを知る。							
□ 思考・判断の観点	臨床現場や日常生活における各種場面において、最良とされる判断	折ができる。						
□ 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
□態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
□ 技能・表現の観点	I 技能・表現の観点							
授業計画(全体)								

硬筆書写技能検定3級取得のために必要な学びを行う

授業計画(授業単位)

	主 題	授 業 内 容	備考
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本。用具テキスト、ドリルなど3級の概要説明	
第2回	硬筆ドリル・理論	文字・漢字の基本的な決まり	
第3回	硬筆ドリル・理論	文字のハネ、はらい、角度を学ぶ	
第4回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第5回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第6回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第7回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第8回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第9回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第10回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第11回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第12回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第13回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習	
第14回	硬筆2級受験模擬	硬筆検定 3級試験を想定した模擬試験	
第15回	硬筆2級受験模擬	硬筆検定3級試験を想定した模擬試験	

成績評価方法

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上

	知識・理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	0	0	0	0	0		50	秀(S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	0		0				10	良 (B):79点~70点
授業態度			0	0			10	可 (D):69点~60点
発表·作品							-	不可(E):59点以下
演習			0	0			20	
出席			0				10	
担当教員	上川 華生							